

基本計画書

基本計画										
事項	記入欄							備考		
計画の区分	相愛大学 収容定員関係学則変更									
フリガナ設置者	カッポウホクジン ソウアイガクエン 学校法人 相愛学園									
フリガナ大学の名称	ソウアイガク 相愛大学 (Soai University)									
大学本部の位置	大阪府大阪市住之江区南港中4丁目4番1									
大学の目的	本学は大乗仏教特に浄土真宗の精神に基づき、宗教的情操を涵養し広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させることを目的とする。									
新設学部等の目的	近年における当該2学科の入学定員充足率及び今後の学生確保の見通し等に鑑み、令和4年度より定員を変更する。									
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地		
	音楽学部 【Faculty of Music】 音楽学科 【Department of Music】	4年	80 (100)	— (—)	320 (400)	学士(音楽) 【Bachelor of Music】	令和4年4月 第1年次	大阪府大阪市住之江区南港中4丁目4番1		
	人文学部 【Faculty of Humanities】 人文学科 【Department of Humanities】	4年	105 (90)	10 (—)	440 (360)	学士(人文学) 【Bachelor of Arts(Humanities)】	令和4年4月 第1年次 令和4年4月 第3年次	同上		
	計		— (—)	— (—)	— (—)					
同一設置者内における変更状況 (定員の移行、名称の変更等)	該当なし									
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数				
		講義	演習	実験・実習	計					
		科目	科目	科目	科目	単位				
教員組織の概要	学部等の名称		専任教員等					兼任教員等		
	新設	音楽学部 音楽学科	教授	准教授	講師	助教	計	助手	兼任	
			12人 (12)	6人 (6)	1人 (1)	1人 (1)	20人 (20)	0人 (0)	167人 (167)	
			8 (8)	9 (9)	2 (2)	0 (0)	19 (19)	0 (0)	55 (55)	
			20 (20)	15 (15)	3 (3)	1 (1)	39 (39)	0 (0)	— (—)	
	既設	人間発達学部 子ども発達学科	7 (7)	2 (2)	4 (4)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	30 (30)	
			人間発達学部 発達栄養学科	6 (6)	1 (1)	5 (5)	0 (0)	12 (12)	6 (6)	25 (25)
			共通教育センター	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	109 (109)
			13 (13)	3 (3)	9 (9)	0 (0)	25 (25)	6 (6)	— (—)	
	合計		33 (33)	18 (18)	12 (12)	1 (1)	64 (64)	6 (6)	— (—)	
教員以外の職員の概要	職種		専任		兼任		計			
	事務職員	35 (35)	43 (43)		78 (78)					
	技術職員	0 (0)	1 (1)		1 (1)					
	図書館専門職員	2 (2)	3 (3)		5 (5)					
	その他の職員	0 (0)	0 (0)		0 (0)					
計		37 (37)	47 (47)		84 (84)					

校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 本町学舎の一部を相愛高等 学校・中学校と併用 相愛高校（収容定員:1,200 人/面積基準:6,240㎡） 相愛中学校（収容定員:450 人/面積基準:3,060㎡） 当該2学科で使用する南港 学舎での共用はなし			
	校 舎 敷 地	53,868 ㎡	1,263 ㎡	5,814 ㎡	60,945 ㎡				
	運 動 場 用 地	12,664 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	12,664 ㎡				
	小 計	66,532 ㎡	1,263 ㎡	5,814 ㎡	73,609 ㎡				
	そ の 他	0 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	0 ㎡				
合 計	66,532 ㎡	1,263 ㎡	5,814 ㎡	73,609 ㎡					
校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
		35,331 ㎡ (35,331) ㎡	0 ㎡ (0) ㎡	0 ㎡ (0) ㎡	35,331 ㎡ (35,331) ㎡				
教 室 等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)				
専 任 教 員 研 究 室		新設学部等の名称		室 数		室			
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 冊	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点		
		()	()	()	()	()	()		
	計	()	()	()	()	()	()		
図 書 館		面積	閲覧席座数		収 納 可 能 冊 数				
体 育 館		面積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
経 費 の 見 積 び 及 び 方 法 の 概 要	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	図書費には電子 ジャーナル・デー タベースの整備費 (運用コストを含 む)を含む。
	教員1人当り研究費等		80千円	80千円	80千円	80千円	－千円	－千円	
	共同研究費等		2,200千円	2,200千円	2,200千円	2,200千円	－千円	－千円	
	図書購入費	6,176千円	6,000千円	6,000千円	6,000千円	6,000千円	－千円	－千円	
	設備購入費	7,450千円	7,000千円	7,000千円	7,000千円	7,000千円	－千円	－千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	音楽学科演奏コース	1,930千円	1,910千円	1,910千円	1,910千円	－千円	－千円		
	音楽学科音楽文化創造コース	1,620千円	1,560千円	1,560千円	1,560千円	－千円	－千円		
	人文学科	1,245千円	1,045千円	1,045千円	1,045千円	－千円	－千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、雑収入 等						
既 設 大 学 等 の 状 況	大 学 の 名 称	相愛大学							
	学 部 等 の 名 称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	開設 年度	所 在 地
		年	人	年次 人	人		倍		大阪府大阪市 住之江区南港中 4丁目4番1
	音楽学部								
	音楽学科	4	100	－	400	学士 (音楽)	0.66	平成 12年度	
	音楽マネジメント学 科	4	－	－	－	学士 (音楽マネジメント)	－	平成 23年度	
	人文学部								
	人文学科	4	90	－	360	学士 (人文学)	1.17	平成 25年度	
	人間発達学部								
子ども発達学科	4	80	－	320	学士 (子ども発達学)	0.80	平成 18年度		
発達栄養学科	4	80	－	320	学士 (発達栄養学)	0.87	平成 18年度		
音楽研究科									
音楽専攻	2	8	－	16	修士 (音楽)	1.06	平成 30年度		
附属施設の概要		該当なし							

(注)

- 1 共同学科等の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「教員組織の概要」の「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 2 「教員組織の概要」の「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとする。
- 3 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科又は高等専門学校等の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」及び「体育館」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 4 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」、「体育館」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 6 空欄には、「－」又は「該当なし」と記入すること。

学校法人相愛学園 設置認可等に関わる組織の移行表

令和3年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和4年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
相愛大学				相愛大学				
音楽学部 音楽学科	100	—	400	音楽学部 音楽学科	<u>80</u>	—	<u>320</u>	定員変更(△20)
人文学部 人文学科	90	—	360	人文学部 人文学科	<u>105</u>	—	<u>420</u>	定員変更(15)
人間発達学部 子ども発達学科	80	—	320	人間発達学部 子ども発達学科	80	—	320	定員変更(10)
発達栄養学科	80	—	320	発達栄養学科	80	—	320	
音楽専攻科	12		12	音楽専攻科	12		12	
計				計				
	362		1,412		<u>357</u>	<u>10</u>	1,412	

令和3年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和4年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
相愛大学				相愛大学				
大学院 音楽研究科	8		16	大学院 音楽研究科	8		16	
計				計				
	8		16		8		16	

(1) 都道府県内における位置関係の図面
 (2) 最寄り駅からの距離や交通機関がわかる図面

大阪アカデミア
 ダイコー株式会社
 マイクロヘルズ
 ランテック大阪支店
 相愛大学
 プロジスパーク大阪5
 マクドナルド
 ポートタウン東
 南港公園
 医療法人慈心会 咲洲病院

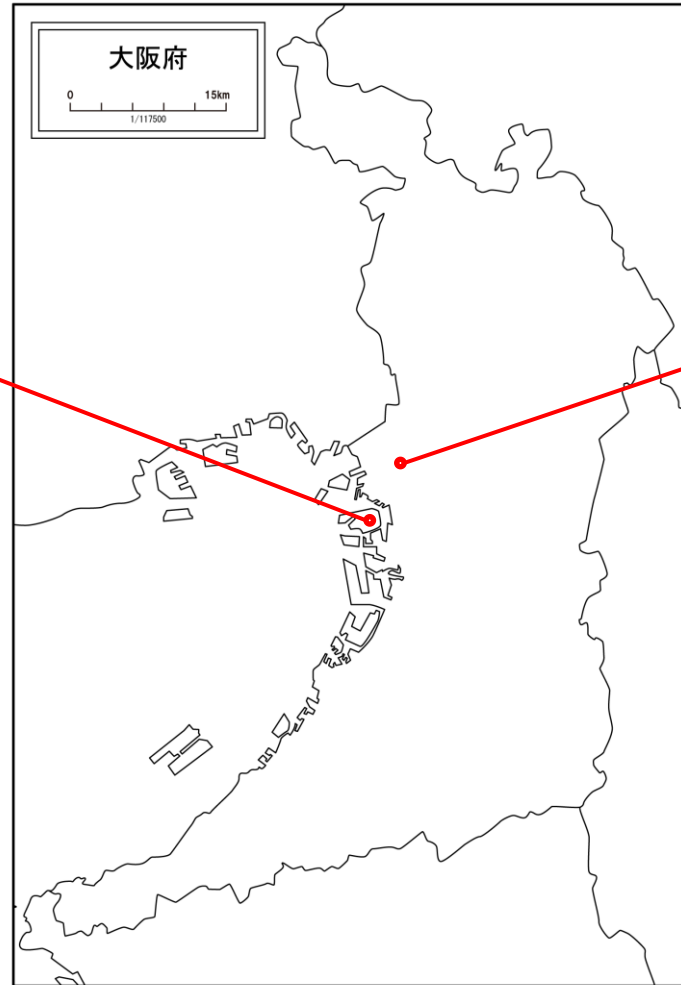
<南港学舎>
 大阪市住之江区南港中4丁目4番1

音楽学部
 音楽学科 (1~4年次)

人文学部
 人文学科 (1~4年次)

人間発達学部
 子ども発達学科 (1~4年次)
 発達栄養学科 (1~4年次)

最寄り駅からの距離：約500m (徒歩5分)



距離：約13km 移動時間：約40分
 ニュートラム
 「ポートタウン東」駅～「コスモスクエア」駅 (約7分)
 地下鉄中央線
 「コスモスクエア」駅～「本町」駅 (約15分)

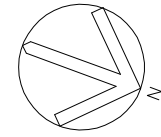
あい保育園 本町園
 ファミリーマート エル本町店 コンビニエンスストア
 stroteka bimendi バスタ料理
 家庭教師のマスター 大阪本町店
 相愛大学
 相愛中学校
 相愛高等学校
 ローソン S OSL 御堂筋本町駅前店 コンビニエンスストア
 Training Studio CROWN
 西川銘木店
 南本町通
 セブン-イレブン 御堂筋本町店 コンビニエンスストア
 本町
 4丁目
 13 16
 21

<本町学舎>
 大阪市中央区本町4丁目1番23号

2021年度以降、授業では使用せず

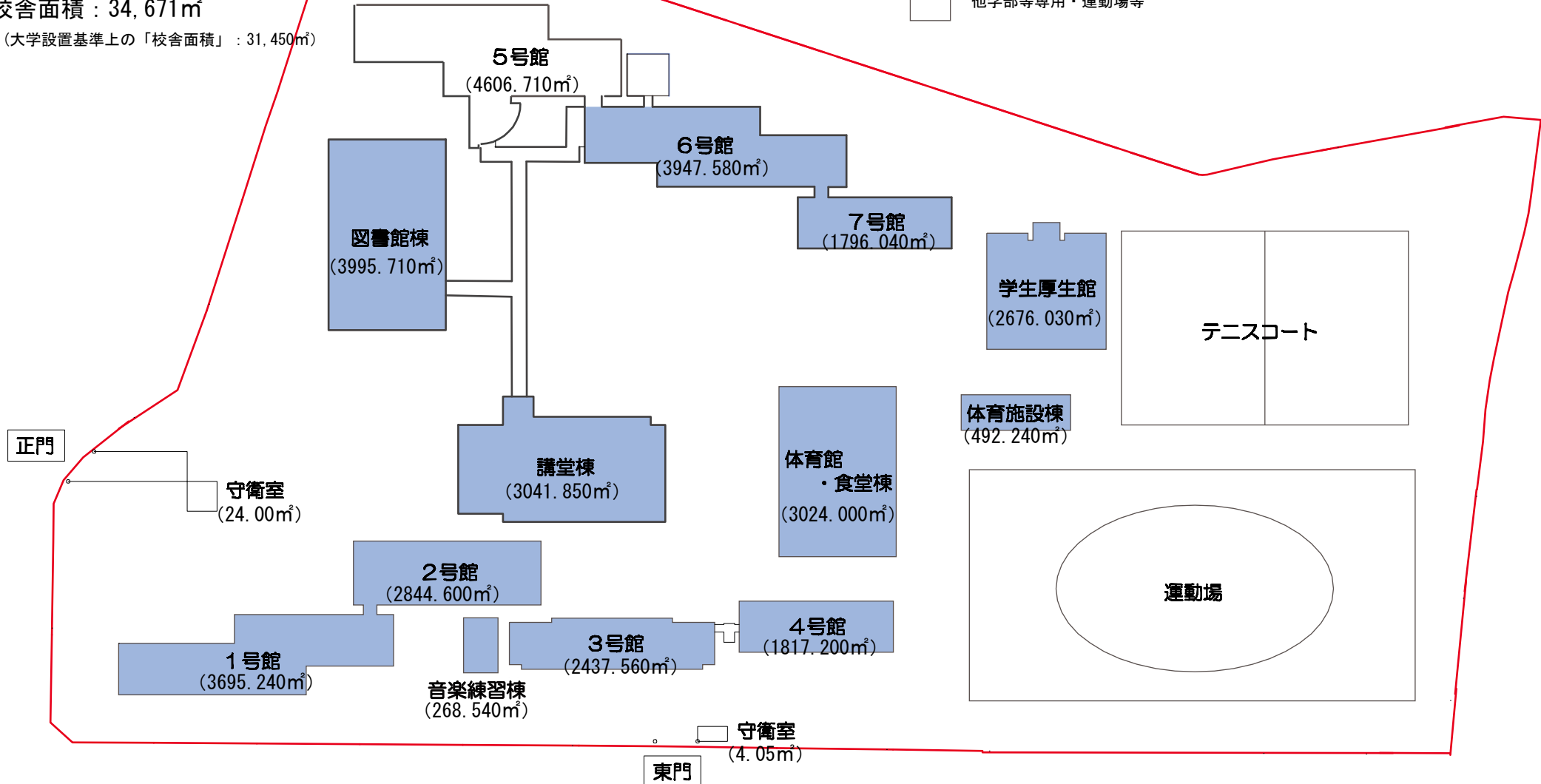
最寄り駅からの距離：約240m (徒歩3分)

(3) 校舎, 運動場等の配置図 (南港学舎)



校地面積 : 66,663^m²
 校舎面積 : 34,671^m²
 (大学設置基準上の「校舎面積」 : 31,450^m²)

- 校地面積に算入している部分
- 大学共用部分 (音楽学部音楽学科・人文学部人文学科を含む)
- 他学部等専用・運動場等



(別紙)

「校地校舎等の図面」における地図の出典等について

「都道府県内における位置関係の図面（南港学舎および本町学舎）」における地図
「最寄駅からの図面」における〈南港学舎〉および〈本町学舎〉の地図

- ・ Google マップ (<https://www.google.co.jp/maps/>) を使用している。
- ・ 南港学舎と本町学舎の位置を示すために、地図上に必要な事項を記入している。

以上

相愛大学 学則
(案)

令和4年4月

第1章 目的及び使命、自己点検・評価

第1条 本学は大乗仏教特に浄土真宗の精神に基き、宗教的情操を涵養し広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させることを目的とする。

第1条の2 本学は教育水準の向上を図り、目的及び使命を達成するため教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行う。

2 前項の点検及び評価に関する事項は別に定める。

第1条の3 本学に共通教育および教養教育の充実を図るために、共通教育センターを設ける。

2 共通教育センターに関する規程は別に定める。

第2章 学部及び学科の組織、教育研究上の目的

第2条 本学は相愛大学と称し、下記の学部及び学科を置く。

学 部	学 科
音 楽 学 部	音 楽 学 科
人 文 学 部	人 文 学 科
人間発達学部	子ども発達学科
	発達栄養学科

第2条の2 前条に定める各学部・学科の教育研究上の目的は、次の通りとする。

1. 音楽学部は、高度な音楽的技術の修得にとどまらず、宗教的情操を備え、感性豊かで優れた音楽家、音楽教育者、音楽研究者などの専門家を養成する。同時に、音楽を愛好する音楽文化人として文化の諸現象が社会に寄与する意義を感得し、音楽文化と産業の振興に貢献できる人材を育成することを目的とする。
 - (1) 音楽学科は、演奏技量・教育能力・音楽教養の3方向に広がる領域の中で、個々の学生をそれぞれの資質や希望に沿って位置づけ、音楽文化の諸相において活躍できるように育成し、その音楽人的文化力を通じて、日本の情操社会の水準向上に貢献することを目的とする。
2. 人文学部は、人文科学の分野において、総合的・学際的な教育研究を行い、現代社会に生じる諸問題を多面的に捉え、思想・宗教的な素養をも生かして、自ら問題に立ち向かう主体性を持った人材を育成することを目的とする。
 - (1) 人文学科は、日本文学、歴史・サブカルチャー、仏教文化、心理、国際コミュニケーション、ビジネス・社会などの分野を軸に、文化の諸相を読み解く能力と複雑化する現代社会を生き抜く力を培い、仏教精神に基づく知情意のバランスのとれた人格を育み、他者及び異文化への理解を備えた国際社会に通用する人材の育成を目的とする。
3. 人間発達学部は、生涯における心身の健全な発達を支援するための学術的研究と教育を行う。さらに、當相敬愛という建学の精神のもとに、これらの成果を生かし、多様な社会支援能力をもつ人材を育成し、社会への貢献を行うことを目的とする。

- (1) 子ども発達学科は、慈しみのところをもって子育てを支援し、子ども自身の育ちを大切に
教育を展開し、地域の子育てネットワークを活性化する人材の育成を目的とする。
- (2) 発達栄養学科は、共生のところを基本とし、地域社会の活性化による生活の質的向上を支援
するという目標のもとに、栄養・食生活の面から心身の健康な発達を支援できる人材の育成を
目的とする。

第2条の3 本学に大学院を置く。

- 2 大学院の学則は別に定める。

第3章 修業年限及び定員

第3条 修業年限は4年とする。但し在学期間は通算8年を超えることができない。

- 2 学生定員は次の通りとする。

学 部	学 科	入学定員	編入学定員	収容定員
音楽学部	音 楽 学 科	80人	—	320人
人文学部	人 文 学 科	105人	10人	440人
	日本文学コース	(25人)	—	(100人)
	歴史・サブカルチャーコース	(10人)	—	(40人)
	仏教文化コース	(10人)	—	(40人)
	心理コース	(30人)	—	(120人)
	国際コミュニケーションコース	(15人)	(5人)	(70人)
人間発達学部	子ども発達学科	80人	—	320人
	発達栄養学科	80人	—	320人

第4章 学年、学期、休業日

第4条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

- 2 学年を分けて2学期とする。

前期 自 4月1日 至 9月30日

後期 自 10月1日 至 3月31日

第5条 休業日は下記の通りとする。

- 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
- 日 曜 日
- 御 正 忌 1月 16日
- 降 誕 会 5月 21日
- 春 季 休 業 自 3月21日 至 4月10日
- 夏 季 休 業 自 7月11日 至 9月10日

7. 冬季休業 自 12月21日 至 翌年1月10日

2 前項の休業日にても授業を行ない、又は時宜により休業日を変更することがある。

第5章 授業科目

第6条 授業科目は、共通教育科目、専門科目、教職課程科目、図書館司書課程科目、学校図書館司書教諭課程科目とする。

第7条 授業科目及びその単位数は別表第一の通りとする。

第7条の2 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

2 学長が必要と認めた場合、前項の授業は、文部科学大臣が別に定めるところにより、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。なお、これにより修得する単位数は60単位を超えないものとする。

第6章 履修方法及び単位の認定

第8条 各授業科目の単位数は1単位の授業時間を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

1. 講義及び演習は15時間の授業をもって1単位とする。ただし、別に定める科目については、30時間の授業をもって1単位とする。
2. 実験、実習及び実技は30時間の授業をもって1単位とする。ただし、人間発達学部専門科目で別に定める科目については、40時間、45時間又は60時間の授業をもって1単位とする。
3. 音楽学部の個人指導による実技は5時間の授業をもって1単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究、卒業制作、卒業演奏等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位数を定める。

第9条 本学を卒業するためには4カ年以上在学し、前条の定めるところにより、下記の単位を修得しなければならない。

音楽学部

学 科	授業科目	共通教育科目	専 門 目	自由選択科目	計
音 楽 学 科		18	82	24	124

人文学部

学 科	授業科目	共通教育科目	専 門 目	自由選択科目	計
人 文 学 科		18	80	26	124

人間発達学部

学 科	授業科目	共通教育科目	専 門 目	自由選択科目	計
子ども発達学科		18	80	32	130
発達栄養学科		18	80	32	130

2 上表の自由選択科目とは、共通教育科目、専門科目、及び他学部・他学科専門科目の内で指定された科目の中から自由に選択する科目をいう。

第9条の2 第3条第1項及び前条の規定にかかわらず、本学に3カ年以上在学した者が、卒業に必要な単位を極めて優秀な成績で修得したと教授会が認める場合は、卒業することができる。

2 前項の卒業に関する事項は、別に定める。

第10条 教育職員免許状を得ようとする者は、教育職員免許法及び同施行規則に規定する授業科目の単位を修得しなければならない。

2 前項により取得できる免許状は下記の通りとする。

学 部	学 科	種 類 (教 科)
音楽専攻科		高校専修 (音楽) 中学専修 (音楽)
音楽学部	音楽学科	高校一種 (音楽) 中学一種 (音楽)
人文学部	人文学科 日本文学コース	高校一種 (国語) 中学一種 (国語)
	人文学科 仏教文化コース	高校一種 (宗教) 中学一種 (宗教)
人間発達学部	子ども発達学科	小学校一種 幼稚園一種
	発達栄養学科	栄養教諭一種

3 教育職員免許状を得ようとする者の中で、学校図書館司書教諭資格を得ようとするものは、文部科学省の定める所定の授業科目の単位を修得しなければならない。

第10条の2 人間発達学部子ども発達学科の学生で保育士資格を得ようとするものは、第9条に規定するもののほか、児童福祉法及び同施行規則に規定する授業科目の単位を修得しなければならない。

2 人間発達学部発達栄養学科の学生で栄養士免許証及び管理栄養士国家試験受験資格を得ようとするものは、第9条に規定するもののほか、管理栄養士学校指定規則に規定する授業科目の単位を別表第二の通り修得しなければならない。

3 本学の学生で図書館司書資格を得ようとするものは、文部科学省の定める所定の授業科目の単位を修得しなければならない

第11条 授業科目を履修し、その試験（研究報告又は実験報告等を含む）に合格した者には、当該授業科目所定の単位を与える。

2 授業科目の試験の成績は、秀・優・良・可・不可の五種の評語をもって表し、秀・優・良・可を合格とする。その評点は次の通り定める。

秀	100	点	—	90	点
優	89	点	—	80	点
良	79	点	—	70	点
可	69	点	—	60	点
不可	59	点	以下		

第11条の2 本学における授業科目の履修による単位の修得の他に、他の大学、短期大学において修得した単位を本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことがある。また、他の教育機関等における学修を本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることがある。

2 単位認定については別に定める。

第7章 卒業及び学位

第12条 卒業の認定は教授会の意見を聴いて学長がこれを行う。

第13条 卒業を認定された者には学長が卒業証書・学位記を授与する。

第14条 本学を卒業した者には下記の学位を授与する。

学部	学科	学位
音楽学部	音楽学科	学士（音楽）
人文学部	人文学科	学士（人文学）
人間発達学部	子ども発達学科	学士（子ども発達学）
	発達栄養学科	学士（発達栄養学）

第8章 入学、編入学、転学部・転学科、休学、退学、留学、復学

第15条 入学は毎年の始めとする。

第16条 本学に入学できる者は下記の各号の何れかに該当し、本学の入学選考に合格し、学長が入学を許可した者とする。

1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）
3. 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又は、これに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
4. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
5. 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
6. 文部科学大臣の指定した者
7. 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
8. その他本学において、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの

第17条 入学志願者は規程の書式に準じ入学願書、出身学校長の調査書を提出しなければならない。

第18条 本学に、編入学を希望する者については、選考のうえ、学長が入学を許可する。

- 2 前項により入学できる者の資格、既修得単位の認定方法及びその他の必要な手続きは、別に定める。

第18条の2 本学に1年以上在籍している者で、他の学部、学科への移籍を志望する者がある場合は、選考のうえ、学長は転学部又は転学科を許可することがある。

- 2 転学部及び転学科に関し必要な事項は、別に定める。

第19条 入学を許可された者は宣誓書を提出し、かつ1名の保証人を定め、保護者との連署をもって保証書を差出さねばならない。但し、保証書については協定校の留学生はこの限りではない。

第20条 保証人はよくその任に堪えられる成年で、独立して生計を営む者であって、本学において適当と認められた者であることを要する。

- 2 保証人を変更する場合は直ちに届出なければならない。

第21条 病気其他の事由により引きつづき3カ月以上修学を中止しようとする者は、学長の許可を得て1カ年以内の休学をすることができる。但し、事情によりさらに1カ年以内これを続けることができる

が通算して2年を超えることができない。

- 2 休学中の者で復学を願い出る場合は、理由を証明する証明書を提出しなければならない。
- 3 休学期間は所定の在学期間に算入しない。

第22条 休学若しくは退学しようとする時は保護者はその理由を具し、保証人連署の上願い出なければならない。

第23条 学長が教育上有益と認めるときは、休学することなく、国内外の大学に留学することを認めることができる。

- 2 前項による留学の期間は原則として1年以内とする。
- 3 留学期間は在学年数に算入する。
- 4 留学中に修得した授業科目単位は別に定める規程により、認定することができる。
- 5 留学に関する詳細は別に定める。

第24条 退学した者が再入学を願い出た場合は、前の在学中の成績を考慮し教授会の意見を聴いて、学長がこれを許可することがある。この場合の退学以前の在学期間並びに既修得単位は所定の在学年限並びに履修単位に算入する。

第25条 下記の各号の一に該当する者は学籍を除く。

1. 病気其他の事由にて成業の見込なき者。
2. 第3条に規定する在学期間を超えた者。
3. 義務金の納入を怠り督促を受けてもなお納入しない者。
4. 第21条に定める休学期間を終えても復学できない者。

第9章 授業料その他の費用

第26条 入学志願者は検定料、入学を許可された者は入学金を納めねばならない。

第27条 授業料その他の費用は下記の通りとする。

音楽学部

(円)

	項目	納 付 金				
		入学検定料	入学金	授業料	維持費	施設費
入学 年次	音楽学科 演奏コース	35,000	300,000	1,200,000	-	430,000
	音楽学科 音楽文化創造コース	35,000	300,000	1,000,000	-	320,000
2年次 以降	音楽学科 演奏コース	-	-	1,200,000	280,000	430,000
	音楽学科 音楽文化創造コース	-	-	1,000,000	240,000	320,000

人文学部

(円)

	項目 学科 (コース)	納 付 金				
		入学検定料	入学金	授業料	維持費	施設費
入学 年次	人文学科	30,000	200,000	830,000	-	215,000
2年次 以降	人文学科	-	-	830,000	-	215,000

人間発達学部

(円)

	項目 学科 (コース)	納 付 金				
		入学検定料	入学金	授業料	維持費	施設費
入学 年次	子ども発達学科	30,000	230,000	900,000	-	250,000
	発達栄養学科	30,000	230,000	1,000,000	-	250,000
2年次 以降	子ども発達学科	-	-	900,000	-	250,000
	発達栄養学科	-	-	1,000,000	-	250,000

- 2 上記のほか検定料、手数料その他の費用については別に定める。
- 3 資格取得に要する学外実習等の費用は、別途徴収する場合がある。
- 4 既納の入学金、授業料その他の費用は、いかなる事情があっても返還しない。ただし入学手続きを完了した者が、定められた期限内に本学所定の「入学辞退届」を提出した場合、入学金を除く既納の授業料等を返還する。

第28条 授業料は学生の出席の有無に拘らず学籍の存する限りこれを徴収する。但し、休学中の者については事情によりその一部又は全部を免除することができる。

第10章 賞罰

第29条 表彰に値する業績・行為があった者は、大学評議会の審議を経て学長が特にこれを表彰することがある。

第30条 学生が次の各号の一に該当すると認められる場合は、大学評議会の審議を経て学長が懲戒を行う。

1. 本学の学則、その他諸規程に違反した者
 2. 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
 3. 正当の理由がなくて出席常でない者
 4. 学力劣等で成業の見込みないと認められる者
 5. その他学生としての本分に反した者
- 2 懲戒は、訓告、停学及び退学とする。

3 懲戒の手続については、別に定める。

第11章 教職員組織

第31条 本学に下記の教職員を置く。

学 長	准 教 授	研究室助手
副 学 長	講 師	養護職員
学 部 長	助 教	事務職員
教 授	助 手	司 書

第31条の2 学長は校務を統理し、教職員を統督する。

第12章 教授会、大学評議会

第32条 本学各学部教授会を置く。

- 2 教授会は専任の教授、准教授、講師、助教をもって構成する。
- 3 教授会は、教育研究に関する事項を審議し、学長に意見を述べることができる。

第33条 教授会において審議する事項は下記の通りとする。

1. 学生の入学、卒業、退学、休学等に関する事項
2. 学位の授与に関する事項
3. 教育課程の編成、試験等に関する事項
4. 教員の教育研究業績の審査等に関する事項
5. 学部における諸内規の制定改廃に関する事項
6. その他学部に関する重要事項

第34条 教授会の運営に関する規程は別にこれを定める。

第35条 本学に大学評議会を置く。

第36条 大学評議会において審議する事項は下記の通りとする。

1. 学則および大学全般にわたる諸規程の制定改廃に関する事項
2. 教育課程の編成に関する基本事項
3. 学生の厚生補導、賞罰に関する事項
4. 教員の教育研究業績の審査等に関する基本事項
5. 学部、学科、その他重要な施設の新設変更に関する事項
6. 学部、その他学内諸機関の連絡調整に関する事項
7. その他の大学における重要な事項

第37条 大学評議会に関する規程は別にこれを定める。

第13章 専攻科

第38条 本学に次の専攻科を置く。

音楽専攻科

第39条 専攻科は、深く専門の学芸を教授研究し、その高度な専門技術をもって音楽文化の発展に寄与することを目的とする。

第40条 専攻科の修業年限は、1年とする。

2 専攻科には、2年を超えて在学することはできない。

第41条 専攻科に置く専攻、研究分野及びその収容定員は、次表のとおりとする。

専攻	研究分野	収容定員
作曲専攻	作曲・音楽学・音楽療法	2名
声楽専攻	声楽	3名
器楽専攻	ピアノ・オルガン・創作演奏・ 管弦打古楽器	7名

第42条 専攻科の教育は、授業科目の授業及び修了演奏（又は修了研究）等に対する指導によって行うものとする。

2 各研究分野別の授業科目の種別及び単位数、並びに履習方法は、別表第三に定める通りとする。

第43条 専攻科の修了の要件は、当該専攻に1年以上在学し、各研究分野の定める所定の授業科目について30単位以上を修得することとする。

2 前項により専攻科を修了した者には、修了証書を授与する。

第44条 専攻科に入学することのできる者は、次のとおりとする。

1. 大学を卒業した者

2. 当該専攻において、大学を卒業した者と同等以上の学力・技量があると認められた者

2 入学志願者は、入学願書に所定の書類を添えて提出しなければならない。

3 入学志願者に対しては、実技試験又は学力試験を行い、入学を許可すべき者を決定する。

第45条 専攻科の授業料その他の費用は下記の通りとする。

(円)

項目	納付金				
	入学検定料	入学金	授業料	維持費	施設費
音楽専攻科	35,000	200,000	600,000	-	160,000

2 本学卒業生が入学する場合は、入学金を半額とする。

3 既納の納付金は如何なる事情あるもこれを返付しない。

第46条 専攻科に関し、本章に定める以外の事項は本学則の定めるところによる。

第14章 図書館

第47条 本学に図書館を設ける。

2 図書館に関する規程は別にこれを定める。

第15章 厚生保健施設

第48条 本学に厚生保健施設を設ける。

2 厚生保健の施設に関する規程は別にこれを定める。

第16章 外国人留学生、科目等履修生

第49条 外国人で、大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者がいるときは、選考のうえ、学長は外国人留学生として入学を許可することがある。

2 外国人留学生の授業科目及び単位数は、第7条に規定する別表第一の通りとする。

3 外国人留学生に関する規程は別にこれを定める。

第49条の2 本学の授業科目の履修を願い出た者は教授会の意見を聴いて、学長が科目等履修生として入学を許可することがある。

2 科目等履修生に関する規程は別にこれを定める。

第17章 公開講座

第50条 本学は公開講座を開設することがある。

2 公開講座に関する規程は別にこれを定める。

第18章 学生寮

第51条 本学に学生寮を設ける。

2 学生寮に関する規程は別にこれを定める。

第19章 附属研究・教育機関

第52条 本学に附属研究・教育機関として次のものを置く。

1. 相愛大学総合研究センター
 2. 相愛オーケストラ
 3. 相愛大学附属音楽教室
- 2 附属研究・教育機関の規程については、別にこれを定める。

附 則

1. 昭和33年1月10日 文部省認可
2. 昭和33年4月1日 施行
3. 昭和35年4月1日 改正
4. 昭和36年4月1日 改正
5. 昭和38年4月1日 改正
6. 昭和45年4月1日 改正
7. 昭和50年4月1日 改正
8. 昭和51年4月1日 改正
9. 昭和52年4月1日 改正
10. 昭和53年4月1日 改正
11. 昭和54年4月1日 改正
12. 昭和55年4月1日 改正
13. 昭和56年4月1日 改正
14. 昭和57年4月1日 改正
15. 昭和58年4月1日 改正
16. 昭和59年4月1日 改正
17. 昭和60年4月1日 改正
18. 昭和61年4月1日 改正
19. 昭和62年4月1日 改正
20. 昭和63年4月1日 改正
21. 平成元年4月1日 改正
22. 平成2年4月1日 改正
23. 平成3年4月1日 改正
24. 平成4年2月1日 改正
25. 平成4年4月1日 改正
26. 平成5年4月1日 改正
27. 平成6年4月1日 改正
28. 平成7年4月1日 改正
29. 平成8年4月1日 改正
30. 平成11年4月1日 改正
31. 平成12年4月1日 改正

32. 平成13年4月1日 改正
33. 平成14年4月1日 改正
34. 平成15年4月1日 改正
35. 平成16年4月1日 改正
36. 平成17年4月1日 改正
37. 平成18年4月1日 改正
38. 平成19年4月1日 改正
39. 平成20年4月1日 改正

附 則

1. 第7条別表第一「子ども発達学科専門科目」については、平成19年度入学生より適用する。
2. 第49条については、平成18年度入学生より適用する。

40. 平成21年4月1日 改正

附 則

1. 第8条については、平成18年度入学生より適用する。

41. 平成21年8月24日 改正
42. 平成22年4月1日 改正
43. 平成23年4月1日 改正

附 則

1. この改正学則は、平成23年4月1日より施行する。
2. 平成22年度以前に入学した学生については、第18条の2を除き、なお従前の学則による。
3. 平成23年度からの音楽学部、人文学部の収容定員は、第3条第2項の規定にかかわらず次の通りとする。

学 部・学 科		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
音 楽 学 部	音 楽 学 科	480人	480人	480人	480人
	音楽マネジメント学科	50人	100人	150人	200人
人 文 学 部	日 本 文 化 学 科	300人	280人	260人	240人
	仏 教 文 化 学 科	60人	120人	180人	240人
	文 化 交 流 学 科	60人	120人	190人	260人
	英 米 文 化 学 科	70人	一人	一人	一人
	人 間 心 理 学 科	240人	160人	80人	一人
	社会デザイン学科	180人	120人	60人	一人

4. 人文学部英米文化学科、人間心理学科、社会デザイン学科は、第3条第2項の規定にかかわらず平成23年3月31日に在学する者が、在学しなくなるまで存続する。

44. 平成24年4月1日 改正

附 則

1. この改正学則は、平成24年4月1日より施行する。
2. 平成23年度以前に入学した学生については、別表第一「図書館司書課程科目」を除き、なお従前の学則による。

45. 平成25年4月1日 改正

附 則

1. この改正学則は、平成25年4月1日より施行する。
2. 平成24年度以前に入学した学生については、なお従前の学則による。
3. 平成25年度からの人文学部の収容定員は、第3条第2項の規定にかかわらず次の通りとする。

学 部・学 科		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
人 文 学 部	人 文 学 科	90人	180人	270人	360人
	日 本 文 化 学 科	200人	120人	60人	一人
	仏 教 文 化 学 科	120人	120人	60人	一人
	文 化 交 流 学 科	130人	140人	70人	一人
	人 間 心 理 学 科	80人	一人	一人	一人
	社 会 デ ザ イ ン 学 科	60人	一人	一人	一人

4. 人文学部日本文化学科、仏教文化学科、文化交流学科、人間心理学科、社会デザイン学科は、第3条第2項の規定にかかわらず平成25年3月31日に在学する者が、在学しなくなるまで存続する。

46. 平成26年4月1日 改正

附 則

1. この改正学則は、平成26年4月1日より施行する。
2. 平成25年度以前に入学した学生については、なお従前の学則による。
3. 平成26年度からの音楽学部、人間発達学部の収容定員は、第3条第2項の規定にかかわらず次の通りとする。

学 部・学 科		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
音楽学部	音楽学科	460人	440人	420人	400人
	音楽マネジメント学科	200人	200人	200人	200人
人間発達学部	子ども発達学科	400人	400人	400人	400人
	発達栄養学科	380人	360人	340人	320人

47. 平成27年4月1日 改正

附 則

1. この改正学則は、平成27年4月1日より施行する。
2. 平成26年度以前に入学した学生については、なお従前の学則による。
3. 平成27年度からの人間発達学部の収容定員は、第3条第2項の規定にかかわらず次の通りとする。

学 部・学 科		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
人間発達学部	子ども発達学科	380人	360人	340人	320人
	発達栄養学科	360人	340人	320人	320人

48. 平成28年4月1日 改正

附 則

1. この改正学則は、平成28年4月1日より施行する。
2. 平成27年度以前に入学した学生については、なお従前の学則による。

49. 平成29年4月1日 改正

附 則

1. この改正学則は、平成29年4月1日より施行する。
2. 平成28年度以前に入学した学生については、なお従前の学則による。
3. 平成29年度からの音楽学部の収容定員は、第3条第2項の規定にかかわらず次の通りとする。

学 部・学 科		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
音楽学部	音 楽 学 科	400人	400人	400人	400人
	音楽マネジメント学科	170人	140人	110人	80人

50. 平成30年4月1日 改正

附 則

1. この改正学則は、平成30年4月1日より施行する。
2. 平成29年度以前に入学した学生については、なお従前の学則による。
3. 平成30年度からの音楽学部の収容定員は、第3条第2項の規定にかかわらず次の通りとする。

学 部・学 科		平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
音 楽 学 部	音 楽 学 科	400人	400人	400人	400人
	音楽マネジメント学科	120人	70人	20人	一人

4. 音楽学部音楽マネジメント学科は、第2条、第2条の2、第3条第2項、第9条、第14条、第27条の規定にかかわらず平成29年3月31日に在学する者が、在学しなくなるまで存続する。

51. 平成31年4月1日 改正

附 則

1. この改正学則は、平成31年4月1日より施行する。
2. 平成30年度以前に入学した学生については、なお従前の学則による。

52. 令和2年4月1日 改正

附 則

1. この改正学則は、令和2年4月1日より施行する。
2. 令和元（平成31）年度以前に入学した学生については、第9条の2を除き、なお従前の学則による。

附 則

53. 令和3年4月1日 改正

附 則

1. この改正学則は、令和3年4月1日より施行する。
2. 令和2年度以前に入学した学生については、なお従前の学則による。
3. 第7条の2については、令和2年度以前に入学した学生に遡及適用する。
4. 第7条別表第一の人間発達学部子ども発達学科専門科目については、平成31年度及び令和2年度に入学した学生に遡及適用する。

附 則

54. 令和4年4月1日 改正

附 則

1. この改正学則は、令和4年4月1日より施行する。
2. 令和3年年度以前に入学した学生については、なお従前の学則による。

3. 令和4年度からの音楽学部および人文学部の収容定員は、第3条第2項の規定にかかわらず次の通りとする。

学部	学科	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
音楽学部	音楽学科	380人	360人	340人	320人
人文学部	人文学科	385人	410人	425人	440人

別表第一（第7条関係）

共通教育科目

区分	授業科目名	単位数		年次	形態	期間	音楽学部	人文学部	人間発達学部			
		必修	選択				履修条件・卒業要件単位	履修条件・卒業要件単位	履修条件・卒業要件単位			
基礎科目	建学の精神	2		1	講義	半期	4単位以上	4単位以上	4単位以上			
	當相敬愛と浄土真宗Ⅰ	2		2	講義	半期						
	仏教思想と現代	2		2	講義	半期						
	大学と社会	2		1・2・3・4	講義	半期						
教養科目	複合領域	當相敬愛と浄土真宗Ⅱ	2	4	演習	半期	4単位以上	4単位以上	4単位以上			
		生涯学習概論	2	1・2・3・4	講義	半期						
		人権教育	2	1・2・3・4	講義	半期						
		社会生活と安全	2	1・2・3・4	講義	半期						
		市民性(シティズンシップ)育成論	2	1・2・3・4	講義	半期						
		共生社会論	2	1・2・3・4	講義	半期						
		現代社会とリテラシー	2	1・2・3・4	講義	半期						
		食と健康	2	1・2・3・4	講義	半期						
		生活文化を知る	2	1・2・3・4	講義	半期						
		図書館概論	2	1・2・3・4	講義	半期						
	人文	音楽の楽しみ	2	1・2・3・4	講義	半期						
		異文化を知る(海外研修実践)	2	1・2・3・4	実習	集中						
		文学概論	2	1・2・3・4	講義	半期						
		心理学概論	2	1・2・3・4	講義	半期						
		歴史学概論	2	1・2・3・4	講義	半期						
		倫理学概論	2	1・2・3・4	講義	半期						
		社会	日本国憲法	2	1・2・3・4	講義				半期		
			教育原論	2	1・2・3・4	講義				半期		
			経済学概論	2	1・2・3・4	講義				半期		
自然	生活の中の数学	2	1・2・3・4	講義	半期							
	科学史概論	2	1・2・3・4	講義	半期							
	生活の中の医学	2	1・2・3・4	講義	半期							
アカデミックスキル	キャリア	キャリアデザイン	2	1	演習	半期	4単位以上	4単位以上	4単位以上			
		インターンシップ	2	2	演習	半期						
	情報	情報処理演習A	2	1	演習	半期						
		情報処理演習B	2	1	演習	半期						
	健康	健康科学	2	2	講義	半期						
		健康とスポーツ実技	1	1	実技	半期						
		生涯健康とスポーツ実技	1	2	実技	半期						
	語学	英会話Ⅰ	2	1	演習	半期				留学生のみのみ	留学生のみのみ	留学生のみのみ
		英会話Ⅱ	2	1	演習	半期						
		英語Ⅰ	2	1	演習	半期						
英語Ⅱ		2	1	演習	半期							
ドイツ語Ⅰ		2	1	演習	半期							
ドイツ語Ⅱ		2	1	演習	半期							
イタリア語Ⅰ		2	1	演習	半期							
イタリア語Ⅱ		2	1	演習	半期							
フランス語Ⅰ		2	1	演習	半期							
フランス語Ⅱ		2	1	演習	半期							
中国語Ⅰ		2	1	演習	半期							
中国語Ⅱ		2	1	演習	半期							
ステップアップ英語A		1	1・2・3・4	演習	半期							
ステップアップ英語B		1	1・2・3・4	演習	半期							
ステップアップ英語C	1	1・2・3・4	演習	半期								
ステップアップ英語D	1	1・2・3・4	演習	半期								
日本語会話A	2	1	演習	半期								
日本語会話B	2	1	演習	半期								
日本語A	2	1	演習	半期								
日本語B	2	1	演習	半期								
日本語C	1	2	演習	半期								
日本語D	1	2	演習	半期								
	合計					18単位以上	18単位以上	18単位以上				

※年次欄の「1・2・3・4」は、いずれの学年からでも履修できる科目を示す。

音楽学部音楽学科専門科目（学科共通）

区分	授業科目名	単位数	年次	形態	期間	履修条件												備考		
						演奏コース						文化創造コース			特別演奏コース					
						声	ビ	創	才	管弦打	古	作	音	療	AP	声	ビ		管弦打	
学科基礎科目	音楽キャリアデザイン	2	1	講義	半期	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	音楽総合研究A	2	1	演習	集中	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	西洋音楽史 (中世・ルネッサンス・バロック)	2	2	講義	半期	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	★
	西洋音楽史 (古典派・ロマン派)	2	2	講義	半期	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	★
	アートマネジメント概論	2	3	講義	半期	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	合唱 I	2	1	演習	半期	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	音楽基礎演習 I	1	1	演習	半期															
	音楽基礎演習 II	1	1	演習	半期															
	和声法基礎演習 I	1	1	演習	半期							△	△	△	△	△	△	△	△	
	和声法基礎演習 II	1	1	演習	半期							△	△	△	△	△	△	△	△	
	和声法演習 I	1	1	演習	半期	●	●	●	●	●	●	△	△	△	△	△	△	△	△	●
	和声法演習 II	1	1	演習	半期	●	●	●	●	●	●	△	△	△	△	△	△	△	△	●
	楽式論	2	2	講義	半期	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	ソルフェージュ基礎 I	1	1	演習	半期							◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	
	ソルフェージュ基礎 II	1	1	演習	半期							◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	
	ソルフェージュ I	1	1	演習	半期	●	●	●	●	●	●	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	●
ソルフェージュ II	1	1	演習	半期	●	●	●	●	●	●	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	●	
副科ピアノ I	2	1	実技	通年	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
副科ピアノ II	2	2	実技	通年	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
学科基礎科目 卒業要件単位						22	18	18	22	22	18	20	22	22	22	22	18	22		
						単位以上	単位以上	単位以上	単位以上	単位以上	単位以上	単位以上	単位以上	単位以上	単位以上	単位以上	単位以上	単位以上		
学科応用科目	真宗礼拝音楽	1	1	演習	半期	●													●	★
	真宗礼拝音楽実習	1	1	実習	集中	●													●	★
	西洋音楽史各論A	2	3	講義	半期															
	西洋音楽史各論B	2	3	講義	半期															
	音楽総合研究B	2	2	演習	集中															
	合唱 II	2	1	演習	半期															
	音楽心理学	2	2	講義	半期															
	音楽美学	2	3	講義	半期															★
	音楽社会学	2	3	講義	半期															★
	音楽著作権	2	3	講義	半期															★
	アレクサンダー・テクニック	2	2	演習	半期															
	副科ピアノ III	2	3	実技	通年															
	副科声楽	2	3	実技	通年															
	副科管弦打古楽器	2	3	実技	通年															
	副科オルガン	2	3	実技	通年															
	演奏関連科目	和声法演習 III	1	2	演習	半期														
和声法演習 IV		1	2	演習	半期															
ソルフェージュ III		1	2	演習	半期															
ソルフェージュ IV		1	2	演習	半期															
対位法		2	3	演習	半期															
楽曲分析		2	2	講義	半期															
室内楽 I		2	2	実技	集中	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
室内楽 II		2	3	実技	集中	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
室内楽 III		2	4	実技	集中	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
特別研究 I A		3	3	実技	半期															
特別研究 I B		3	3	実技	半期															
特別研究 II A		3	4	実技	半期															
特別研究 II B		3	4	実技	半期															
海外研修事前・事後指導		1	1	演習	集中															
海外研修 I		2	1	実習	集中															
海外研修 II		2	2	実習	集中															
学科展開科目	日本音楽史	2	3	講義	半期															★
	諸民族の音楽	2	2	講義	半期															★
	管弦楽概説	2	3	講義	半期															
	指揮法 I	2	3	演習	半期															
	指揮法 II	2	3	演習	半期															
	伴奏法演習	2	3	演習	半期															
	作・編曲法 A	2	3	演習	半期															
	作・編曲法 B	2	3	演習	半期															
	器楽合奏	1	2	演習	半期															★
	雅楽 I	1	1	演習	半期															★
	雅楽 II	1	1	演習	半期															★
	地歌・箏曲 I	1	1	演習	半期															★
	地歌・箏曲 II	1	1	演習	半期															★
	近世歌謡	1	2	演習	半期															★
	常磐津 I	1	2	演習	半期															★
	常磐津 II	1	2	演習	半期															★
コレギウム・ムジクム I	1	1	演習	半期															★	
コレギウム・ムジクム II	1	1	演習	半期															★	
キーボード・ハーモニー A	1	3	演習	半期																
キーボード・ハーモニー B	1	3	演習	半期																

音楽学部音楽学科専門科目（学科共通）

区分	授業科目名	単位数	年次	形態	期間	履修条件												備考		
						演奏コース					文化創造コース			特別演奏コース						
						声	ピ	創	オ	管弦打	古	作	音	療	AP	声	ピ		管弦打	
学科共通科目	キャリア関連科目	コミュニケーションと交渉術	2	1	演習	半期														
		キャリアアップ研究	2	1	演習	半期														
		プレゼンテーション	2	2	講義	半期														
		現代日本の音楽カルチャー	2	2	講義	半期													★	
		コンピュータ・ミュージック（ノーテーション）	2	2	演習	半期														
		コンピュータ・ミュージック（エディット）	2	2	演習	半期														
		音楽教室の運営	2	4	演習	半期														
		音楽とライブラリ構築	2	3	演習	半期													★	
		映像と音楽と放送	2	3	講義	半期													★	
		音楽文化論	2	3	講義	半期														
音楽メディア論	2	3	講義	半期																
学科応用科目/学科展開科目 卒業要件単位						20単位以上														
学科共通科目 卒業要件単位						42	38	38	42	42	38	40	42	42	42	42	42	38	42	
						単位以上	単位以上	単位以上	単位以上	単位以上	単位以上	単位以上	単位以上	単位以上	単位以上	単位以上	単位以上			

履修条件欄の、声=声楽、ピ=ピアノ、創=創作演奏、オ=オルガン、管弦打=管弦打楽器、古=古楽器、作=作曲、音=音楽学、療=音楽療法、AP=アートプロデュースを示す。

また、●印は「必修科目」、△印・◇印はそれぞれ「2科目以上選択必修科目」、無印は「選択科目」、／線は「配当せず」を示す。備考欄の、★印は全学への開放科目を示す。

音楽学部音楽学科専門科目（演奏コース）

区分	授業科目名	単位数		年次	形態	期間	履修条件	卒業要件単位	備考
		必修	選択						
声楽 専門科目	専攻実技Ⅰ	3		1	実技	半期			
	専攻実技Ⅱ	3		1	実技	半期			
	専攻実技Ⅲ	3		2	実技	半期			
	専攻実技Ⅳ	3		2	実技	半期			
	専攻実技Ⅴ	3		3	実技	半期			
	専攻実技Ⅵ	3		3	実技	半期			
	専攻実技Ⅶ	3		4	実技	半期			
	専攻実技Ⅷ	3		4	実技	半期			
	イタリア歌曲研究Ⅰ	2		1	演習	半期			
	イタリア歌曲研究Ⅱ	2		1	演習	半期			
	日本歌曲研究	2		3	演習	半期			
	オラトリオ・カンタータ研究		2	3	演習	半期			
	オペラ演習Ⅰ		2	3	演習	半期			
	オペラ演習Ⅱ		2	3	演習	半期			
	オペラ演習Ⅲ		2	4	演習	半期			
	オペラ演習Ⅳ		2	4	演習	半期			
	ミュージカル演習Ⅰ		2	2	演習	半期			☆
	ミュージカル演習Ⅱ		2	2	演習	半期			☆
	ドイツ歌曲研究	2		2	演習	半期			
	フランス歌曲研究		2	2	演習	半期			
童謡・唱歌研究		2	3	演習	半期			☆	
イタリア語会話A		2	2	演習	半期			☆	
イタリア語会話B		2	2	演習	半期			☆	
学科専門科目 卒業要件単位								40単位以上	☆
								82単位以上	
演奏 コース	専攻実技Ⅰ	3		1	実技	半期			
	専攻実技Ⅱ	3		1	実技	半期			
	専攻実技Ⅲ	3		2	実技	半期			
	専攻実技Ⅳ	3		2	実技	半期			
	専攻実技Ⅴ	3		3	実技	半期			
	専攻実技Ⅵ	3		3	実技	半期			
	専攻実技Ⅶ	3		4	実技	半期			
	専攻実技Ⅷ	3		4	実技	半期			
	伴奏法Ⅰ	4		3	演習	通年	演奏課程のみ配当		
	伴奏法Ⅱ	4		4	演習	通年	演奏課程のみ配当		
	伴奏法Ⅰ		4	3	演習	通年	指導者課程のみ配当		
	伴奏法Ⅱ		4	4	演習	通年	指導者課程のみ配当		
	ピアノ音楽史A	2		2	講義	半期			☆
	ピアノ音楽史B	2		2	講義	半期			☆
	ピアノ室内楽Ⅰ	4		3	演習	通年			
	ピアノ室内楽Ⅱ		4	4	演習	通年			
	ピアノ教授法A		2	3	講義	半期			☆
	ピアノ教授法B		2	3	講義	半期			☆
	リトミックA	2		2	演習	半期			☆
	リトミックB	2		2	演習	半期			☆
	電子オルガンⅠ		2	2	実技	通年	アドヴァンス、演奏課程のみ配当		
	電子オルガンⅠ	2		2	実技	通年	指導者課程のみ配当		
	電子オルガンⅡ		2	3	実技	通年			
	演奏研究A	1		2	演習	集中	アドヴァンス課程のみ配当		
	演奏研究B	1		2	演習	集中	アドヴァンス課程のみ配当		
	演奏研究C		1	3	演習	集中	アドヴァンス課程のみ配当		
	演奏研究D		1	3	演習	集中	アドヴァンス課程のみ配当		
	演奏研究E		1	4	演習	集中	アドヴァンス課程のみ配当		
	演奏研究F		1	4	演習	集中	アドヴァンス課程のみ配当		
	アンサンブル演習ⅠA	2		1	演習	半期	アドヴァンス課程のみ配当		
	アンサンブル演習ⅠB	2		1	演習	半期	アドヴァンス課程のみ配当		
	アンサンブル演習ⅡA	2		2	演習	半期	アドヴァンス課程のみ配当		
	アンサンブル演習ⅡB	2		2	演習	半期	アドヴァンス課程のみ配当		
	アンサンブル演習ⅢA		2	3	演習	半期	アドヴァンス課程のみ配当		
アンサンブル演習ⅢB		2	3	演習	半期	アドヴァンス課程のみ配当			
アンサンブル演習ⅣA		2	4	演習	半期	アドヴァンス課程のみ配当			
アンサンブル演習ⅣB		2	4	演習	半期	アドヴァンス課程のみ配当			
指導基礎演習	4		1	演習	通年	指導者課程のみ配当			
ピアノ教材研究	2		3	演習	半期	指導者課程のみ配当			
ピアノ指導法研究	2		3	演習	半期	指導者課程のみ配当			
学科専門科目 卒業要件単位								44単位以上	
								82単位以上	

音楽学部音楽学科専門科目（演奏コース）

区分	授業科目名	単位数		年次	形態	期間	履修条件	卒業要件単位	備考
		必修	選択						
演奏コース	創作演奏 専門科目	専攻実技Ⅰ	3		1	実技	半期	44単位以上 82単位以上	
		専攻実技Ⅱ	3		1	実技	半期		
		専攻実技Ⅲ	3		2	実技	半期		
		専攻実技Ⅳ	3		2	実技	半期		
		専攻実技Ⅴ	3		3	実技	半期		
		専攻実技Ⅵ	3		3	実技	半期		
		専攻実技Ⅶ	3		4	実技	半期		
		専攻実技Ⅷ	3		4	実技	半期		
		創作演奏基礎演習	2		1	演習	半期		
		制作演習Ⅰ	2		1	演習	半期		
		アナリーゼ演習	2		2	演習	半期		
		制作演習Ⅱ	2		2	演習	半期		
		サウンド制作演習	2		3	演習	半期		
		スコア制作演習	2		3	演習	半期		
		作品研究Ⅰ	2		4	演習	半期		
		作品研究Ⅱ	2		4	演習	半期		
		副科実技Ⅰ	2		1	実技	通年		
		副科実技Ⅱ	2		2	実技	通年		
		副科研究Ⅰ		2	3	実技	通年		
		副科研究Ⅱ		2	4	実技	通年		
アンサンブルⅠA	2		3	演習	半期				
アンサンブルⅠB		2	3	演習	半期				
アンサンブルⅡA		2	4	演習	半期				
アンサンブルⅡB		2	4	演習	半期				
学科専門科目 卒業要件単位									
演奏コース	オルガン 専門科目	専攻実技Ⅰ	3		1	実技	半期	40単位以上 82単位以上	
		専攻実技Ⅱ	3		1	実技	半期		
		専攻実技Ⅲ	3		2	実技	半期		
		専攻実技Ⅳ	3		2	実技	半期		
		専攻実技Ⅴ	3		3	実技	半期		
		専攻実技Ⅵ	3		3	実技	半期		
		専攻実技Ⅶ	3		4	実技	半期		
		専攻実技Ⅷ	3		4	実技	半期		
		オルガン基礎理論ⅠA	2		1	演習	半期		☆
		オルガン基礎理論ⅠB	2		1	演習	半期		☆
		オルガン基礎理論ⅡA	2		2	演習	半期		
		オルガン基礎理論ⅡB	2		2	演習	半期		
		オルガン基礎理論ⅢA	2		3	演習	半期		
		オルガン基礎理論ⅢB	2		3	演習	半期		
		オルガン基礎理論ⅣA	2		4	演習	半期		
		オルガン基礎理論ⅣB	2		4	演習	半期		
学科専門科目 卒業要件単位									
演奏コース	管弦打楽器 専門科目	専攻実技Ⅰ	3		1	実技	半期	40単位以上 82単位以上	
		専攻実技Ⅱ	3		1	実技	半期		
		専攻実技Ⅲ	3		2	実技	半期		
		専攻実技Ⅳ	3		2	実技	半期		
		専攻実技Ⅴ	3		3	実技	半期		
		専攻実技Ⅵ	3		3	実技	半期		
		専攻実技Ⅶ	3		4	実技	半期		
		専攻実技Ⅷ	3		4	実技	半期		
		オーケストラA	2		1	演習	半期		
		オーケストラB	2		1	演習	半期		
		オーケストラC	2		2	演習	半期		
		オーケストラD	2		2	演習	半期		
		オーケストラE	2		3	演習	半期		
		オーケストラF	2		3	演習	半期		
		オーケストラG	2		4	演習	半期		
		オーケストラH	2		4	演習	半期		
		管弦打楽器アンサンブル演習A		1	1	演習	半期		
		管弦打楽器アンサンブル演習B		1	1	演習	半期		
		管弦打楽器アンサンブル演習C		1	2	演習	半期		
		管弦打楽器アンサンブル演習D		1	2	演習	半期		
		管弦打楽器アンサンブル演習E		1	3	演習	半期		
		管弦打楽器アンサンブル演習F		1	3	演習	半期		
		管弦打楽器アンサンブル演習G		1	4	演習	半期		
		管弦打楽器アンサンブル演習H		1	4	演習	半期		
		弦楽器指導法A		2	3	演習	半期		
		弦楽器指導法B		2	3	演習	半期		
アンサンブル指導法実習		1	3	実習	半期				
オーケストラインターンシップ特別研究A		1	3	実技	集中				
オーケストラインターンシップ特別研究B		1	3	実技	集中				
オーケストラインターンシップ特別実習A		1	3	実習	集中				
オーケストラインターンシップ特別実習B		1	3	実習	集中				
学科専門科目 卒業要件単位									

音楽学部音楽学科専門科目（演奏コース）

区分	授業科目名	単位数		年次	形態	期間	履修条件	卒業要件単位	備考	
		必修	選択							
演奏 コース	古楽器 専門科目	専攻実技Ⅰ	3		1	実技	半期	44単位以上 82単位以上		
		専攻実技Ⅱ	3		1	実技	半期			
		専攻実技Ⅲ	3		2	実技	半期			
		専攻実技Ⅳ	3		2	実技	半期			
		専攻実技Ⅴ	3		3	実技	半期			
		専攻実技Ⅵ	3		3	実技	半期			
		専攻実技Ⅶ	3		4	実技	半期			
		専攻実技Ⅷ	3		4	実技	半期			
		鍵盤実技Ⅰ	2		1	実技	通年			
		鍵盤実技Ⅱ	2		2	実技	通年			
		鍵盤実技Ⅲ		2	3	実技	通年			
		鍵盤実技Ⅳ		2	4	実技	通年			
		古楽器研究Ⅰ	2		1	演習	半期			☆
		古楽器研究Ⅱ	2		1	演習	半期			☆
		古楽器研究Ⅲ	2		2	演習	半期			
		古楽器研究Ⅳ	2		2	演習	半期			
		古楽器研究Ⅴ	2		3	演習	半期			
		古楽器研究Ⅵ	2		3	演習	半期			
古楽器研究Ⅶ	2		4	演習	半期					
古楽器研究Ⅷ	2		4	演習	半期					
学科専門科目 卒業要件単位								44単位以上 82単位以上		

備考欄の、☆印は音楽学科内への開放科目を示す。

音楽学部音楽学科専門科目（音楽文化創造コース）

区分	授業科目名	単位数		年次	形態	期間	履修条件	卒業要件単位	備考
		必修	選択						
音楽文化創造	作曲専門科目	作曲演習Ⅰ	2		1	演習	半期	42単位以上	☆
		作曲演習Ⅱ	2		1	演習	半期		☆
		作曲実技Ⅰ	3		2	実技	半期		
		作曲実技Ⅱ	3		2	実技	半期		
		作曲実技Ⅲ	3		3	実技	半期		
		作曲実技Ⅳ	3		3	実技	半期		
		作曲実技Ⅴ	3		4	実技	半期		
		作曲実技Ⅵ	3		4	実技	半期		
		作曲理論Ⅰ	2		1	実技	半期		
		作曲理論Ⅱ	2		1	実技	半期		
		作曲理論Ⅲ	2		2	実技	半期		
		作曲理論Ⅳ	2		2	実技	半期		
		作曲理論Ⅴ		2	3	実技	半期		
		作曲理論Ⅵ		2	3	実技	半期		
	作曲リレーションワーク	2		1	演習	半期			
	管弦楽法	2		1	演習	半期	☆		
	現代音楽概説A		2	2	講義	半期	☆		
	現代音楽概説B		2	2	講義	半期	☆		
	ポピュラー・ミュージック概説A		2	2	講義	半期	☆		
	ポピュラー・ミュージック概説B		2	2	講義	半期	☆		
音響学A		2	1	講義	半期	☆			
音響学B		2	1	講義	半期	☆			
音楽情報処理A		2	2	演習	半期				
音楽情報処理B		2	2	演習	半期				
学科専門科目 卒業要件単位							82単位以上		
音楽文化創造コース	音楽学専門科目	音楽学概説A	2		1	講義	半期	40単位以上	
		音楽学概説B	2		1	講義	半期		
		音楽構造研究ⅠA	2		1	演習	半期		☆
		音楽構造研究ⅠB	2		1	演習	半期		☆
		音楽構造研究ⅡA	2		2	演習	半期		
		音楽構造研究ⅡB	2		2	演習	半期		
		音楽学基礎研究A	2		2	講義	半期		☆
		音楽学基礎研究B	2		2	講義	半期		☆
		音楽学演習ⅠA	2		3	演習	半期		☆
		音楽学演習ⅠB	2		3	演習	半期		☆
		音楽学演習ⅡA	2		4	演習	半期		
		音楽学演習ⅡB	2		4	演習	半期		
		楽書講読（英語）ⅠA	2		2	演習	半期		☆
		楽書講読（英語）ⅠB	2		2	演習	半期		☆
	楽書講読（英語）ⅡA		2	3	演習	半期	☆		
	楽書講読（英語）ⅡB		2	3	演習	半期	☆		
	音楽の歴史と文化A		2	2	講義	半期	☆		
	音楽の歴史と文化B		2	3	講義	半期	☆		
	ポピュラー・ミュージック概説A		2	2	講義	半期	☆		
	ポピュラー・ミュージック概説B		2	2	講義	半期	☆		
卒業研究	2		4	演習	半期				
卒業論文	2		4	演習	半期				
学科専門科目 卒業要件単位							82単位以上		

音楽学部音楽学科専門科目（音楽文化創造コース）

区分	授業科目名	単位数		年次	形態	期間	履修条件	卒業要件単位	備考
		必修	選択						
音楽 文化 創造 コース	音楽療法 専門科目	音楽療法概論	2		2	講義	半期		☆
		音楽療法の基礎A	2		1	講義	半期		☆
		音楽療法の基礎B	2		1	講義	半期		☆
		音楽療法各論A	2		2	演習	半期		☆
		音楽療法各論B	2		2	演習	半期		☆
		音楽療法各論C	2		3	演習	半期		☆
		声楽演習Ⅰ	2		1	演習	半期		
		声楽演習Ⅱ	2		1	演習	半期		
		臨床即興Ⅰ	2		2	演習	半期		☆
		臨床即興Ⅱ	2		2	演習	半期		☆
		音楽療法演習	2		3	演習	半期		☆
		卒業研究	4		4	演習	通年		
		音楽療法実習Ⅰ	2		3	実習	集中		
		音楽療法実習Ⅱ		2	3	実習	半期		
		音楽療法実習Ⅲ		2	4	実習	半期		
		医学概論	2		3	講義	半期		
		臨床医学各論Ⅰ		2	2	講義	半期		☆
		臨床医学各論Ⅱ		2	2	講義	半期		☆
		臨床心理学Ⅰ	2		2	演習	半期		
		臨床心理学Ⅱ	2		2	演習	半期		
		社会福祉論	2		2	講義	半期		☆
		介護概論		2	2	講義	半期		☆
		発達心理学		2	3	講義	半期		
		障害児教育		2	3	講義	半期		
		音楽構造研究ⅠA		2	1	演習	半期		☆
音楽構造研究ⅠB		2	1	演習	半期		☆		
学科専門科目 卒業要件単位								40単位以上	☆
								82単位以上	
音楽 文化 創造 コース	アートプロデュース 専門科目	アートプロデュース演習Ⅰ	2		2	演習	半期		
		アートプロデュース演習Ⅱ	2		3	演習	半期		
		アートプロデュース演習Ⅲ	2		3	演習	半期		
		卒業研究Ⅰ	2		4	演習	半期		
		卒業研究Ⅱ	2		4	演習	半期		
		アートプロデュース概説	2		1	講義	半期		☆
		舞台芸術概論	2		1	講義	半期		☆
		音響学A	2		1	講義	半期		☆
		音響学B	2		1	講義	半期		☆
		舞台組織機構概論	2		2	講義	半期		☆
		レコーディング・エディットA	2		2	演習	半期		☆
		レコーディング・エディットB	2		2	演習	半期		☆
		サウンドソフトウエアA	2		3	演習	半期		☆
		サウンドソフトウエアB	2		3	演習	半期		☆
		舞台スタッフ演習		2	2	演習	集中		☆
		文化政策		2	2	講義	半期		☆
		アートと法律		2	2	講義	半期		☆
		音楽情報処理A		2	2	演習	半期		☆
		音楽情報処理B		2	2	演習	半期		☆
		芸術企画研究Ⅰ		2	3	演習	半期		
		芸術企画研究Ⅱ		2	3	演習	半期		
		アーティスト論		2	3	講義	半期		☆
		芸術環境論		2	3	講義	半期		
		ミュージックデザインA		2	3	演習	半期		☆
		ミュージックデザインB		2	3	演習	半期		☆
メディア情報学		2	3	講義	半期				
電子回路の基礎		2	2	講義	半期		☆		
学科専門科目 卒業要件単位								40単位以上	☆
								82単位以上	

備考欄の、☆印は音楽学科内への開放科目を示す。

音楽学部音楽学科専門科目（特別演奏コース）

区分	授業科目名	単位数		年次	形態	期間	履修条件	卒業要件単位	備考
		必修	選択						
特別演奏コース	声乐専門科目	専攻実技Ⅰ	3		1	実技	半期		
		専攻実技Ⅱ	3		1	実技	半期		
		専攻実技Ⅲ	3		2	実技	半期		
		専攻実技Ⅳ	3		2	実技	半期		
		専攻実技Ⅴ	3		3	実技	半期		
		専攻実技Ⅵ	3		3	実技	半期		
		専攻実技Ⅶ	3		4	実技	半期		
		専攻実技Ⅷ	3		4	実技	半期		
		イタリア歌曲研究Ⅰ	2		1	演習	半期		
		イタリア歌曲研究Ⅱ	2		1	演習	半期		
		日本歌曲研究	2		3	演習	半期		
		オラトリオ・カンタータ研究		2	3	演習	半期		
		オペラ演習Ⅰ		2	3	演習	半期		
		オペラ演習Ⅱ		2	3	演習	半期		
		オペラ演習Ⅲ		2	4	演習	半期		
		オペラ演習Ⅳ		2	4	演習	半期		
		ミュージカル演習Ⅰ		2	2	演習	半期		☆
		ミュージカル演習Ⅱ		2	2	演習	半期		☆
		ドイツ歌曲研究	2		2	演習	半期		
		フランス歌曲研究		2	2	演習	半期		
		童謡・唱歌研究		2	3	演習	半期		☆
		イタリア語会話A		2	2	演習	半期		☆
		イタリア語会話B		2	2	演習	半期		☆
		特別演奏研究A		3	1	実技	半期		
特別演奏研究B		3	1	実技	半期				
特別演奏研究C		3	2	実技	半期				
特別演奏研究D		3	2	実技	半期				
学科専門科目 卒業要件単位								40単位以上 82単位以上	
特別演奏コース	ピアノ専門科目	専攻実技Ⅰ	3		1	実技	半期		
		専攻実技Ⅱ	3		1	実技	半期		
		専攻実技Ⅲ	3		2	実技	半期		
		専攻実技Ⅳ	3		2	実技	半期		
		専攻実技Ⅴ	3		3	実技	半期		
		専攻実技Ⅵ	3		3	実技	半期		
		専攻実技Ⅶ	3		4	実技	半期		
		専攻実技Ⅷ	3		4	実技	半期		
		特別演奏研究A		3	1	実技	半期		
		特別演奏研究B		3	1	実技	半期		
		特別演奏研究C		3	2	実技	半期		
		特別演奏研究D		3	2	実技	半期		
		演奏会演習	4		1	演習	通年		
		特別演奏実習A	2		2	実習	通年		
		特別演奏実習B		2	3	実習	通年		
		特別演奏実習C		2	3	実習	通年		
		卒業演奏		4	4	演習	集中		
		重奏研究A	2		1	演習	集中		
		重奏研究B	2		1	演習	集中		
		重奏研究C	2		2	演習	集中		
		重奏研究D	2		2	演習	集中		
		重奏研究E		2	3	演習	集中		
		重奏研究F		2	3	演習	集中		
		ピアノ室内楽Ⅰ	4		3	演習	集中		
ピアノDuo A		2	4	演習	半期				
ピアノDuo B		2	4	演習	半期				
ピアノ音楽史A		2	2	講義	半期		☆		
ピアノ音楽史B		2	2	講義	半期		☆		
ピアノ教授法A		2	3	講義	半期		☆		
ピアノ教授法B		2	3	講義	半期		☆		
学科専門科目 卒業要件単位								44単位以上 82単位以上	

音楽学部音楽学科専門科目（特別演奏コース）

区分	授業科目名	単位数		年次	形態	期間	履修条件	卒業要件単位	備考
		必修	選択						
特別演奏コース	専攻実技Ⅰ	3		1	実技	半期			
	専攻実技Ⅱ	3		1	実技	半期			
	専攻実技Ⅲ	3		2	実技	半期			
	専攻実技Ⅳ	3		2	実技	半期			
	専攻実技Ⅴ	3		3	実技	半期			
	専攻実技Ⅵ	3		3	実技	半期			
	専攻実技Ⅶ	3		4	実技	半期			
	専攻実技Ⅷ	3		4	実技	半期			
	特別演奏研究A		3	1	実技	半期			
	特別演奏研究B		3	1	実技	半期			
	特別演奏研究C		3	2	実技	半期			
	特別演奏研究D		3	2	実技	半期			
	演奏会演習	4		1	演習	通年			
	特別演奏実習A		2	1	実習	通年			
	特別演奏実習B		2	2	実習	通年			
	特別演奏実習C		2	2	実習	通年			
	卒業演奏		4	4	演習	集中			
	重奏研究A	2		1	演習	集中			
	重奏研究B	2		1	演習	集中			
	重奏研究C		2	2	演習	集中			
	重奏研究D		2	2	演習	集中			
	重奏研究E		2	3	演習	集中			
	重奏研究F		2	3	演習	集中			
	オーケストラA	2		1	演習	半期			
	オーケストラB	2		1	演習	半期			
	オーケストラC	2		2	演習	半期			
	オーケストラD	2		2	演習	半期			
	オーケストラE		2	3	演習	半期			
	オーケストラF		2	3	演習	半期			
	オーケストラG		2	4	演習	半期			
	オーケストラH		2	4	演習	半期			
	管弦打楽器アンサンブル演習A		1	1	演習	半期			
	管弦打楽器アンサンブル演習B		1	1	演習	半期			
	管弦打楽器アンサンブル演習C		1	2	演習	半期			
	管弦打楽器アンサンブル演習D		1	2	演習	半期			
	管弦打楽器アンサンブル演習E		1	3	演習	半期			
	管弦打楽器アンサンブル演習F		1	3	演習	半期			
	管弦打楽器アンサンブル演習G		1	4	演習	半期			
	管弦打楽器アンサンブル演習H		1	4	演習	半期			
	弦楽器指導法A		2	3	演習	半期			
弦楽器指導法B		2	3	演習	半期				
オーケストラ特別研究A		1	3	実技	集中				
オーケストラ特別研究B		1	3	実技	集中				
オーケストラ特別研究C		1	3	実習	集中				
オーケストラ特別研究D		1	3	実習	集中				
学科専門科目 卒業要件単位								40単位以上	
								82単位以上	

備考欄の、☆印は音楽学科内への開放科目を示す。

人文学部人文学科（日本文学コース）専門科目

区分	授業科目名	単位数			年次	形態	期間	履修条件	卒業要件単位	備考
		必修	選択必修	選択						
ゼミナール科目	基礎演習A	2			1	演習	半期	16単位以上		
	基礎演習B	2			1	演習	半期			
	専門基礎演習A	2			2	演習	半期			
	専門基礎演習B	2			2	演習	半期			
	専門応用演習A	2			3	演習	半期			
	専門応用演習B	2			3	演習	半期			
	専門研究演習	2			4	演習	半期			
卒業研究	2			4	演習	半期				
入門科目	人文学概論	2			1	講義	半期	8単位以上		
	日本文化概論			2	1	講義	半期			
	日本史入門			2	1	講義	半期			
	人間の心と行動			2	1	講義	半期			
	宗教学概論A			2	1	講義	半期			★
	仏教学概論A			2	1	講義	半期			★
	サブカルチャー入門			2	1	講義	半期			
	英語圏文化入門			2	1	講義	半期			
社会学概論			2	1	講義	半期				
キャリア支援科目	主体的学習法	2			1	講義	半期	8単位以上		
	プレゼンテーション演習			2	1	演習	半期			
	グループワーキング演習	2			2	演習	半期			
	社会人基礎力形成演習	2			2	演習	半期			
	社会人基礎力実践			2	3	演習	半期			
	データ分析			2	3	演習	半期			
専門関連科目	日本文学入門1		2		1	講義	半期	30単位以上		★
	日本文学入門2		2		1	講義	半期			★
	日本古典文学史		2		2	講義	半期			★
	日本近代文学史		2		2	講義	半期			★
	国語学概論		2		1	講義	半期			★
	国語史		2		2	講義	半期			★
	言語学概論		2		1	講義	半期			★
	日本文学概論		2		1	講義	半期			★
	日本文学講読A		2		2	演習	半期			★
	日本文学講読B		2		2	演習	半期			★
	日本文学演習A		2		3	演習	半期			★
	日本文学演習B		2		3	演習	半期			★
	漢文学講読A		2		1	演習	半期			★
	漢文学講読B		2		1	演習	半期			★
	日本美術史		2		3	講義	半期			★
	国語表現法		2		2	講義	半期			★
	ことばと文化		2		1	講義	半期			★
	日本語プレゼンテーション		2		2	演習	半期			★
	日本語教授法		2		3	講義	半期			★
	漢文学		2		1	講義	半期			★
	漢文学史A		2		2	講義	半期			★
	漢文学史B		2		2	講義	半期			★
	書道A		1		3	実習	半期			★
	書道B		1		3	実習	半期			★
	国語学演習A		2		3	演習	半期			★
	国語学演習B		2		3	演習	半期			★
	文学と芸能		2		1	講義	半期			★
	日本文学と仏教		2		2	講義	半期			★
	映像と文学		2		3	講義	半期			★
	浪速の文学		2		3	講義	半期			★
	文化資料論A（日本文学）		2		3	講義	半期			★
	文化資料論B（日本文学）		2		3	講義	半期			★
	日本文学研究法		2		3	講義	半期			★
	日本文化特殊講義（日本文学）		2		3	講義	半期			★
日本文化史A			2	2	講義	半期		★		
日本文化史B			2	2	講義	半期		★		
日本思想史			2	3	講義	半期		★		
歴史と資料			2	3	講義	半期		★		
歴史文化特殊講義			2	3	講義	半期		★		
サブカルチャー概論			2	1	講義	半期		★		
大阪学			2	2	講義	半期		★		
上方落語論			2	3	講義	半期		★		
大阪文化特殊講義			2	2	講義	半期		★		
生活文化論			2	2	講義	半期		★		
日本のアニメ文化			2	2	講義	半期		★		
日本漫画史			2	2	講義	半期		★		
サブカルチャー資料論			2	3	講義	半期		★		
日本文化特殊講義（サブカルチャー）			2	3	講義	半期		★		
真宗入門			2	1	講義	半期		★		
宗教学概論B			2	1	講義	半期		★		

(次頁へ続く)

(次頁へ続く)

人文学部人文学科（日本文学コース）専門科目

区分	授業科目名	単位数			年次	形態	期間	履修条件	卒業要件単位	備考
		必修	選択必修	選択						
専門 関 連 科 目	仏教学概論B			2	1	講義	半期		★	
	哲学概論			2	1	講義	半期		★	
	仏教と生活			2	2	演習	半期		★	
	パーリ語入門			2	2	講義	半期		★	
	サンスクリット語入門			2	2	講義	半期		★	
	宗教儀礼概論			2	1	講義	半期		★	
	宗教社会学			2	2	講義	半期		★	
	宗教史			2	2	講義	半期		★	
	仏教史			2	1	講義	半期		★	
	真宗史			2	2	講義	半期		★	
	日本仏教史A			2	2	講義	半期		★	
	日本仏教史B			2	2	講義	半期		★	
	仏教思想論			2	3	講義	半期		★	
	宗教哲学			2	3	講義	半期		★	
	比較宗教学			2	2	講義	半期		★	
	宗教心理学			2	1	講義	半期		★	
	仏教と社会福祉			2	3	講義	半期		★	
	身体論			2	2	講義	半期		★	
	真宗学概論			2	3	講義	半期		★	
	真宗聖典学			2	2	講義	半期		★	
	宗門法規			2	2	講義	半期		★	
	布教法			2	2	講義	半期		★	
	勤式作法			2	2	演習	半期		★	
	宗教社会活動論			2	3	講義	半期		★	
	ビハーラ演習			2	3	演習	半期		★	
	真宗教学史・教団史			2	3	講義	半期		★	
	真宗儀礼演習			2	3	演習	半期		★	
	真宗伝道演習			2	3	演習	半期		★	
	寺院運営論			2	3	講義	半期		★	
	仏教文化講読1			2	2	演習	半期		★	
	仏教文化講読2			2	3	演習	半期		★	
	仏教文化演習			2	3	演習	半期		★	
	アジアの仏教と社会			2	3	講義	半期		★	
	公認心理師の職責			2	2	講義	半期		★	
	知覚・認知心理学			2	1	講義	半期		★	
	学習・言語心理学			2	1	講義	半期		★	
	心理学実験			2	2	実験	半期		★	
	心理学基礎実習			2	3	実習	半期		★	
	心理的アセスメント			2	3	講義	半期		★	
	心理演習			2	3	演習	半期			
	心理実習			2	4	実習	集中			
	社会・集団・家族心理学			2	1	講義	半期		★	
	人間関係論			2	2	講義	半期		★	
	心理学研究法			2	2	講義	半期		★	
	健康・医療心理学			2	2	講義	半期		★	
	福祉心理学			2	2	講義	半期		★	
	心理学統計法			2	2	講義	半期		★	
	感情・人格心理学			2	1	講義	半期		★	
	発達心理学			2	1	講義	半期		★	
	障害者・障害児心理学			2	2	講義	半期		★	
教育・学校心理学			2	1	講義	半期		★		
臨床心理学概論			2	2	講義	半期		★		
心理学的支援法			2	3	講義	半期		★		
人体の構造と機能及び疾病			2	3	講義	半期		★		
精神疾患とその治療			2	3	講義	半期				
神経・生理心理学			2	3	講義	半期				
司法・犯罪心理学			2	2	講義	半期				
関係行政論			2	3	講義	半期				
グループダイナミックス			2	2	講義	半期		★		
産業・組織心理学			2	2	講義	半期		★		
消費者行動論			2	3	講義	半期		★		
多文化社会論入門			2	1	講義	半期		★		
国際関係入門			2	1	講義	半期		★		
異文化間コミュニケーション			2	2	講義	半期		★		
英語文学概論			2	1	講義	半期		★		
英語圏の社会と文化A			2	2	講義	半期		★		
フィールドワーク論			2	2	講義	半期		★		
スピーチとプレゼンテーション			2	1	演習	半期		★		
ビジネス英語			2	3	演習	半期		★		
コミュニケーション実践			2	3	演習	半期		★		
翻訳入門			2	2	演習	半期		★		
翻訳演習			2	2	演習	半期		★		
通訳入門			2	3	演習	半期		★		
通訳演習			2	3	演習	半期		★		
比較文化論			2	2	講義	半期	(次頁へ続く)	★		

人文学部人文学科（日本文学コース）専門科目

区分	授 業 科 目 名	単位数			年次	形態	期間	履修条件	卒業要件単位	備考
		必修	選択必修	選択						
専 門 関 連 科 目	情報社会論			2	3	講義	半期			★
	英語文学講読			2	2	演習	半期			★
	英語圏の社会と文化B			2	2	講義	半期			★
	マーケティング論			2	3	講義	半期			★
	観光学			2	2	講義	半期			★
	社会調査入門			2	1	講義	半期			★
	現代社会論			2	2	講義	半期			★
	マス・メディア論			2	1	講義	半期			★
	国際金融論			2	2	講義	半期			★
	国際政治論			2	2	講義	半期			★
	社会統計学			2	2	講義	半期			★
	社会調査法			2	2	講義	半期			★
	企業管理論			2	3	講義	半期			★
	貿易論			2	3	講義	半期			★
企業経営論			2	2	講義	半期			★	
社会調査演習			4	3	演習	通年		80単位以上	★	

備考欄の、★印は全学への開放科目を示す。

人文学部人文学科（歴史・サブカルチャーコース）専門科目

区分	授業科目名	単位数			年次	形態	期間	履修条件	卒業要件単位	備考
		必修	選択必修	選択						
ゼミナール科目	基礎演習A	2			1	演習	半期	16単位以上		
	基礎演習B	2			1	演習	半期			
	専門基礎演習A	2			2	演習	半期			
	専門基礎演習B	2			2	演習	半期			
	専門応用演習A	2			3	演習	半期			
	専門応用演習B	2			3	演習	半期			
	専門研究演習	2			4	演習	半期			
	卒業研究	2			4	演習	半期			
入門科目	人文学概論	2			1	講義	半期	8単位以上		
	日本文化概論			2	1	講義	半期			
	日本史入門			2	1	講義	半期			
	人間の心と行動			2	1	講義	半期			
	宗教学概論A			2	1	講義	半期			★
	仏教学概論A			2	1	講義	半期			★
	サブカルチャー入門			2	1	講義	半期			
	英語圏文化入門			2	1	講義	半期			
キャリア支援科目	社会学概論			2	1	講義	半期	8単位以上		
	主体的学習法	2			1	講義	半期			
	プレゼンテーション演習			2	1	演習	半期			
	グループワーキング演習	2			2	演習	半期			
	社会人基礎力形成演習	2			2	演習	半期			
	社会人基礎力実践			2	3	演習	半期			
専門関連科目	データ分析			2	3	演習	半期	30単位以上		
	日本文学入門1		2		1	講義	半期			★
	日本文学入門2		2		1	講義	半期			★
	日本古典文学史		2		2	講義	半期			★
	日本近代文学史		2		2	講義	半期			★
	日本美術史		2		3	講義	半期			★
	漢文学史A		2		2	講義	半期			★
	漢文学史B		2		2	講義	半期			★
	映像と文学		2		3	講義	半期			★
	浪速の文学		2		3	講義	半期			★
	日本文化史A		2		2	講義	半期			★
	日本文化史B		2		2	講義	半期			★
	日本思想史		2		3	講義	半期			★
	歴史と資料		2		3	講義	半期			★
	歴史文化特殊講義		2		3	講義	半期			★
	サブカルチャー概論		2		1	講義	半期			★
	大阪学		2		2	講義	半期			★
	上方落語論		2		3	講義	半期			★
	大阪文化特殊講義		2		2	講義	半期			★
	生活文化論		2		2	講義	半期			★
	日本のアニメ文化		2		2	講義	半期			★
	日本漫画史		2		2	講義	半期			★
	サブカルチャー資料論		2		3	講義	半期			★
	日本文化特殊講義(サブカルチャー)		2		3	講義	半期			★
	宗教史		2		2	講義	半期			★
	比較宗教学		2		2	講義	半期			★
	社会・集団・家族心理学		2		1	講義	半期			★
	消費者行動論		2		3	講義	半期			★
	ことばと文化		2		1	講義	半期			★
	異文化間コミュニケーション		2		2	講義	半期			★
	比較文化論		2		2	講義	半期			★
	情報社会論		2		3	講義	半期			★
	マーケティング論		2		3	講義	半期			★
	観光学		2		2	講義	半期			★
	マス・メディア論		2		1	講義	半期			★
	国語学概論			2	1	講義	半期			★
	国語史			2	2	講義	半期			★
	言語学概論			2	1	講義	半期			★
	日本文学概論			2	1	講義	半期			★
	日本文学講読A			2	2	演習	半期			★
日本文学講読B			2	2	演習	半期		★		
日本文学演習A			2	3	演習	半期		★		
日本文学演習B			2	3	演習	半期		★		
漢文学講読A			2	1	演習	半期		★		
漢文学講読B			2	1	演習	半期		★		
国語表現法			2	2	講義	半期		★		
日本語プレゼンテーション			2	2	演習	半期		★		
日本語教授法			2	3	講義	半期		★		
漢文学			2	1	講義	半期		★		
書道A			1	3	実習	半期		★		
書道B			1	3	実習	半期	(次頁へ続く)	(次頁へ続く)	★	

人文学部人文学科（歴史・サブカルチャーコース）専門科目

区分	授 業 科 目 名	単位数			年次	形態	期間	履修条件	卒業要件単位	備考
		必修	選択必修	選択						
専 門 関 連 科 目	国語学演習A			2	3	演習	半期			★
	国語学演習B			2	3	演習	半期			★
	文学と芸能			2	1	講義	半期			★
	日本文学と仏教			2	2	講義	半期			★
	文化資料論A（日本文学）			2	3	講義	半期			★
	文化資料論B（日本文学）			2	3	講義	半期			★
	日本文学研究法			2	3	講義	半期			★
	日本文化特殊講義（日本文学）			2	3	講義	半期			★
	真宗入門			2	1	講義	半期			★
	宗教学概論B			2	1	講義	半期			★
	仏教学概論B			2	1	講義	半期			★
	哲学概論			2	1	講義	半期			★
	仏教と生活			2	2	演習	半期			★
	パーリ語入門			2	2	講義	半期			★
	サンスクリット語入門			2	2	講義	半期			★
	宗教儀礼概論			2	1	講義	半期			★
	宗教社会学			2	2	講義	半期			★
	仏教史			2	1	講義	半期			★
	真宗史			2	2	講義	半期			★
	日本仏教史A			2	2	講義	半期			★
	日本仏教史B			2	2	講義	半期			★
	仏教思想論			2	3	講義	半期			★
	宗教哲学			2	3	講義	半期			★
	宗教心理学			2	1	講義	半期			★
	仏教と社会福祉			2	3	講義	半期			★
	身体論			2	2	講義	半期			★
	真宗学概論			2	3	講義	半期			★
	真宗聖典学			2	2	講義	半期			★
	宗門法規			2	2	講義	半期			★
	布教法			2	2	講義	半期			★
	勤式作法			2	2	演習	半期			★
	宗教社会活動論			2	3	講義	半期			★
	ビハール演習			2	3	演習	半期			★
	真宗教学史・教団史			2	3	講義	半期			★
	真宗儀礼演習			2	3	演習	半期			★
	真宗伝道演習			2	3	演習	半期			★
	寺院運営論			2	3	講義	半期			★
	仏教文化講読1			2	2	演習	半期			★
	仏教文化講読2			2	3	演習	半期			★
	仏教文化演習			2	3	演習	半期			★
	アジアの仏教と社会			2	3	講義	半期			★
	公認心理師の職責			2	2	講義	半期			★
	知覚・認知心理学			2	1	講義	半期			★
	学習・言語心理学			2	1	講義	半期			★
	心理学実験			2	2	実験	半期			★
	心理学基礎実習			2	3	実習	半期			★
	心理的アセスメント			2	3	講義	半期			★
	心理演習			2	3	演習	半期			
	心理実習			2	4	実習	集中			
	人間関係論			2	2	講義	半期			★
	心理学研究法			2	2	講義	半期			★
	健康・医療心理学			2	2	講義	半期			★
	福祉心理学			2	2	講義	半期			★
	心理学統計法			2	2	講義	半期			★
	感情・人格心理学			2	1	講義	半期			★
	発達心理学			2	1	講義	半期			★
	障害者・障害児心理学			2	2	講義	半期			★
	教育・学校心理学			2	1	講義	半期			★
	臨床心理学概論			2	2	講義	半期			★
	心理学的支援法			2	3	講義	半期			★
	人体の構造と機能及び疾病			2	3	講義	半期			★
精神疾患とその治療			2	3	講義	半期			★	
神経・生理心理学			2	3	講義	半期			★	
司法・犯罪心理学			2	2	講義	半期			★	
関係行政論			2	3	講義	半期			★	
グループダイナミックス			2	2	講義	半期			★	
産業・組織心理学			2	2	講義	半期			★	
多文化社会論入門			2	1	講義	半期			★	
国際関係入門			2	1	講義	半期			★	
英語文学概論			2	1	講義	半期			★	
英語圏の社会と文化A			2	2	講義	半期			★	
フィールドワーク論			2	2	講義	半期			★	
スピーチとプレゼンテーション			2	1	演習	半期			★	
ビジネス英語			2	3	演習	半期			★	
コミュニケーション実践			2	3	演習	半期	(次頁へ続く)	(次頁へ続く)	★	

人文学部人文学科（歴史・サブカルチャーコース）専門科目

区分	授 業 科 目 名	単位数			年次	形態	期間	履修条件	卒業要件単位	備考
		必修	選択必修	選択						
専 門 関 連 科 目	翻訳入門			2	2	演習	半期			★
	翻訳演習			2	2	演習	半期			★
	通訳入門			2	3	演習	半期			★
	通訳演習			2	3	演習	半期			★
	英語文学講読			2	2	演習	半期			★
	英語圏の社会と文化B			2	2	講義	半期			★
	社会調査入門			2	1	講義	半期			★
	現代社会論			2	2	講義	半期			★
	国際金融論			2	2	講義	半期			★
	国際政治論			2	2	講義	半期			★
	社会統計学			2	2	講義	半期			★
	社会調査法			2	2	講義	半期			★
	企業管理論			2	3	講義	半期			★
	貿易論			2	3	講義	半期			★
	企業経営論			2	2	講義	半期			★
社会調査演習			4	3	演習	通年		80単位以上	★	

備考欄の、★印は全学への開放科目を示す。

人文学部人文学科（仏教文化コース）専門科目

区分	授業科目名	単位数			年次	形態	期間	履修条件	卒業要件単位	備考
		必修	選択必修	選択						
ゼミナール科目	基礎演習A	2			1	演習	半期	16単位以上		
	基礎演習B	2			1	演習	半期			
	専門基礎演習A	2			2	演習	半期			
	専門基礎演習B	2			2	演習	半期			
	専門応用演習A	2			3	演習	半期			
	専門応用演習B	2			3	演習	半期			
	専門研究演習	2			4	演習	半期			
	卒業研究	2			4	演習	半期			
入門科目	人文学概論	2			1	講義	半期	8単位以上		
	日本文化概論			2	1	講義	半期			
	日本史入門			2	1	講義	半期			
	人間の心と行動			2	1	講義	半期			
	宗教学概論A			2	1	講義	半期			★
	仏教学概論A			2	1	講義	半期			★
	サブカルチャー入門			2	1	講義	半期			
	英語圏文化入門			2	1	講義	半期			
キャリア支援科目	社会学概論			2	1	講義	半期	8単位以上		
	主体的学習法	2			1	講義	半期			
	プレゼンテーション演習			2	1	演習	半期			
	グループワーキング演習	2			2	演習	半期			
	社会人基礎力形成演習	2			2	演習	半期			
	社会人基礎力実践			2	3	演習	半期			
専門関連科目	データ分析			2	3	演習	半期	30単位以上		
	真宗入門		2		1	講義	半期		★	
	宗教学概論B		2		1	講義	半期		★	
	仏教学概論B		2		1	講義	半期		★	
	哲学概論		2		1	講義	半期		★	
	仏教と生活		2		2	演習	半期		★	
	バリ語入門		2		2	講義	半期		★	
	サンスクリット語入門		2		2	講義	半期		★	
	宗教儀礼概論		2		1	講義	半期		★	
	宗教社会学		2		2	講義	半期		★	
	宗教史		2		2	講義	半期		★	
	仏教史		2		1	講義	半期		★	
	真宗史		2		2	講義	半期		★	
	日本仏教史A		2		2	講義	半期		★	
	日本仏教史B		2		2	講義	半期		★	
	仏教思想論		2		3	講義	半期		★	
	宗教哲学		2		3	講義	半期		★	
	比較宗教学		2		2	講義	半期		★	
	宗教心理学		2		1	講義	半期		★	
	仏教と社会福祉		2		3	講義	半期		★	
	身体論		2		2	講義	半期		★	
	真宗学概論		2		3	講義	半期		★	
	真宗聖典学		2		2	講義	半期		★	
	宗門法規		2		2	講義	半期		★	
	布教法		2		2	講義	半期		★	
	勤式作法		2		2	演習	半期		★	
	宗教社会活動論		2		3	講義	半期		★	
	ビハーラ演習		2		3	演習	半期		★	
	真宗教学史・教団史		2		3	講義	半期		★	
	真宗儀礼演習		2		3	演習	半期		★	
	真宗伝道演習		2		3	演習	半期		★	
	寺院運営論		2		3	講義	半期		★	
	仏教文化講読1		2		2	演習	半期		★	
	仏教文化講読2		2		3	演習	半期		★	
	仏教文化演習		2		3	演習	半期		★	
	アジアの仏教と社会		2		3	講義	半期		★	
	日本文学と仏教		2		2	講義	半期		★	
	大阪文化特殊講義		2		2	講義	半期		★	
	日本文学入門1			2	1	講義	半期		★	
	日本文学入門2			2	1	講義	半期		★	
日本古典文学史			2	2	講義	半期	★			
日本近代文学史			2	2	講義	半期	★			
国語学概論			2	1	講義	半期	★			
国語史			2	2	講義	半期	★			
言語学概論			2	1	講義	半期	★			
日本文学概論			2	1	講義	半期	★			
日本文学講読A			2	2	演習	半期	★			
日本文学講読B			2	2	演習	半期	★			
日本文学演習A			2	3	演習	半期	★			
日本文学演習B			2	3	演習	半期	★			
漢文学講読A			2	1	演習	半期	★			

(次頁へ続く)

(次頁へ続く)

人文学部人文学科（仏教文化コース）専門科目

区分	授 業 科 目 名	単位数			年次	形態	期間	履修条件	卒業要件単位	備考
		必修	選択必修	選択						
専 門 関 連 科 目	漢文学講読B			2	1	演習	半期			★
	日本美術史			2	3	講義	半期			★
	国語表現法			2	2	講義	半期			★
	日本語プレゼンテーション			2	2	演習	半期			★
	日本語教授法			2	3	講義	半期			★
	漢文学			2	1	講義	半期			★
	漢文学史A			2	2	講義	半期			★
	漢文学史B			2	2	講義	半期			★
	書道A			1	3	実習	半期			★
	書道B			1	3	実習	半期			★
	国語学演習A			2	3	演習	半期			★
	国語学演習B			2	3	演習	半期			★
	文学と芸能			2	1	講義	半期			★
	映像と文学			2	3	講義	半期			★
	浪速の文学			2	3	講義	半期			★
	文化資料論A（日本文学）			2	3	講義	半期			★
	文化資料論B（日本文学）			2	3	講義	半期			★
	日本文学研究法			2	3	講義	半期			★
	日本文化特殊講義（日本文学）			2	3	講義	半期			★
	日本文化史A			2	2	講義	半期			★
	日本文化史B			2	2	講義	半期			★
	日本思想史			2	3	講義	半期			★
	歴史と資料			2	3	講義	半期			★
	歴史文化特殊講義			2	3	講義	半期			★
	サブカルチャー概論			2	1	講義	半期			★
	大阪学			2	2	講義	半期			★
	上方落語論			2	3	講義	半期			★
	生活文化論			2	2	講義	半期			★
	日本のアニメ文化			2	2	講義	半期			★
	日本漫画史			2	2	講義	半期			★
	サブカルチャー資料論			2	3	講義	半期			★
	日本文化特殊講義（サブカルチャー）			2	3	講義	半期			★
	公認心理師の職責			2	2	講義	半期			★
	知覚・認知心理学			2	1	講義	半期			★
	学習・言語心理学			2	1	講義	半期			★
	心理学実験			2	2	実験	半期			★
	心理学基礎実習			2	3	実習	半期			★
	心理的アセスメント			2	3	講義	半期			★
	心理演習			2	3	演習	半期			
	心理実習			2	4	実習	集中			
	社会・集団・家族心理学			2	1	講義	半期			★
	人間関係論			2	2	講義	半期			★
	心理学研究法			2	2	講義	半期			★
	健康・医療心理学			2	2	講義	半期			★
	福祉心理学			2	2	講義	半期			★
	心理学統計法			2	2	講義	半期			★
	感情・人格心理学			2	1	講義	半期			★
	発達心理学			2	1	講義	半期			★
	障害者・障害児心理学			2	2	講義	半期			★
	教育・学校心理学			2	1	講義	半期			★
	臨床心理学概論			2	2	講義	半期			★
	心理学的支援法			2	3	講義	半期			★
	人体の構造と機能及び疾病			2	3	講義	半期			★
	精神疾患とその治療			2	3	講義	半期			★
	神経・生理心理学			2	3	講義	半期			★
	司法・犯罪心理学			2	2	講義	半期			★
	関係行政論			2	3	講義	半期			★
	グループダイナミックス			2	2	講義	半期			★
	産業・組織心理学			2	2	講義	半期			★
	消費者行動論			2	3	講義	半期			★
多文化社会論入門			2	1	講義	半期			★	
ことばと文化			2	1	講義	半期			★	
国際関係入門			2	1	講義	半期			★	
異文化間コミュニケーション			2	2	講義	半期			★	
英語文学概論			2	1	講義	半期			★	
英語圏の社会と文化A			2	2	講義	半期			★	
フィールドワーク論			2	2	講義	半期			★	
スピーチとプレゼンテーション			2	1	演習	半期			★	
ビジネス英語			2	3	演習	半期			★	
コミュニケーション実践			2	3	演習	半期			★	
翻訳入門			2	2	演習	半期			★	
翻訳演習			2	2	演習	半期			★	
通訳入門			2	3	演習	半期			★	
通訳演習			2	3	演習	半期			★	
比較文化論			2	2	講義	半期	(次頁へ続く)	(次頁へ続く)	★	

人文学部人文学科（仏教文化コース）専門科目

区分	授 業 科 目 名	単位数			年次	形態	期間	履修条件	卒業要件単位	備考
		必修	選択必修	選択						
専 門 関 連 科 目	情報社会論			2	3	講義	半期		80単位以上	★
	英語文学講読			2	2	演習	半期			★
	英語圏の社会と文化B			2	2	講義	半期			★
	マーケティング論			2	3	講義	半期			★
	観光学			2	2	講義	半期			★
	社会調査入門			2	1	講義	半期			★
	現代社会論			2	2	講義	半期			★
	マス・メディア論			2	1	講義	半期			★
	国際金融論			2	2	講義	半期			★
	国際政治論			2	2	講義	半期			★
	社会統計学			2	2	講義	半期			★
	社会調査法			2	2	講義	半期			★
	企業管理論			2	3	講義	半期			★
	貿易論			2	3	講義	半期			★
	企業経営論			2	2	講義	半期			★
社会調査演習			4	3	演習	通年	★			

備考欄の、★印は全学への開放科目を示す。

人文学部人文学科（心理コース）専門科目

区分	授 業 科 目 名	単位数			年次	形態	期間	履修条件	卒業要件単位	備考
		必修	選択必修	選択						
ゼミナール科目	基礎演習 A	2			1	演習	半期	16単位以上		
	基礎演習 B	2			1	演習	半期			
	専門基礎演習 A	2			2	演習	半期			
	専門基礎演習 B	2			2	演習	半期			
	専門応用演習 A	2			3	演習	半期			
	専門応用演習 B	2			3	演習	半期			
	専門研究演習	2			4	演習	半期			
入門科目	卒業研究	2			4	演習	半期			
	人文学概論	2			1	講義	半期	8単位以上		
	日本文化概論			2	1	講義	半期			
	日本史入門			2	1	講義	半期			
	人間の心と行動			2	1	講義	半期			
	宗教学概論 A			2	1	講義	半期			★
	仏教学概論 A			2	1	講義	半期			★
サブカルチャー入門			2	1	講義	半期				
キャリア支援科目	英語圏文化入門			2	1	講義	半期			
	社会学概論			2	1	講義	半期			
	主体的学習法	2			1	講義	半期	8単位以上		
	プレゼンテーション演習			2	1	演習	半期			
	グループワーキング演習	2			2	演習	半期			
	社会人基礎力形成演習	2			2	演習	半期			
	社会人基礎力実践			2	3	演習	半期			
データ分析			2	3	演習	半期				
宗教心理学		2		1	講義	半期			★	
専門関連科目	身体論		2		2	講義	半期		★	
	公認心理師の職責		2		2	講義	半期		★	
	知覚・認知心理学		2		1	講義	半期		★	
	学習・言語心理学		2		1	講義	半期		★	
	心理学実験		2		2	実験	半期		★	
	心理学基礎実習		2		3	実習	半期		★	
	心理的アセスメント		2		3	講義	半期		★	
	心理演習		2		3	演習	半期			
	心理実習		2		4	実習	集中			
	社会・集団・家族心理学		2		1	講義	半期		★	
	人間関係論		2		2	講義	半期		★	
	心理学研究法		2		2	講義	半期		★	
	健康・医療心理学		2		2	講義	半期		★	
	福祉心理学		2		2	講義	半期		★	
	心理学統計法		2		2	講義	半期		★	
	感情・人格心理学		2		1	講義	半期		★	
	発達心理学		2		1	講義	半期		★	
	障害者・障害児心理学		2		2	講義	半期		★	
	教育・学校心理学		2		1	講義	半期		★	
	臨床心理学概論		2		2	講義	半期		★	
	心理学的支援法		2		3	講義	半期		★	
	人体の構造と機能及び疾病		2		3	講義	半期		★	
	精神疾患とその治療		2		3	講義	半期		★	
	神経・生理心理学		2		3	講義	半期		★	
	司法・犯罪心理学		2		2	講義	半期		★	
	関係行政論		2		3	講義	半期		★	
	グループダイナミックス		2		2	講義	半期		★	
	産業・組織心理学		2		2	講義	半期		★	
	消費者行動論		2		3	講義	半期		★	
	異文化間コミュニケーション		2		2	講義	半期		★	
	フィールドワーク論		2		2	講義	半期		★	
	マーケティング論		2		3	講義	半期		★	
	観光学		2		2	講義	半期		★	
マス・メディア論		2		1	講義	半期	30単位以上	★		
日本文学入門 1			2	1	講義	半期		★		
日本文学入門 2			2	1	講義	半期		★		
日本古典文学史			2	2	講義	半期		★		
日本近代文学史			2	2	講義	半期		★		
国語学概論			2	1	講義	半期		★		
国語史			2	2	講義	半期		★		
言語学概論			2	1	講義	半期		★		
日本文学概論			2	1	講義	半期		★		
日本文学講読 A			2	2	演習	半期		★		
日本文学講読 B			2	2	演習	半期		★		
日本文学演習 A			2	3	演習	半期		★		
日本文学演習 B			2	3	演習	半期		★		
漢文学講読 A			2	1	演習	半期		★		
漢文学講読 B			2	1	演習	半期		★		
日本美術史			2	3	講義	半期	(次頁へ続く)	(次頁へ続く)	★	

人文学部人文学科（心理コース）専門科目

区分	授 業 科 目 名	単位数			年次	形態	期間	履修条件	卒業要件単位	備考
		必修	選択必修	選択						
専 門 開 連 科 目	国語表現法			2	2	講義	半期			★
	日本語プレゼンテーション			2	2	演習	半期			★
	日本語教授法			2	3	講義	半期			★
	漢文学			2	1	講義	半期			★
	漢文学史A			2	2	講義	半期			★
	漢文学史B			2	2	講義	半期			★
	書道A			1	3	実習	半期			★
	書道B			1	3	実習	半期			★
	国語学演習A			2	3	演習	半期			★
	国語学演習B			2	3	演習	半期			★
	文学と芸能			2	1	講義	半期			★
	日本文学と仏教			2	2	講義	半期			★
	映像と文学			2	3	講義	半期			★
	浪速の文学			2	3	講義	半期			★
	文化資料論A（日本文学）			2	3	講義	半期			★
	文化資料論B（日本文学）			2	3	講義	半期			★
	日本文学研究法			2	3	講義	半期			★
	日本文化特殊講義（日本文学）			2	3	講義	半期			★
	日本文化史A			2	2	講義	半期			★
	日本文化史B			2	2	講義	半期			★
	日本思想史			2	3	講義	半期			★
	歴史と資料			2	3	講義	半期			★
	歴史文化特殊講義			2	3	講義	半期			★
	サブカルチャー概論			2	1	講義	半期			★
	大阪学			2	2	講義	半期			★
	上方落語論			2	3	講義	半期			★
	大阪文化特殊講義			2	2	講義	半期			★
	生活文化論			2	2	講義	半期			★
	日本のアニメ文化			2	2	講義	半期			★
	日本漫画史			2	2	講義	半期			★
	サブカルチャー資料論			2	3	講義	半期			★
	日本文化特殊講義（サブカルチャー）			2	3	講義	半期			★
	真宗入門			2	1	講義	半期			★
	宗教学概論B			2	1	講義	半期			★
	仏教学概論B			2	1	講義	半期			★
	哲学概論			2	1	講義	半期			★
	仏教と生活			2	2	演習	半期			★
	パーリ語入門			2	2	講義	半期			★
	サンスクリット語入門			2	2	講義	半期			★
	宗教儀礼概論			2	1	講義	半期			★
	宗教社会学			2	2	講義	半期			★
	宗教史			2	2	講義	半期			★
	仏教史			2	1	講義	半期			★
	真宗史			2	2	講義	半期			★
	日本仏教史A			2	2	講義	半期			★
	日本仏教史B			2	2	講義	半期			★
	仏教思想論			2	3	講義	半期			★
	宗教哲学			2	3	講義	半期			★
	比較宗教学			2	2	講義	半期			★
	仏教と社会福祉			2	3	講義	半期			★
	真宗学概論			2	3	講義	半期			★
	真宗聖典学			2	2	講義	半期			★
	宗門法規			2	2	講義	半期			★
	布教法			2	2	講義	半期			★
	勤式作法			2	2	演習	半期			★
	宗教社会活動論			2	3	講義	半期			★
	ビハーラ演習			2	3	演習	半期			★
	真宗教学史・教団史			2	3	講義	半期			★
	真宗儀礼演習			2	3	演習	半期			★
	真宗伝道演習			2	3	演習	半期			★
	寺院運営論			2	3	講義	半期			★
	仏教文化講読1			2	2	演習	半期			★
	仏教文化講読2			2	3	演習	半期			★
	仏教文化演習			2	3	演習	半期			★
	アジアの仏教と社会			2	3	講義	半期			★
	多文化社会論入門			2	1	講義	半期			★
	ことばと文化			2	1	講義	半期			★
国際関係入門			2	1	講義	半期			★	
英語文学概論			2	1	講義	半期			★	
英語圏の社会と文化A			2	2	講義	半期			★	
スピーチとプレゼンテーション			2	1	演習	半期			★	
ビジネス英語			2	3	演習	半期			★	
コミュニケーション実践			2	3	演習	半期			★	
翻訳入門			2	2	演習	半期			★	
翻訳演習			2	2	演習	半期	(次頁へ続く)	(次頁へ続く)	★	

人文学部人文学科（心理コース）専門科目

区分	授 業 科 目 名	単位数			年次	形態	期間	履修条件	卒業要件単位	備考
		必修	選択必修	選択						
専 門 関 連 科 目	通訳入門			2	3	演習	半期			★
	通訳演習			2	3	演習	半期			★
	比較文化論			2	2	講義	半期			★
	情報社会論			2	3	講義	半期			★
	英語文学講読			2	2	演習	半期			★
	英語圏の社会と文化B			2	2	講義	半期			★
	社会調査入門			2	1	講義	半期			★
	現代社会論			2	2	講義	半期			★
	国際金融論			2	2	講義	半期			★
	国際政治論			2	2	講義	半期			★
	社会統計学			2	2	講義	半期			★
	社会調査法			2	2	講義	半期			★
	企業管理論			2	3	講義	半期			★
	貿易論			2	3	講義	半期			★
	企業経営論			2	2	講義	半期			★
社会調査演習			4	3	演習	通年		80単位以上	★	

備考欄の、★印は全学への開放科目を示す。

人文学部人文学科（国際コミュニケーションコース）専門科目

区分	授 業 科 目 名	単位数			年次	形態	期間	履修条件	卒業要件単位	備考
		必修	選択必修	選択						
ゼミナール科目	基礎演習A	2			1	演習	半期	16単位以上		
	基礎演習B	2			1	演習	半期			
	専門基礎演習A	2			2	演習	半期			
	専門基礎演習B	2			2	演習	半期			
	専門応用演習A	2			3	演習	半期			
	専門応用演習B	2			3	演習	半期			
	専門研究演習	2			4	演習	半期			
	卒業研究	2			4	演習	半期			
入門科目	人文学概論	2			1	講義	半期	8単位以上		
	日本文化概論			2	1	講義	半期			
	日本史入門			2	1	講義	半期			
	人間の心と行動			2	1	講義	半期			
	宗教学概論A			2	1	講義	半期			★
	仏教学概論A			2	1	講義	半期			★
	サブカルチャー入門			2	1	講義	半期			
	英語圏文化入門			2	1	講義	半期			
キャリア支援科目	社会学概論			2	1	講義	半期	8単位以上		
	主体的学習法	2			1	講義	半期			
	プレゼンテーション演習			2	1	演習	半期			
	グループワーキング演習	2			2	演習	半期			
	社会人基礎力形成演習	2			2	演習	半期			
	社会人基礎力実践			2	3	演習	半期			
専門関連科目	データ分析			2	3	演習	半期	30単位以上		
	多文化社会論入門	2			1	講義	半期		★	
	ことばと文化	2			1	講義	半期		★	
	国際関係入門	2			1	講義	半期		★	
	異文化間コミュニケーション	2			2	講義	半期		★	
	英語文学概論	2			1	講義	半期		★	
	英語圏の社会と文化A	2			2	講義	半期		★	
	フィールドワーク論	2			2	講義	半期		★	
	スピーチとプレゼンテーション	2			1	演習	半期		★	
	ビジネス英語	2			3	演習	半期		★	
	コミュニケーション実践	2			3	演習	半期		★	
	翻訳入門	2			2	演習	半期		★	
	翻訳演習	2			2	演習	半期		★	
	通訳入門	2			3	演習	半期		★	
	通訳演習	2			3	演習	半期		★	
	比較文化論	2			2	講義	半期		★	
	情報社会論	2			3	講義	半期		★	
	英語文学講読	2			2	演習	半期		★	
	英語圏の社会と文化B	2			2	講義	半期		★	
	日本文学概論	2			1	講義	半期		★	
	日本語プレゼンテーション	2			2	演習	半期		★	
	日本語教授法	2			3	講義	半期		★	
	日本文化史A	2			2	講義	半期		★	
	日本文化史B	2			2	講義	半期		★	
	日本のアニメ文化	2			2	講義	半期		★	
	日本漫画史	2			2	講義	半期		★	
	サンスクリット語入門	2			2	講義	半期		★	
	比較宗教学	2			2	講義	半期		★	
	アジアの仏教と社会	2			3	講義	半期		★	
	人間関係論	2			2	講義	半期		★	
	グループダイナミックス	2			2	講義	半期		★	
	観光学	2			2	講義	半期		★	
	社会調査入門	2			1	講義	半期		★	
	国際金融論	2			2	講義	半期		★	
	国際政治論	2			2	講義	半期		★	
	貿易論	2			3	講義	半期		★	
	日本文学入門1			2	1	講義	半期		★	
	日本文学入門2			2	1	講義	半期		★	
	日本古典文学史			2	2	講義	半期		★	
	日本近代文学史			2	2	講義	半期		★	
	国語学概論			2	1	講義	半期		★	
	国語史			2	2	講義	半期		★	
言語学概論			2	1	講義	半期	★			
日本文学講読A			2	2	演習	半期	★			
日本文学講読B			2	2	演習	半期	★			
日本文学演習A			2	3	演習	半期	★			
日本文学演習B			2	3	演習	半期	★			
漢文学講読A			2	1	演習	半期	★			
漢文学講読B			2	1	演習	半期	★			
日本美術史			2	3	講義	半期	★			
国語表現法			2	2	講義	半期	★			

(次頁へ続く)

(次頁へ続く)

人文学部人文学科（国際コミュニケーションコース）専門科目

区分	授 業 科 目 名	単位数			年次	形態	期間	履修条件	卒業要件単位	備考
		必修	選択必修	選択						
専 門 関 連 科 目	漢文学			2	1	講義	半期			★
	漢文学史A			2	2	講義	半期			★
	漢文学史B			2	2	講義	半期			★
	書道A			1	3	実習	半期			★
	書道B			1	3	実習	半期			★
	国語学演習A			2	3	演習	半期			★
	国語学演習B			2	3	演習	半期			★
	文学と芸能			2	1	講義	半期			★
	日本文学と仏教			2	2	講義	半期			★
	映像と文学			2	3	講義	半期			★
	浪速の文学			2	3	講義	半期			★
	文化資料論A（日本文学）			2	3	講義	半期			★
	文化資料論B（日本文学）			2	3	講義	半期			★
	日本文学研究法			2	3	講義	半期			★
	日本文化特殊講義（日本文学）			2	3	講義	半期			★
	日本思想史			2	3	講義	半期			★
	歴史と資料			2	3	講義	半期			★
	歴史文化特殊講義			2	3	講義	半期			★
	サブカルチャー概論			2	1	講義	半期			★
	大阪学			2	2	講義	半期			★
	上方落語論			2	3	講義	半期			★
	大阪文化特殊講義			2	2	講義	半期			★
	生活文化論			2	2	講義	半期			★
	サブカルチャー資料論			2	3	講義	半期			★
	日本文化特殊講義（サブカルチャー）			2	3	講義	半期			★
	真宗入門			2	1	講義	半期			★
	宗教学概論B			2	1	講義	半期			★
	仏教学概論B			2	1	講義	半期			★
	哲学概論			2	1	講義	半期			★
	仏教と生活			2	2	演習	半期			★
	パーリ語入門			2	2	講義	半期			★
	宗教儀礼概論			2	1	講義	半期			★
	宗教社会学			2	2	講義	半期			★
	宗教史			2	2	講義	半期			★
	仏教史			2	1	講義	半期			★
	真宗史			2	2	講義	半期			★
	日本仏教史A			2	2	講義	半期			★
	日本仏教史B			2	2	講義	半期			★
	仏教思想論			2	3	講義	半期			★
	宗教哲学			2	3	講義	半期			★
	宗教心理学			2	1	講義	半期			★
	仏教と社会福祉			2	3	講義	半期			★
	身体論			2	2	講義	半期			★
	真宗学概論			2	3	講義	半期			★
	真宗聖典学			2	2	講義	半期			★
	宗門法規			2	2	講義	半期			★
	布教法			2	2	講義	半期			★
	勤式作法			2	2	演習	半期			★
	宗教社会活動論			2	3	講義	半期			★
	ビハーラ演習			2	3	演習	半期			★
	真宗教学史・教団史			2	3	講義	半期			★
	真宗儀礼演習			2	3	演習	半期			★
	真宗伝道演習			2	3	演習	半期			★
	寺院運営論			2	3	講義	半期			★
	仏教文化講読1			2	2	演習	半期			★
	仏教文化講読2			2	3	演習	半期			★
	仏教文化演習			2	3	演習	半期			★
	公認心理師の職責			2	2	講義	半期			★
	知覚・認知心理学			2	1	講義	半期			★
	学習・言語心理学			2	1	講義	半期			★
心理学実験			2	2	実験	半期			★	
心理学基礎実習			2	3	実習	半期			★	
心理的アセスメント			2	3	講義	半期			★	
心理演習			2	3	演習	半期			★	
心理実習			2	4	実習	集中				
社会・集団・家族心理学			2	1	講義	半期			★	
心理学研究法			2	2	講義	半期			★	
健康・医療心理学			2	2	講義	半期			★	
福祉心理学			2	2	講義	半期			★	
心理学統計法			2	2	講義	半期			★	
感情・人格心理学			2	1	講義	半期			★	
発達心理学			2	1	講義	半期			★	
障害者・障害児心理学			2	2	講義	半期			★	
教育・学校心理学			2	1	講義	半期			★	
臨床心理学概論			2	2	講義	半期	(次頁へ続く)	(次頁へ続く)	★	

人文学部人文学科（国際コミュニケーションコース）専門科目

区分	授 業 科 目 名	単位数			年次	形態	期間	履修条件	卒業要件単位	備考
		必修	選択必修	選択						
専 門 関 連 科 目	心理学的支援法			2	3	講義	半期			★
	人体の構造と機能及び疾病			2	3	講義	半期			★
	精神疾患とその治療			2	3	講義	半期			★
	神経・生理心理学			2	3	講義	半期			★
	司法・犯罪心理学			2	2	講義	半期			★
	関係行政論			2	3	講義	半期			★
	産業・組織心理学			2	2	講義	半期			★
	消費者行動論			2	3	講義	半期			★
	マーケティング論			2	3	講義	半期			★
	現代社会論			2	2	講義	半期			★
	マス・メディア論			2	1	講義	半期			★
	社会統計学			2	2	講義	半期			★
	社会調査法			2	2	講義	半期			★
	企業管理論			2	3	講義	半期			★
	企業経営論			2	2	講義	半期			★
社会調査演習			4	3	演習	通年		80単位以上	★	

備考欄の、★印は全学への開放科目を示す。

人文学部人文学科（ビジネス・社会コース）専門科目

区分	授 業 科 目 名	単位数			年次	形態	期間	履修条件	卒業要件単位	備考
		必修	選択必修	選択						
ゼミナール科目	基礎演習A	2			1	演習	半期	16単位以上		
	基礎演習B	2			1	演習	半期			
	専門基礎演習A	2			2	演習	半期			
	専門基礎演習B	2			2	演習	半期			
	専門応用演習A	2			3	演習	半期			
	専門応用演習B	2			3	演習	半期			
	専門研究演習	2			4	演習	半期			
	卒業研究	2			4	演習	半期			
入門科目	人文学概論	2			1	講義	半期	8単位以上		
	日本文化概論			2	1	講義	半期			
	日本史入門			2	1	講義	半期			
	人間の心と行動			2	1	講義	半期			
	宗教学概論A			2	1	講義	半期			★
	仏教学概論A			2	1	講義	半期			★
	サブカルチャー入門			2	1	講義	半期			
	英語圏文化入門			2	1	講義	半期			
キャリア支援科目	社会学概論			2	1	講義	半期	8単位以上		
	主体的学習法	2			1	講義	半期			
	プレゼンテーション演習			2	1	演習	半期			
	グループワーキング演習	2			2	演習	半期			
	社会人基礎力形成演習	2			2	演習	半期			
	社会人基礎力実践			2	3	演習	半期			
専門関連科目	データ分析			2	3	演習	半期	30単位以上		
	産業・組織心理学	2			2	講義	半期		★	
	消費者行動論	2			3	講義	半期		★	
	多文化社会論入門	2			1	講義	半期		★	
	国際関係入門	2			1	講義	半期		★	
	異文化間コミュニケーション	2			2	講義	半期		★	
	英語圏の社会と文化A	2			2	講義	半期		★	
	フィールドワーク論	2			2	講義	半期		★	
	ビジネス英語	2			3	演習	半期		★	
	翻訳入門	2			2	演習	半期		★	
	通訳入門	2			3	演習	半期		★	
	比較文化論	2			2	講義	半期		★	
	英語圏の社会と文化B	2			2	講義	半期		★	
	情報社会論	2			3	講義	半期		★	
	マーケティング論	2			3	講義	半期		★	
	観光学	2			2	講義	半期		★	
	社会調査入門	2			1	講義	半期		★	
	現代社会論	2			2	講義	半期		★	
	マス・メディア論	2			1	講義	半期		★	
	国際金融論	2			2	講義	半期		★	
	国際政治論	2			2	講義	半期		★	
	社会統計学	2			2	講義	半期		★	
	社会調査法	2			2	講義	半期		★	
	企業管理論	2			3	講義	半期		★	
	貿易論	2			3	講義	半期		★	
	企業経営論	2			2	講義	半期		★	
	社会調査演習	4			3	演習	通年		★	
	映像と文学	2			3	講義	半期		★	
	大阪学	2			2	講義	半期		★	
	生活文化論	2			2	講義	半期		★	
	日本のアニメ文化	2			2	講義	半期		★	
	日本漫画史	2			2	講義	半期		★	
	仏教と社会福祉	2			3	講義	半期		★	
	宗教社会活動論	2			3	講義	半期		★	
	アジアの仏教と社会	2			3	講義	半期		★	
	グループダイナミックス	2			2	講義	半期		★	
	日本文学入門1			2	1	講義	半期		★	
	日本文学入門2			2	1	講義	半期		★	
	日本古典文学史			2	2	講義	半期		★	
	日本近代文学史			2	2	講義	半期		★	
国語学概論			2	1	講義	半期	★			
国語史			2	2	講義	半期	★			
言語学概論			2	1	講義	半期	★			
日本文学概論			2	1	講義	半期	★			
日本文学講読A			2	2	演習	半期	★			
日本文学講読B			2	2	演習	半期	★			
日本文学演習A			2	3	演習	半期	★			
日本文学演習B			2	3	演習	半期	★			
漢文学講読A			2	1	演習	半期	★			
漢文学講読B			2	1	演習	半期	★			
日本美術史			2	3	講義	半期	★			

人文学部人文学科（ビジネス・社会コース）専門科目

区分	授 業 科 目 名	単位数			年次	形態	期間	履修条件	卒業要件単位	備考
		必修	選択必修	選択						
専 門 関 連 科 目	国語表現法			2	2	講義	半期			★
	日本語プレゼンテーション			2	2	演習	半期			★
	日本語教授法			2	3	講義	半期			★
	漢文学			2	1	講義	半期			★
	漢文学史A			2	2	講義	半期			★
	漢文学史B			2	2	講義	半期			★
	書道A			1	3	実習	半期			★
	書道B			1	3	実習	半期			★
	国語学演習A			2	3	演習	半期			★
	国語学演習B			2	3	演習	半期			★
	文学と芸能			2	1	講義	半期			★
	日本文学と仏教			2	2	講義	半期			★
	浪速の文学			2	3	講義	半期			★
	文化資料論A（日本文学）			2	3	講義	半期			★
	文化資料論B（日本文学）			2	3	講義	半期			★
	日本文学研究法			2	3	講義	半期			★
	日本文化特殊講義（日本文学）			2	3	講義	半期			★
	日本文化史A			2	2	講義	半期			★
	日本文化史B			2	2	講義	半期			★
	日本思想史			2	3	講義	半期			★
	歴史と資料			2	3	講義	半期			★
	歴史文化特殊講義			2	3	講義	半期			★
	サブカルチャー概論			2	1	講義	半期			★
	上方落語論			2	3	講義	半期			★
	大阪文化特殊講義			2	2	講義	半期			★
	サブカルチャー資料論			2	3	講義	半期			★
	日本文化特殊講義（サブカルチャー）			2	3	講義	半期			★
	真宗入門			2	1	講義	半期			★
	宗教学概論B			2	1	講義	半期			★
	仏教学概論B			2	1	講義	半期			★
	哲学概論			2	1	講義	半期			★
	仏教と生活			2	2	演習	半期			★
	パーリ語入門			2	2	講義	半期			★
	サンスクリット語入門			2	2	講義	半期			★
	宗教儀礼概論			2	1	講義	半期			★
	宗教社会学			2	2	講義	半期			★
	宗教史			2	2	講義	半期			★
	仏教史			2	1	講義	半期			★
	真宗史			2	2	講義	半期			★
	日本仏教史A			2	2	講義	半期			★
	日本仏教史B			2	2	講義	半期			★
	仏教思想論			2	3	講義	半期			★
	宗教哲学			2	3	講義	半期			★
	比較宗教学			2	2	講義	半期			★
	宗教心理学			2	1	講義	半期			★
	身体論			2	2	講義	半期			★
	真宗学概論			2	3	講義	半期			★
	真宗聖典学			2	2	講義	半期			★
	宗門法規			2	2	講義	半期			★
	布教法			2	2	講義	半期			★
	勤式作法			2	2	演習	半期			★
	ビハーラ演習			2	3	演習	半期			★
	真宗教学史・教団史			2	3	講義	半期			★
	真宗儀礼演習			2	3	演習	半期			★
	真宗伝道演習			2	3	演習	半期			★
	寺院運営論			2	3	講義	半期			★
仏教文化講読1			2	2	演習	半期			★	
仏教文化講読2			2	3	演習	半期			★	
仏教文化演習			2	3	演習	半期			★	
公認心理師の職責			2	2	講義	半期			★	
知覚・認知心理学			2	1	講義	半期			★	
学習・言語心理学			2	1	講義	半期			★	
心理学実験			2	2	実験	半期			★	
心理学基礎実習			2	3	実習	半期			★	
心理的アセスメント			2	3	講義	半期			★	
心理演習			2	3	演習	半期			★	
心理実習			2	4	実習	集中			★	
社会・集団・家族心理学			2	1	講義	半期			★	
人間関係論			2	2	講義	半期			★	
心理学研究法			2	2	講義	半期			★	
健康・医療心理学			2	2	講義	半期			★	
福祉心理学			2	2	講義	半期			★	
心理学統計法			2	2	講義	半期			★	
感情・人格心理学			2	1	講義	半期			★	
発達心理学			2	1	講義	半期	(次頁へ続く)	(次頁へ続く)	★	

人文学部人文学科（ビジネス・社会コース）専門科目

区分	授 業 科 目 名	単位数			年次	形態	期間	履修条件	卒業要件単位	備考
		必修	選択必修	選択						
専 門 関 連 科 目	障害者・障害児心理学			2	2	講義	半期			★
	教育・学校心理学			2	1	講義	半期			★
	臨床心理学概論			2	2	講義	半期			★
	心理学的支援法			2	3	講義	半期			★
	人体の構造と機能及び疾病			2	3	講義	半期			★
	精神疾患とその治療			2	3	講義	半期			★
	神経・生理心理学			2	3	講義	半期			★
	司法・犯罪心理学			2	2	講義	半期			★
	関係行政論			2	3	講義	半期			★
	ことばと文化			2	1	講義	半期			★
	英語文学概論			2	1	講義	半期			★
	スピーチとプレゼンテーション			2	1	演習	半期			★
	コミュニケーション実践			2	3	演習	半期			★
	翻訳演習			2	2	演習	半期			★
	通訳演習			2	3	演習	半期			★
英語文学講読			2	2	演習	半期		80単位以上	★	

備考欄の、★印は全学への開放科目を示す。

人間発達学部 子ども発達学科専門科目

区分	授 業 科 目 名	単位数		年次	形態	期間	履 修 条 件	卒業要件単位	備考
		必修	選択						
専 門 基 幹 科 目	ベーシックセミナー	2		1	演習	半期			
	保育生活技術演習		2	1	演習	半期			
	子どものためのピアノ奏法(入門)		2	1	演習	半期			
	子どものためのピアノ奏法(基礎)		2	1	演習	半期			
	子どものための歌と伴奏		2	2	演習	半期			
	子どもと造形表現		2	1	演習	半期			
	保育原理		2	1	講義	半期			
	児童家庭福祉		2	1	講義	半期			
	社会福祉		2	1	講義	半期			
	子ども家庭支援論		2	3	講義	半期			
	保育者論		2	1	講義	半期			
	社会的養護Ⅰ		2	3	講義	半期			
	社会的養護Ⅱ		1	3	演習	半期			
	保育の心理学		2	1	講義	半期			
	子ども家庭支援の心理学		2	3	講義	半期			
	子どもの保健		2	2	講義	半期			
	子どもの食と栄養		2	3	演習	半期			
	保育の計画と評価		2	2	講義	半期			
	乳児保育Ⅰ		2	1	講義	半期			
	乳児保育Ⅱ		1	2	演習	半期			
	子どもの健康と安全		2	2	演習	半期			
	障害児保育		2	2	演習	半期			
	子育て支援		1	2	演習	半期			
	子ども理解と相談援助		2	3	演習	半期			
	子どもと健康		1	1	演習	半期			
	子どもと人間関係		1	1	演習	半期			
	子どもと環境		1	1	演習	半期			
	子どもと言葉		1	1	演習	半期			
	子どもと表現		1	1	演習	半期			
	保育内容総合		2	2	演習	半期			
	保育内容健康		2	2	演習	半期			
	保育内容人間関係		2	3	演習	半期			
	保育内容環境		2	2	演習	半期			
	保育内容言葉		2	2	演習	半期			
	保育内容総合表現A		2	2	演習	半期			
	保育内容総合表現B		2	3	演習	半期			
	教育原理		2	1	講義	半期			
	教職論		2	1	講義	半期			
	学校の制度と経営(幼・小)		2	3	講義	半期			
	教育心理学(子ども)		2	2	演習	半期			
	特別支援教育(幼・小)		2	4	講義	半期			
	教育課程論		2	2	講義	半期			
	教育方法論		2	2	講義	半期			
	学校カウンセリング		2	4	演習	半期			
	国語(書写を含む。)		2	2	講義	半期			
	社会		2	2	講義	半期			
	算数		2	2	講義	半期			
	理科		2	2	講義	半期			
	生活		2	1	講義	半期			
	音楽		2	2	講義	半期			
図画工作		2	2	演習	半期				
家庭		2	3	講義	半期				
体育		2	2	演習	半期				
小学校英語		2	3	講義	半期				
国語科指導法		2	3	演習	半期				
社会科指導法		2	3	演習	半期				
算数科指導法		2	3	演習	半期				
理科指導法		2	3	演習	半期				
生活科指導法		2	3	演習	半期				
音楽科指導法		2	4	演習	半期				
図画工作指導法		2	3	演習	半期				
家庭科指導法		2	4	演習	半期				
体育科指導法		2	3	演習	半期				
外国語(英語)指導法		2	4	演習	半期				
道德教育の理論と実践		2	4	講義	半期				
特別活動及び総合的な学習の時間の指導法(小)		2	4	講義	半期				
生徒・進路指導の理論と方法		2	3	講義	半期				
I C T活用教育		2	4	演習	半期				
子ども生活文化論		2	3	講義	半期			★	
子ども生活文化演習		2	4	演習	半期			★	
子どもリズム		2	3	演習	半期				

(次頁へ続く)

区分	授業科目名	単位数		年次	形態	期間	履修条件	卒業要件単位	備考
		必修	選択						
専門基幹科目	子どもの食育		2	4	講義	半期			★
	子どものためのピアノ奏法（発展）		2	4	演習	半期			
	子どもと楽しむ音楽		2	3	演習	半期			
	造形実習		1	3	実習	半期			★
	子どもの遊びと文化		2	3	演習	半期			
	世代間交流演習		2	3	演習	半期			
	子ども学基礎演習		2	1	演習	半期			
	教職特別演習		2	3	演習	半期			
	保育実践演習		2	3	演習	半期			
	教職実践演習（幼・小）		2	4	演習	半期			
子ども学専門演習	2		4	演習	半期				
専門関連科目	保育・教育マネジメントA		1	1	実習	集中			
	保育・教育マネジメントB		1	2	実習	集中			
	保育・教育マネジメントC		1	3	実習	集中			
	保育・教育マネジメントD		1	4	実習	集中			
	保育所実習の指導		2	1	演習	集中			
	保育所実習		2	2	実習	集中			
	施設実習の指導		2	3	演習	集中			
	施設実習		2	3	実習	集中			
	保育実習Ⅱの指導		2	2	演習	集中			
	保育実習Ⅱ		2	2	実習	集中			
	保育実習Ⅲの指導		2	3	演習	集中			
	保育実習Ⅲ		2	3	実習	集中			
	教育実習の指導（事前事後指導）		1	3	実習	集中			
	教育実習（実地実習）		4	4	実習	集中			
	保育・教育実践学習		1	1	実習	集中			
	保育・教育ボランティア実習A		1	2	実習	集中			
保育・教育ボランティア実習B		1	3	実習	集中				
保育・教育インターンシップ		1	4	実習	集中		80単位以上		

備考欄の、★印は全学への開放科目を示す。

人間発達学部 発達栄養学科専門科目

区分	授 業 科 目 名	単位数		年次	形態	期間	履 修 条 件	卒業要件単位	備考
		必修	選択						
専門導入科目	ベーシックセミナー	2		1	演習	半期	4単位以上		
	食育総論	2		1	講義	半期			
	産官学食育実践演習		2	1	演習	集中			
専門基幹科目	健康管理論		2	1	講義	半期	50単位以上	(次頁へ続く)	
	公衆衛生学A		2	2	講義	半期			
	食品学A		2	1	講義	半期			
	公衆衛生学B		2	3	講義	半期			
	公衆衛生学実習		1	3	実習	半期			
	人体の構造(解剖学)		2	1	講義	半期			
	生理学A		2	1	講義	半期			
	生理学B		2	1	講義	半期			
	解剖生理学実験		1	1	実験	半期			
	運動生理学実習		1	2	実習	半期			
	疾病の成り立ち		2	2	講義	半期			
	微生物学		2	2	講義	半期			
	栄養生化学		2	2	講義	半期			
	生化学		2	1	講義	半期			
	生化学実験		1	1	実験	半期			
	食品学B		2	2	講義	半期			
	食品学実習		1	2	実習	半期			
	食品学実験		1	1	実験	半期			
	食品衛生学		2	2	講義	半期			
	食品衛生学実験		1	2	実験	半期			
	調理学		2	1	講義	半期			
	調理学実習A		1	1	実習	半期			
	調理学実習B		1	1	実習	半期			
	調理科学実験		1	2	実験	半期			
	基礎栄養学		2	2	講義	半期			
	基礎栄養学実験		1	2	実験	半期			
	発達栄養生化学		2	3	講義	半期			
	ライフステージ栄養学A		2	2	講義	半期			
	ライフステージ栄養学B		2	2	講義	半期			
	ライフステージ栄養学実習		1	2	実習	半期			
	栄養教育論A		2	2	講義	半期			
	栄養教育論B		2	3	講義	半期			
	栄養教育論実習A		1	2	実習	半期			
	栄養教育論実習B		1	3	実習	半期			
	栄養教育演習		2	3	演習	半期			
	臨床栄養学A		2	2	講義	半期			
	臨床栄養学B		2	3	講義	半期			
	臨床栄養アセスメント論		2	2	講義	半期			
	臨床栄養カウンセリング論		2	3	講義	半期			
	臨床栄養学実習A		1	3	実習	半期			
	臨床栄養学実習B		1	3	実習	半期			
公衆栄養学A		2	3	講義	半期				
公衆栄養学B		2	3	講義	半期				
公衆栄養学実習A		1	3	実習	半期				
公衆栄養学実習B		1	3	実習	半期				
給食経営管理論		2	2	講義	半期				
給食経営管理実務論		2	2	講義	半期				
給食経営管理実習		2	3	実習	半期				
管理栄養総合演習		2	3	演習	半期				
臨地実習A		1	3	実習	集中				
臨地実習B		1	3	実習	集中				
臨地実習C		1	3	実習	集中				
臨地実習D(給食の運営を含む)		1	3	実習	集中				

区分	授 業 科 目 名	単位数		年次	形態	期間	履 修 条 件	卒業要件単位	備考
		必修	選択						
専門 関連 科目	基礎化学		2	1	講義	半期	6単位以上	80単位以上	
	基礎統計学演習		2	1	演習	半期			
	学校栄養教育論A		2	3	講義	半期			
	学校栄養教育論B		2	3	講義	半期			
	栄養教育実習		2	4	実習	集中			
	スポーツ栄養演習		2	3	演習	半期			
	在宅栄養ケア演習		2	4	演習	半期			
	臨床薬理学		2	3	講義	半期			
	行動カウンセリング論		2	1	講義	半期			★
	行動カウンセリング演習		2	1	演習	集中			★
	食文化論		2	4	講義	半期			★
	生活文化研究		2	4	演習	半期			★
	茶懐石の作法と料理		2	4	演習	半期			★
	製菓実習		1	4	実習	半期			★
	食デザイン演出		2	1	演習	半期			
	商品開発入門		2	1	演習	半期			
	栄養疫学		2	4	演習	半期			
	衛生学		2	4	講義	半期			
	インターンシップ実習		1	4	実習	集中			
専門 研究 科目	管理栄養士演習A		2	3	演習	半期	4単位以上	80単位以上	
	管理栄養士演習B		2	4	演習	半期			
	管理栄養士演習C		2	4	演習	半期			
	管理栄養士演習D		2	4	演習	半期			
	卒業研究		4	4	演習	通年			

備考欄の、★印は全学への開放科目を示す。

教職課程科目

区分	授業科目名	単位数		年次	形態	期間	履修条件	卒業要件単位	備考
		必修	選択						
	教職入門		2	2	講義	半期			
	教育心理学		2	1	講義	半期			
	学校の制度と経営		2	2	講義	半期			
	特別支援教育		2	1	講義	半期			
	教育課程の意義と編成		2	3	講義	半期			
	教育の方法と技術		2	3	講義	半期			
	道德教育論		2	3	講義	半期			
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法		2	2	講義	半期			
	生徒・進路指導論		2	2	講義	半期			
	生徒指導論		2	2	講義	半期			
	教育相談		2	2	講義	半期			
	教育史		2	2	講義	半期			
	異文化間教育論		2	2	講義	半期			
	音楽科教育法A		2	2	講義	半期			
	音楽科教育法B		2	2	講義	半期			
	音楽科教育法C		2	3	講義	半期			
	音楽科教育法D		2	3	講義	半期			
	国語科教育法A		2	2	講義	半期			
	国語科教育法B		2	2	講義	半期			
	国語科教育法C		2	3	講義	半期			
	国語科教育法D		2	3	講義	半期			
	宗教科教育法A		2	2	講義	半期			
	宗教科教育法B		2	2	講義	半期			
	宗教科教育法C		2	3	講義	半期			
	宗教科教育法D		2	3	講義	半期			
	教育実習1(事前事後指導)		1	4	実習	半期			
	教育実習2(実地実習)		2	4	実習	集中			
	教育実習3(実地実習)		2	4	実習	集中			
	介護体験		2	3	実習	集中			
	教職実践演習(中・高)		2	4	演習	半期			
	教職実践演習(栄養教諭)		2	4	演習	半期			
	教職特別演習A		2	専	演習	半期			
	教職特別演習B		2	専	演習	半期			

図書館司書課程科目

区分	授業科目名	単位数		年次	形態	期間	履修条件	卒業要件単位	備考
		必修	選択						
	図書館制度・経営論		2	2	講義	半期			
	図書館情報技術論		2	1	講義	半期			
	図書館サービス概論		2	1	講義	半期			
	情報サービス論		2	2	講義	半期			
	児童サービス論		2	2	講義	半期			
	情報サービス演習1		2	3	演習	半期			
	情報サービス演習2		2	3	演習	半期			
	図書館情報資源概論		2	2	講義	半期			
	情報資源組織論		2	2	講義	半期			
	情報資源組織演習		2	2	演習	半期			
	図書館総合演習		2	3	演習	半期			
	図書館基礎特論		2	3	講義	半期			
	図書館サービス特論		2	3	講義	半期			
	学校教育概論		2	1	講義	半期			

学校図書館司書教諭課程科目

区分	授業科目名	単位数		年次	形態	期間	履修条件	卒業要件単位	備考
		必修	選択						
	学校経営と学校図書館		2	2	講義	半期			
	学校図書館メディアの構成		2	2	講義	半期			
	学習指導と学校図書館		2	2	講義	半期			
	読書と豊かな人間性		2	3	講義	半期			
	情報メディアの活用		2	3	講義	半期			

別表第二 (第10条の2関係)

	栄養士法施行規則による教育内容	規定単位数		授 業 科 目 名	単位数		年次	形態	期間
		講義 又は 演習	実験 又は 実習		必修	選択			
専門基礎分野	社会・環境と健康	6	10	公衆衛生学A	2		2	講義	後期
				公衆衛生学B	2		3	講義	前期
				公衆衛生学実習	1		3	実習	前期
				健康管理論	2		1	講義	後期
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	14	10	人体の構造(解剖学)	2		1	講義	前期
				生理学A	2		1	講義	前期
				生理学B	2		1	講義	後期
				解剖生理学実験	1		1	実験	後期
				運動生理学実習	1		2	実習	前期
				疾病の成り立ち	2		2	講義	前期
				生化学	2		1	講義	前期
				生化学実験	1		1	実験	前期
				栄養生化学	2		2	講義	後期
				微生物学	2		2	講義	後期
	食べ物と健康	8	10	食品学A	2		1	講義	前期
				食品学B	2		2	講義	前期
				食品学実習	1		2	実習	前期
				食品学実験	1		1	実験	後期
				食品衛生学	2		2	講義	前期
				食品衛生学実験	1		2	実験	後期
調理学				2		1	講義	前期	
調理学実習A				1		1	実習	前期	
調理学実習B				1		1	実習	後期	
調理科学実験				1		2	実験	前期	
小計	28	10							
専門分野	基礎栄養学	2	8	基礎栄養学	2		2	講義	前期
				基礎栄養学実験	1		2	実験	後期
	応用栄養学	6	8	発達栄養生化学	2		3	講義	前期
				ライフステージ栄養学A	2		2	講義	前期
				ライフステージ栄養学B	2		2	講義	後期
				ライフステージ栄養学実習	1		2	実習	後期
				栄養教育論A	2		2	講義	後期
	栄養教育論	6	8	栄養教育論B	2		3	講義	前期
				栄養教育論実習A	1		2	実習	後期
				栄養教育論実習B	1		3	実習	前期
				栄養教育演習	2		3	演習	後期
	臨床栄養学	8	8	臨床栄養学A	2		2	講義	前期
				臨床栄養学B	2		3	講義	前期
				臨床栄養アセスメント論	2		2	講義	後期
				臨床栄養カウンセリング論	2		3	講義	後期
				臨床栄養学実習A	1		3	実習	前期
				臨床栄養学実習B	1		3	実習	後期
	公衆栄養学	4	8	公衆栄養学A	2		3	講義	前期
				公衆栄養学B	2		3	講義	後期
				公衆栄養学実習A	1		3	実習	前期
				公衆栄養学実習B	1		3	実習	後期
	給食経営管理論	4	8	給食経営管理論	2		2	講義	後期
				給食経営管理実務論	2		2	講義	後期
				給食経営管理実習	2		3	実習	前期
	総合演習	2	8	管理栄養総合演習	2		3	演習	後期
				管理栄養士演習A	2		3	演習	後期
管理栄養士演習B				2		4	演習	前期	
管理栄養士演習C				2		4	演習	前期	
管理栄養士演習D				2		4	演習	後期	
臨地実習		4	臨地実習A	1		3	実習	集中	
			臨地実習B	1		3	実習	集中	
			臨地実習C	1		3	実習	集中	
			臨地実習D(給食の運営を含む)	1		3	実習	集中	
小計	32	12							
合計	60	22	82						

別表第三（第42条関係）

音楽専攻科教育課程表

区分	授業科目名	単位数		年次	形態	期間	履修条件	修了要件単位
		必修	選択					
専攻科目	専攻実技A	6		1	演習	通年	作曲専攻作曲分野	30単位以上
	専攻実技B	6		1	演習	通年	声楽専攻・器楽専攻	
	音楽学演習A	6		1	演習	通年	作曲専攻音楽学分野	
	音楽学演習B	6		1	演習	通年		
	音楽療法演習A	6		1	演習	通年	作曲専攻音楽療法分野	
	音楽療法演習B	6		1	演習	通年		
	修了作品	6		1	演習	集中	作曲専攻作曲分野	
	修了論文	6		1	演習	集中	作曲専攻音楽学分野	
	修了研究	6		1	演習	集中	作曲専攻音楽療法分野	
	修了演奏	6		1	演習	集中	声楽専攻・器楽専攻	
専攻科共通科目	特殊研究Ⅰ		4	1	講義	通年	4単位以上選択必修	
	特殊研究Ⅱ		4	1	講義	通年		
	特殊研究Ⅲ		4	1	講義	通年		
	特殊研究Ⅳ		4	1	講義	通年		
	作品研究		4	1	演習	通年	4単位以上選択必修	
	演奏解釈		4	1	演習	通年		
	音楽療法事例研究		4	1	演習	通年		
	西洋音楽史特殊講義A		2	1	講義	半期		
	西洋音楽史特殊講義B		2	1	講義	半期		
	西洋音楽史特殊講義C		2	1	講義	半期		
	西洋音楽史特殊講義D		2	1	講義	半期		
	合奏		4	1	演習	通年		管弦打古楽器分野
	オーケストラ特別研究A		1	1	実技	集中	管弦打古楽器分野	
	オーケストラ特別研究B		1	1	実技	集中	管弦打古楽器分野	
	オーケストラ特別実習A		1	1	実習	集中	管弦打古楽器分野	
	オーケストラ特別実習B		1	1	実習	集中	管弦打古楽器分野	
	室内楽		2	1	実技	通年	ピアノ・管弦打古楽器分野	
	オペラ演習		4	1	演習	通年	声楽分野	
通奏低音		2	1	実技	通年	古楽器分野は必修		
室内楽演習		4	1	演習	通年	創作演奏分野		

新

第3条 修業年限は4年とする。但し在学期間は通算8年を超えることができない。

2 学生定員は次の通りとする。

学 部	学 科	入学定員	編入学定員	収容定員
音楽学部	音 楽 学 科	80人	—	320人
人文学部	人 文 学 科	105人	10人	440人
	日本文学コース	(25人)	—	(100人)
	歴史・サブカルチャーコース	(15人)	—	(60人)
	仏教文化コース	(10人)	—	(40人)
	心理コース	(25人)	—	(100人)
	国際コミュニケーションコース	(15人)	(5人)	(70人)
	ビジネス・社会コース	(15人)	(5人)	(70人)
人間発達学部	子ども発達学科	80人	—	320人
	発達栄養学科	80人	—	320人

(中略)

附 則

54. 令和4年4月1日 改正

附 則

- この改正学則は、令和4年4月1日より施行する。
- 令和3年度以前に入学した学生については、なお従前の学則による。
- 令和4年度からの音楽学部および人文学部の収容定員は、第3条第2項の規定にかかわらず次の通りとする。

学部	学科	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
音楽学部	音楽学科	380人	360人	340人	320人
人文学部	人文学科	385人	410人	425人	440人

旧

第3条 修業年限は4年とする。但し在学期間は通算8年を超えることができない。

2 学生定員は次の通りとする。

学 部	学 科	入学定員	編入学定員	収容定員
音楽学部	音 楽 学 科	100人	—	400人
人文学部	人 文 学 科	90人	—	360人
	日本文学コース	(25人)	—	(100人)
	歴史・サブカルチャーコース	(10人)	—	(40人)
	仏教文化コース	(10人)	—	(40人)
	心理コース	(25人)	—	(100人)
	国際コミュニケーションコース	(10人)	—	(40人)
	ビジネス・社会コース	(10人)	—	(40人)
人間発達学部	子ども発達学科	80人	—	320人
	発達栄養学科	80人	—	320人

(中略)

学則の変更の趣旨等を記載した書類

1. 学則変更（収容定員変更）の内容

本学学則第3条第2項に記載の音楽学部音楽学科ならびに人文学部人文学科の入学定員・編入学定員及び収容定員を下記の通りとする。

【音楽学部】

音楽学科 入学定員 100名 → 80名
収容定員 400名 → 320名

【人文学部】

人文学科 入学定員 90名 → 105名
編入学定員（第3年次編入） 0名 → 10名
収容定員 360名 → 440名

2. 学則変更（収容定員変更）の必要性

近年のクラシック音楽を取巻く環境の変化も影響し、多くの大学の音楽学部で学生募集に苦慮している状況であり、本学音楽学部音楽学科においても、入学定員100名に対する入学者が、2017年度78名、2018年度69名、2019年度59名、2020年度76名、2021年度63名と、過去5年間の定員充足率が0.69倍となっており、現在の入学定員を確保することが極めて困難な状況にある。＜資料1＞

一方、人文学部人文学科は、2013年の学科設置当初は学生募集に苦戦したが、学則に定めた教育研究上の目的に基づき、各コースごとの教育カリキュラムの内容に沿った募集を継続するとともに、一学部一学科の特性を活かしての幅広い学びと、専門分野選択の決定は入学時ではなく2年次末に行うこと、さらにキャリア教育や主体的学修の強化をめざす学科の特徴を広く周知させること等で、近年の入学者数は、入学定員90名に対する入学者が、2017年度96名、2018年度94名、2019年度110名、2020年度111名、2021年度110名と、過去5年間の定員充足率が、1.15倍と大きく改善した状況にある。＜資料1＞

さらに、これまで人文学部人文学科では、その定員の範囲内において、中国の協定提携大学からの編入学生や、国内他大学や短期大学等からの転・編入学生の受入れを行ってきたが、近年の定員充足率の状況から、転・編入学の学生の受入れが困難な状況となっている。

以上のことから、各学部学科の定員充足状況と、今後の学生確保の見通し等を考慮し、大学としての総収容定員は変更しないこととして、音楽学部音楽学科と人文学部人文学科について、上記1の通り定員の変更を行いたい。

3. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

(1) 教育課程の変更内容

収容定員変更に伴う、教育課程の変更は行わない。引き続き、自己点検・評価を通して、本学の教育の理念、目的に基づき、また、各学部・学科の教育研究上の目的に沿って、さらなる充実と円滑な運用に努めることとする。

(2) 教育方法及び履修指導方法の変更内容

収容定員変更に伴う、教育方法及び履修指導方法の変更は行わない。引き続き、それぞれの学科で設定する教育カリキュラム（コース）で表現される専門性を考慮に入れた少人数教育を継続するとともに、教育方法を展開することとする。また、履修指導については、学生個々に割り当てられたアドバイザー教員をはじめ、各合同研究室での職員、事務職員等による実施を継続することとする。

(3) 教員組織の変更内容

収容定員変更に伴う、教育組織の変更は行わない。音楽学科の大学設置基準上の専任教員数は10名であるが、令和3年4月1日現在の教員数は19名である。学科の特質上、主となる科目（『専攻実技』等）を担当する教員として相応の人数が必要であることから、基本的には教員組織の変更は行わないこととする。また、人文学科については、大学設置基準上の教員数は10名であるが、令和3年4月1日現在の教員数は20名である。人文学科の教育カリキュラムにおける専門性（コース）を考慮に入れた教員配置を行っており、それらのコースを維持するための教員配置は十分になされていると考えており、教員組織の変更は行わないこととする。なお、今後も大学設置基準上の大学全体としての専任教員数を念頭に、計画的な教員組織の編成を検討することとする。

(4) 大学全体の施設・設備の変更内容

大学全体としての収容定員の総数に変更がないため、収容定員変更に伴う、大学全体の施設・設備等の変更は行わないこととする。

相愛大学 志願者数・入学者数一覧

【音楽学部 音楽学科】

	2017 (平成29) 年度				2018 (平成30) 年度				2019 (平成31) 年度				2020(令和2)年度				2021(令和3)年度								
	志願	合格	入学	入充	志倍	志願	合格	入学	入充	志倍	志願	合格	入学	入充	志倍	志願	合格	入学	入充	志倍					
【現状】入学定員100名	109	98	78	0.78	1.09	102	90	69	0.69	1.02	79	74	59	0.59	0.79	102	89	76	0.76	1.02	93	81	63	0.63	0.93
入学定員充足率	0.69																								
志願者倍率	0.97																								
【変更後】入学定員80名				0.97	1.36				0.86	1.27				0.73	0.98				0.95	1.27				0.78	1.16
入学定員充足率	0.85																								
志願者倍率	1.20																								

※「入学定員充足率(入充)」 「志願者倍率(志倍)」は、小数第3位を切り捨て

【人文学部 人文学科】

	2017 (平成29) 年度				2018 (平成30) 年度				2019 (平成31) 年度				2020(令和2)年度				2021(令和3)年度								
	志願	合格	入学	入充	志倍	志願	合格	入学	入充	志倍	志願	合格	入学	入充	志倍	志願	合格	入学	入充	志倍	志願	合格	入学	入充	志倍
【現状】入学定員90名	167	115	96	1.06	1.85	157	118	94	1.04	1.74	291	129	110	1.22	3.23	348	143	111	1.23	3.86	204	136	110	1.22	2.26
入学定員充足率	1.15																								
志願者倍率	2.58																								
【変更後】入学定員105名				0.91	1.59				0.89	1.49				1.04	2.77				1.05	3.31				1.04	1.94
入学定員充足率	0.98																								
志願者倍率	2.22																								

※「入学定員充足率(入充)」 「志願者倍率(志倍)」は、小数第3位を切り捨て

学生の確保の見通し等を記載した書類

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

① 学生の確保の見通し

ア 定員充足の見込み

相愛大学音楽学部は、1958年に前身である相愛女子短期大学音楽科を発展させ、4年制大学として設立された。設立当初から、「優れた音楽家とよき音楽文化人を育成する」ことを学部の理念として掲げ、演奏家や作曲家といった音楽家のみならず、その研究者や教育者等も多数輩出してきた。しかし、近年、音楽系大学の根幹をなす「クラシック音楽」を取巻く状況は我が国のみならず世界的にも厳しい状況にあり、本学においてはその変化に対応すべく、カリキュラムの改定、入試改革、広報戦略の見直し、奨学生制度の検討等、近年さまざまな改革を行ってきたところであるが、過去5年の音楽学部音楽学科の入学定員超過率（充足率）の平均は、0.69倍と低迷を続けている状況である。＜資料1＞

このような状況下において、定員未充足の状況を改善するために、音楽学部学生募集対策検討会議と音楽学部入試委員会とが協力して策定した『相愛大学音楽学部学生募集中期計画』（詳細は後述＜資料7＞）で掲げる60項目の行動戦略を確実に実施するとともに、「音楽学科会」での進捗状況のチェックと修正を行い、確実なPDCAサイクルのスパイラルアップを行うこと、また、アドミッションポリシーに沿った入試改革、入学前教育の充実等の施策等を確実に実施するとともに、周知することで、音楽学科において新たに設定する入学定員の充足は可能であると見込んでいる。

人文学部は、開設時より、「文化」を基軸とした一学部複数学科編成において、「文化」の専門教育を基本とした教育を行ってきたが、学士課程教育における「文化」に関わる専門性の獲得や「文化」の抽象性の理解は相当に困難であり、それらを卒業後の進路に直結させることも容易ではないと判断し、細分化された専門性よりも幅広く総合的な知識獲得を主軸として、「学士力」の修得ないしは将来の社会人としての生活を持続させるような能力の習得によって、学士課程の質を保証する教育体制の構築を目的に、2013（平成25）年に、複数の学科を統合し一学部一学科編成とする形で人文学科を設置した。人文学科設置当初は、学生募集に苦戦したが、

1) 入学志願者の専門分野選択を幅広くし、6つのコースに分かれる専門教育開始を3年次からとしたこと、2) その専門教育も専門性を指標とした教育カリキュラムを設定しつつ、他コース科目の履修をより柔軟にして、総合的で広範な教育成果の獲得をめざすとともに、キャリア教育や主体的学修の強化をめざす、とする人文学科の特徴を広く周知させること等で、直近過去5年の入学定員超過率（充足率）の平均は、1.15倍と改善された状態を維持している。＜資料1＞

2021年度入試の志願者数は、前年度に比べ大きく落ち込んだが、これは新型コロナウイルス感染症の影響による留学生の志願者減少が大きな原因の一つと分析しており、2022年度入試においてもコロナ禍の影響が残る可能性はあるものの、ここ数年の志願者状況と、学生確保に向けた取組みを確実に実施することで、人文学科において新たに設定する入学定員の充足は可能であると見込んでいる。

また、人文学科における新たな編入学定員の設定については、中国等の協定締結大学からの編入学生が一定数見込めることなどから、新たに設定する編入学定員の充足も可能であると見込んでいる。

イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

近年、クラシック音楽を取巻く環境が変化し、これまでのようなクラシック音楽文化を継続することが困難となっている。「私立大学・短期大学等入学志願動向」（日本私立学校振興・共済事業団）のデータで示されている通り、全国の『芸術系（音楽学部）』の入学定員充足率が、2012年度から2019年度の8年連続で90%を下回っている<資料2>ことや、近隣の音楽学部を設置している大学の状況<資料3>からも、その厳しさがうかがえる。

今回、音楽学部音楽学科において、新たに設定する入学定員80名を、過去5年間の入試状況に当てはめてみると、志願者倍率の平均は1.20倍となり、また、入学定員充足率の平均は0.85倍となる<資料1>。過去5年間での平均では、なお変更後の入学定員を満たす数とはならないが、一定の改善を図ることができることとなる。これにあわせて、『相愛大学音楽学部学生募集中期計画』<資料7>を確実に実行すること、さらに、次項「学生確保に向けた具体的な取り組み状況」に掲げる学生募集戦略の実施と、大学全体の広報戦略の強化により、安定的な定員の確保が図れると考える。

人文学部人文学科は、志願者数については、2017年度167名、2018年度157名、2019年度291名、2020年度348名となっており、2018年度以降は年々増加している。しかし、2021年度の志願者数は204名と前年度から減少したが、これは、先述のように2020年初めからの新型コロナウイルス感染症の影響で、留学生の志願者が減少したこと<資料4>、また、「エリアを越えた進学を控えた傾向があることにも、コロナ感染拡大の影響が推測される」（『リクルートカレッジマネジメント229』<資料5>）とあるように、都市部（大阪）への進学が減少し地元残留率が高まったことによるものと分析している。ウィズコロナ、ポストコロナに向けた取組みの充実と相まって、徐々にこれらのマイナス要因が解消されると予想され、減少した志願者数は、一定の回復をみると考えている。今回、新たに設定する入学定員105名を、過去5年間の入試状況に当てはめてみると、5年間の志願者倍率の平均は、2.22倍となり、また、入学定員充足率の平均は0.98倍となる<資料1>。さらに、次項「学生確保に向けた具体的な取り組み状況」に掲げる学生募集戦略の実施と、大学全体の広報戦略の強化により、安定的な定員の確保が図れると考える。

また、人文学部の編入学定員の設定については、現在、中国の協定を締結している5大学とは、それぞれに編入学生の受入れについて条文中に盛り込んでおり、今後もこれらの大学から編入学を希望する学生が一定数あると考えている。これらの提携大学からの過去3年の編入学生数の平均は、11.3人であり<資料6>、新型コロナウイルス感染症の影響が一定収まれば、これまでと同様の学生確保が可能であると考えている。

② 学生の確保に向けた具体的な取り組み状況

2018（平成30）年3月に策定した『相愛大学第2次将来構想』（https://www.soai.ac.jp/univ/pdf/soai_future_plan_2nd.pdf）において、「教育・学生支援」「研究」「地域連携・社会貢献」「国際化」「管理・運営・財務」「内部質保証」の諸項目とともに「学生募集・広報」を一つの重要項目

として掲げ、以下に記すように、2つの重点項目と、重点項目を具現化した目標を設定し、それらの目標実現をめざした取組みを図っているところである。

(1) 学生募集につながる広報戦略と明確な教育内容の発信

- ①入学志願者数増大をめざした効果的な学生募集方法の継続的な検討
- ②ホームページや大学案内、大学ポートレート、SNS、各種Web媒体等を利用した教育内容の明確な発信
- ③オープンキャンパス、模擬授業、各種進路相談会等での高校生等との接触機会の増大
- ④学生募集を目的とした効果的な高校訪問、進路相談会等への参加のあり方の検討
- ⑤社会人等を対象とした多様な学習プログラム履修者の拡大方法等の検討

(2) IR等を利用した戦略的な学生募集と広報活動の展開

- ①各種データの分析と有効活用
- ②データ分析に基づく効果的な学生募集方法の継続的な検討
- ③データ分析に基づく効果的な広報予算活用方法の継続的な検討
- ④データ分析に基づくブランディング戦略の検討と展開
- ⑤学部・学科と各課連携の下での全学的な教職協働体制による学生募集活動、広報活動の質の確保と推進
- ⑥社会情勢やニーズに即したホームページ、広報媒体の継続的な充実

また、ここに掲げられた各項目を念頭に、各担当部門や部署が、年度ごとの『事業計画書』においてその実現のための具体的方策を示し、計画的に実行するとともに、『事業報告書』において、その方策に対する進捗を報告し、さらにそれらを「自己点検・評価実施委員会」及び「自己点検・評価委員会」において、点検・評価を行うことで、PDCAサイクルを適正に機能させている。

音楽学科においては、2020（令和2）年3月に、音楽学部学生募集対策検討会議と音楽学部入試委員会が協力して、『相愛大学音楽学部学生募集中期計画』〈資料7〉を策定した。そこでは、各専攻・楽器（コース）別に行動戦略を示すとともに、各専攻等での学生確保数を目標数値として掲げ、それを完遂させるための方策を記し、実行に移している。また、それぞれの事業の進捗状況を、「音楽学科会」等で共有することで、教員の間でも学生募集に対する意識の向上を図っている。しかし、2020年度においては、コロナ禍の影響で計画の完遂には至っていないことから、新たな定員の設定とあわせて、改訂版を作成し、実行に移すこととしている。

また、2021年度入試からスタートした総合型選抜入試は、オープンキャンパスとタイアップさせ、実技レッスンや面接を通して、一人ひとりの特技や意欲、進学後の目的意識等を確認しながら実施することが特徴であるが、昨年度はコロナ禍の影響で十分な広報ができなかったとはいえ、16名の受験者をみた。2021年度のこれまでに開催しているオープンキャンパスにおいては、多くの高校3年生が、総合型選抜入試に関心を寄せている状況であり、学生確保に向けて十分期待の持てる入試と考えている。

人文学科においては、新入生を対象としたアンケート調査の中で、「大学を選択する際に重視するもの」として、『学部・学科の教育内容』との回答が、毎年、一番多くなっており、続いて、『オープンキャンパスでの印象』『資格取得』が多い回答となっている〈資料8〉。これらの調査結果からも、人文学科での学生募集対策において最も重要なのは、あらゆる手段での「教育内容の周知」で

あり、その実行のために、オープンキャンパスへの誘導、進学相談会や入試説明会等での生徒との接触機会や高校訪問における進路指導担当教員等との面談等の推進を図ることにより、学科での教育内容の周知を強化することとしている。2020年度は、新型コロナウイルスの影響で、オープンキャンパスについては、一部中止・縮小開催となり、また多くの校内ガイダンス、会場ガイダンスが中止され、さらに、高校訪問についても直接の面会ができない状況が続いた。

2021年度においても、これまでのオープンキャンパスでは、全体説明やコンサート、ランチ体験などの実施の見送り、個別相談の時間制限など、縮小開催を余儀なくされているが、昨年度の同時期の参加者数と比較して、全体で1.41倍、高校3年生についても1.48倍と上回っている状況である<資料9>。また、校内ガイダンス、会場ガイダンスについても、ウィズコロナの中で、徹底した感染拡大の防止を行いつつ、徐々に開催され始めている状況である<資料10>。高校訪問については、緊急事態宣言が発出されている期間は、ほとんど訪問ができなかったが、高校側の状況に配慮しながらも、徐々に実施ができる状況になってきている<資料11>。

交通機関を乗り継がなければならないためにオープンキャンパスや会場ガイダンスの参加を見合わせている生徒もいるとの高校の進路担当の先生からの話もある。これらへの対応の一方策として、昨年度も開催している「相愛オフィシャルWeb相談会」<資料12>等を有効に活用してもらうことで、受験生との接触を大切に行い、継続した広報活動を行うこととしている。

また、人文学部における編入学定員の確保については、前項目で記しているように、現在中国の協定締結大学が5大学あり、例年、一定数の学生が編入学生として入学しており、新型コロナウイルス感染症の影響が一定収まれば、これまでと同様の学生確保が可能であると考えている。

これらに加え、『2021（令和3）年度事業計画書』（https://www.soai.jp/zaimu/report_pdf/2021_keikaku.pdf）の「学生募集に関する事項」及び「広報活動に関する事項」にて記す具体的な以下の各方策を実施することで、定員変更後も十分な志願者を確保し、入学定員の確保は可能であると考えている。

【募集活動に係る広報の基本方針】

近年実施してきた紙媒体への掲載を削減し、受験生に直接情報を届けることのできるWeb媒体やアプリを利用する広報を重視する。

- ・SNS/Webの積極的な活用と動画を使つての広報活動

新たにTwitterの公式アカウントを設け、その拡散性を活かし、定期的な投稿を行うこととする。また、高校生が多く利用している動画配信サービスでの動画広告のほか、保護者層の利用が多いポータルサイトでのWeb広告などを活用し、受験生とその保護者への認知度向上をめざす。

（進学サイト・進学情報誌等への掲載状況（2021年度）<資料13>）

- ・ホームページのリニューアルと受験生にわかりやすいデザインおよびコンテンツの作成

2020年度に、相愛大学のホームページをリニューアルした。リニューアルにあたっては、第一に、受験生を対象としたユーザーインターフェイスとなることを念頭に、モバイル（スマートフォン）での使用を想定した構成とした。受験生は何を一番に求めるのかを想定し、情報にたどり着きやすいような組立てにするとともに、できる限り多くの動画を取入れ、本学での学びをわかりやすく説明することを心がけた。また、ホームページでは、日々の情報をタイムリーに行えるよう、関係する部署間での連携を図ることとしている。

(2) 人材需要の動向等社会の要請

①人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

今回定員変更を行う各学部・学科の教育研究上の目的は、以下の通り、「相愛大学学則」第2条の2に記している。

1. 音楽学部は、高度な音楽的技術の修得にとどまらず、宗教的情操を備え、感性豊かで優れた音楽家、音楽教育者、音楽研究者などの専門家を養成する。同時に、音楽を愛好する音楽文化人として文化の諸現象が社会に寄与する意義を感得し、音楽文化と産業の振興に貢献できる人材を育成することを目的とする。
 - (1) 音楽学科は、演奏技量・教育能力・音楽教養の3方向に広がる領域の中で、個々の学生をそれぞれの資質や希望に沿って位置づけ、音楽文化の諸相において活躍できるように育成し、その音楽人的文化力を通じて、日本の情操社会の水準向上に貢献することを目的としている。
2. 人文学部は、人文科学の分野において、総合的・学際的な教育研究を行い、現代社会に生じる諸問題を多面的に捉え、思想・宗教的な素養をも生かして、自ら問題に立ち向かう主体性を持った人材を育成することを目的とする。
 - (1) 人文学科は、日本文学、歴史・サブカルチャー、仏教文化、心理、国際コミュニケーション、ビジネス・社会などの分野を軸に、文化の諸相を読み解く能力と複雑化する現代社会を生き抜く力を培い、仏教精神に基づく知情意のバランスのとれた人格を育み、他者及び異文化への理解を備えた国際社会に通用する人材の育成を目的とする。

②上記①が、社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

2018（平成30）年3月6日に閣議決定された『文化芸術推進基本計画—文化芸術の「多様な価値」を活かして、未来をつくる—（第1期）』（以下、『文化芸術推進基本計画』と記す）<https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunka_gyosei/hoshin/pdf/r1389480_01.pdf>に記されている各項目は、今回の定員変更に係る本学各学科での「人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的」と合致するものであると考える。

以下、『文化芸術推進基本計画』の目次から、項目の一部を抜粋する。

第2 今後の文化芸術政策の目指すべき姿

- 目標1 文化芸術の創造・発展・継承と教育
- 目標2 創造的で活力ある社会
- 目標3 心豊かで多様性のある社会
- 目標4 地域の文化芸術を推進するプラットフォーム

第3 今後5年間の文化芸術政策の基本的な方向性等

- 戦略1 文化芸術の創造・発展・継承と豊かな文化芸術教育の充実
- 戦略2 文化芸術に対する効果的な投資とイノベーションの実現
- 戦略3 国際文化交流・協力の推進と文化芸術を通じた相互理解・国家ブランディングへの貢献

- 戦略4 多様な価値観の形成と包摂的環境の推進による社会的価値の醸成
- 戦略5 多様で高い能力を有する専門的人材の確保・育成
- 戦略6 地域の連携・協働を推進するプラットフォームの形成

・音楽学部音楽学科

『文化芸術推進計画』の「第2 今後の文化芸術政策の目指すべき姿」の、目標4において謳われている「地域の文化芸術を推進するプラットフォーム」の具体例として、「あらゆる人々が文化芸術に慣れ親しめるよう、その担い手の育成や創造・活動の場に向けた取組に努めることが重要」であり、「文化芸術は、芸術家等のみならず、(中略)文化芸術活動に関する企画又は制作を行う者、(中略)文化芸術団体の各種専門職員等、地域の文化芸術に熟知しマネジメント力を備えた人材、多様で高いスキルを有する専門的人材を必要としており、こうした人々の育成・確保が我が国の文化芸術の持続的な発展において重要である。(後略)」と記されている。

また、「第3 今後5年間の文化芸術政策の基本的な方向性等」の「戦略4 多様な価値観の形成と包摂的環境の推進による社会的価値の醸成」の具体例として、「子供、若者、高齢者、障害者等が主体的に参加し、学ぶことができる体験型プログラム等のさまざまな取組や地域の学校、非営利団体、福祉施設等の関係機関等と連携したアウトリーチ活動やそれぞれの機関が主体的に取り組む文化芸術活動、(中略)等を通じて、全ての人が生涯を通じて、あらゆる地域で多彩で優れた文化芸術活動に触れられ、表現活動を行うことができるようにすることを目指す。」とあり、その具体的な戦略として、「文化芸術と教育、福祉、医療その他の分野の連携により、地域で人々が様々な場で文化芸術を鑑賞し、参加し、創造することができるよう、芸術家等及び文化芸術団体と、学校、文化施設、社会教育施設、福祉施設、医療機関等との間の協力の促進に努める。」と記されている。

さらに、「戦略5 多様で高い能力を有する専門的人材の確保・育成」の具体例として、「芸術家等のみならず、文化芸術を支える人材は、我が国の文化芸術の持続的な発展に不可欠であることから、年齢、性別等が多様で高いスキルを有する専門的人材(文化施設・文化芸術団体の経営者、企画・広報やマーケティング等に従事するアートマネジメント人材、企画制作者、舞台技術者・技能者、美術館、博物館における学芸員・各種専門職員等)を確保する。」とあり、その具体的な戦略として、「地域の劇場、音楽堂等が行う事業や、芸術系大学等の有する教員や教育研究機能など、様々な資源を活用して、実演芸術のアートマネジメント等に関する専門的人材を養成する取組を推進する。また、大学等の教育機関や国立の文化施設等における文化芸術に係る教育及び研究の充実を図る。」と記されている。

他にも、「戦略6 地域の連携・協働を推進するプラットフォームの形成」の具体例として、「地域の文化芸術活動を活性化するためには、国、独立行政法人、地方公共団体、文化芸術団体、文化施設、企業等の民間事業者、芸術家、学校等、社会福祉施設、非営利団体、中間支援組織、文化ボランティアなどの関係機関等が相互に連携・協働し、文化芸術のあらゆる現場において創造・活動の場を広げ、総合的な文化芸術政策を展開することが重要である。また、これらの関係機関等による対等な立場でのゆるやかな連携・協働を可能にする枠組みとして多様な連携組織等の地域の連携・協働を推進するプラットフォームを形成することを目指す。」とあり、その具体的な戦略として、「地方公共団体を中心となり、地域住民や地域の芸・産学官と共に取り組む地域の文化資源を活用した文化芸術事業を促進する。」と記されている。

本学の音楽学部音楽学科の学びは、まさにここに記されている各項目の実現に直結するもので

あると言っても過言ではないと考える。

本学音楽学部では、先に挙げた『相愛大学第2次将来構想』にも掲げている「地域連携・社会貢献」に関する取組みを多く実施しているが、その中でも、大学のキャンパスがある大阪市住之江区や近隣の商業施設、医療機関等と連携する事業を数多く実施しており<資料14>、その中の多くは音楽学部の学生が自分たちで企画し、実施するものである。

例えば、地域の小・中学校や特別支援学校等からの音楽鑑賞会の依頼等に対しては、単に演奏を披露するだけではなく、会場や鑑賞する生徒の学年等に応じて、学生自らが楽器の編成やプログラムの企画・構成を行い、ニーズに合ったレベルの高い演奏を子どもたちに届けることで心身の成長を促し、併せて地域・社会の音楽文化の振興にも供している取組みである。また、連携協定を締結している医療機関、地域の商業施設、地域の住民が集まる会館等でのコンサートでも、それぞれのニーズに合わせた開催を定期的に行っている。

このように、教育カリキュラムの内外においての、演奏技術の修得と、音楽と地域・社会を繋ぎ音楽文化と産業の振興に貢献できる技量の修得は、国や地域が示す政策の実現のために、必要不可欠な人材育成であることは間違いのないところである。

近年の、本学の音楽学部学生への求人は、自衛隊音楽隊、消防音楽隊、楽団員、音楽教室など、演奏者としてのものだけではなく、中学校教員、保育園での音楽指導、舞台マネジメント、ゲーム制作会社での音楽担当、音楽ホール等の運営・企画等、音楽の専門性を社会の諸側面で展開できる実践的手法を必要とする企業等からも増えてきている。今後は、官公庁や地方自治体で芸術文化の振興を担当する職員、或いは文化振興財団や芸術文化等研究機関の職員、中学校・高等学校や特別支援学校等において文化活動を支援する教員等も、本学での学びを十分に活かせる職業であると考えている。

・人文学部人文学科

「学生確保の見通し等を記載した書類」の項でも記したように、本学の人文学部は、開設時より「文化」を基軸として学科を編成し、「文化」の専門教育を基本とした教育を展開してきたが、人文学科においては、細分化された専門性よりも、深い教養と幅広く総合的な知識の獲得を主軸として、将来の社会人としての生活を持続させうるような能力の修得をめざす学科として、教育カリキュラムの編成が行われている。

先に示した『文化芸術推進計画』での「文化芸術」は、本学の人文学科の学びにも大きく関係があり、各項目の実現に深く結びついているものであると考える。

「第2 今後の文化芸術政策の目指すべき姿」の、目標1において記されている「文化芸術の創造・発展・継承と教育」の具体例として、「言葉は、論理的思考力、想像力、表現力などの基盤であり、意思疎通の手段であると同時に、その言葉を用いる人々の生活や文化とも深く結び付いている。例えば、小説や詩などの文学作品、歌、台詞のある演劇、映画、マンガ、アニメ、コンピューターゲームなどの創作活動・創作物は言葉がなければ成立しないものである。また、過去の人々の歴史や生活、文化活動なども言葉によって後世の人々に伝わる部分が多い。加えて、各地域の言語・方言は、当該地域の生活や文化と密接に結び付いており、多様な地域文化の振興、さらには、観光や産業の活性化を考える上でも、重要な要素となっている。」と記されている。

本学人文学科の学びは、教育カリキュラムの編成に合わせて、6つのコース（日本文学コース、

歴史・サブカルチャーコース、仏教文化コース、心理コース、国際コミュニケーションコース、ビジネス・社会コース)が設けられており、各コースにおいて、人間文化に関する学びを通して、現代社会に貢献できる「企画する力」「実行する力」「協調する力」「持続する力」を身につけることを人材育成の目標として掲げている。『文化芸術推進計画』の「文化芸術の創造・発展・継承と教育」の具体例として、記されている一言一言は、まさに本学の人文学科の各コースの学びに深く関係するものであり、国が指し示す文化芸術の振興に必要なものであると考える。

また、今回の定員の変更で、編入学生の定員を設けるのは、留学生の編入学生に対する受入れが大きな要因であるが、「外国人留学生／高度外国人材の採用に関する調査」(2019年12月調査)〈調査機関：株式会社ディスコキャリアタスリサーチ〉によると、「外国人留学生に求める資質」の文系での上位5項目は、「日本語力(59.1%)」「コミュニケーション能力(47.7%)」「協調性(31.6%)」「基礎学力(22.8%)」「異文化対応力(17.1)」となっている。

「日本語力」については、特に中国との提携大学からの編入学生は、中国の大学での学びが「日本語」「日本文化」等を専門とする学部・学科に属している者が多く、入学当初から、通常の会話だけでなく、専門的な語句を交えての会話も可能なレベルである。また、1年次からの留学生については、留学生を対象として、会話能力別でのクラス編成を行い開講する『日本語会話(A)(B)』等で、さらなる会話力向上を図っており、日本語力については、日本国内での就職を考えた際の大きなハンデとはならない。また、それ以下の4項目は、まさに本学人文学部の学びの中で修得をめざしているもので、初年次教育やキャリア支援科目(『主体的学習法』『プレゼンテーション演習』『社会人基礎力形成演習』『グループワーキング演習』『データ分析』『社会人基礎力実践』)等において、それらの能力の修得のための科目を設定し、現代社会の要請に緊密に対応できる、柔軟で応用力のある技術、技能を身につけるべく教育を行っている。

近年の本学での人文学科の就職状況を見ると、過去5年間の平均で、求職率が60.8%(留学生を除くと76.4%)、就職率が88.9%(留学生を除くと94.7%)となっている。留学生のみで見ると、求職率が49.6%、就職率が82.0%となっている。〈資料15〉

近年、留学生の求職率が伸びてきていることもあり、学生支援センターのキャリアサポート部門においては、留学生のためのいくつかの就職ガイダンスを実施しており、卒業後も日本に留まり就職を希望する学生へのサポートにも力を入れているところである。

本学の建学の精神の具現化である、「共生」「自利利他」の精神に基づいて形成される「人間力」は、現代社会において最も必要とされるものとして、本学での教育に期待が寄せられているところであり、留学生を含めた本学学生のキャリア支援教育についても、「業界研究セミナー」や「学内合同企業説明会」に出席の各企業の人事担当者からも高い評価を得ている。

以上のことから、音楽学部音楽学科、人文学部人文学科のそれぞれにおいて養成する人材は、社会的・地域的な人材需要の動向を踏まえたものであると考える。

学生の確保の見通し等を記載した書類

【資料目次】

資料 1	相愛大学 志願者数・入学者数一覧
資料 2	全国【音楽学部】入学定員充足率
資料 3	2021 年度近隣音楽学部の入学者数および在籍者数
資料 4	人文学科 留学生を対象とした入試における志願者数推移
資料 5	『リクルートカレッジマネジメント』229 抜粋
資料 6	中国提携大学からの編入学生の受入れ状況（過去 3 年）
資料 7	相愛大学音楽学部学生募集中期計画
資料 8	新入生アンケート集計結果（2021 人文学学科）
資料 9	オープンキャンパス実施状況および参加者数（2019～2021 年度）
資料 10	校内ガイダンス、会場ガイダンス参加状況
資料 11	高校訪問実施状況
資料 12	相愛オフィシャル Web 相談会（ホームページから）
資料 13	進学サイト・進学情報誌等への掲載状況（2021 年度）
資料 14	2019(令和元)年度地域連携・社会貢献事業実施一覧 音楽学部
資料 15	音楽学部音楽学科、人文学部人文学科 就職状況（過去 5 年）

相愛大学 志願者数・入学者数一覧

【音楽学部 音楽学科】

	2017 (平成29) 年度			2018 (平成30) 年度			2019 (平成31) 年度			2020(令和2)年度			2021(令和3)年度		
	志願	合格	入学	志願	合格	入学	志願	合格	入学	志願	合格	入学	志願	合格	入学
【現状】 入学定員100名	109	98	78	102	90	69	79	74	59	102	89	76	93	81	63
入学定員充足率	0.69														
志願者倍率	0.97														
【変更後】 入学定員80名				0.97			1.36		0.86	1.27			0.73	0.98	
入学定員充足率	0.85														
志願者倍率	1.20														

※ 「入学定員充足率(入学)」 「志願者倍率(志倍)」は、小数第3位を切り捨て

【人文学部 人文学科】

	2017 (平成29) 年度			2018 (平成30) 年度			2019 (平成31) 年度			2020(令和2)年度			2021(令和3)年度		
	志願	合格	入学	志願	合格	入学	志願	合格	入学	志願	合格	入学	志願	合格	入学
【現状】 入学定員90名	167	115	96	157	118	94	291	129	110	348	143	111	204	136	110
入学定員充足率	1.15														
志願者倍率	2.58														
【変更後】 入学定員105名				0.91	1.59				0.89	1.49			1.04	2.77	
入学定員充足率	0.98														
志願者倍率	2.22														

※ 「入学定員充足率(入学)」 「志願者倍率(志倍)」は、小数第3位を切り捨て

全国【音楽学部】入学定員充足率

年度	入学定員 (a)	入学者数 (b)	入学定員 充足率(%) (b)/(a)
2011 (平成23)	3,767	3,492	92.70%
2012 (平成24)	3,676	3,229	87.84%
2013 (平成25)	3,596	3,214	89.38%
2014 (平成26)	3,466	2,935	84.68%
2015 (平成27)	3,316	2,879	86.82%
2016 (平成28)	3,396	2,930	86.28%
2017 (平成29)	3,216	2,862	88.99%
2018 (平成30)	3,136	2,760	88.01%
2019 (平成31)	3,196	2,838	88.80%
2020 (令和2)	3,171	2,954	93.16%

※「私立大学・短期大学等入学志願動向」（日本私立学校振興・共済事業団）のデータを集計

<資料3>

2021 年度近郊音楽学部の入学者数および在籍者数（各大学のホームページから集計）

※ 省 略

人文学科 留学生を対象とした入試における志願者数推移

	日本語学校 特別推薦	留学生 推薦A	留学生 推薦B	留学生 一般A	留学生 一般C	合計	対前年度比
2017年度	0	15	12	45	21	93	
2018年度	2	21	16	32	11	82	0.88
2019年度	0	47	26	44	8	125	1.52
2020年度	0	40	21	38	23	122	0.98
2021年度	2	24	9	17	10	62	0.51

新型コロナウイルス流行は 高校生の進路選択に どう影響したのかを振り返る

——リクルート進学総研「コロナウイルス流行による
進路選択行動影響調査」より

新たな入試制度の中で進路選択を迫られることとなった高校生達は、折しも人類の誰もが経験したことのないウイルス流行という危機にも見舞われることとなった。前例や経験が通用しづらい、変化の激しい状況の中で、何を考え、どのように行動したのか。2020年度末に1年を振り返る形でその実態を彼・彼女達に尋ねた。

調査概要

調査名	コロナウイルス流行による 進路選択行動影響調査 2021
調査目的	入試改革×コロナという変化変動の中で 進路検討を余儀なくされた高校生の 進路選択行動を把握する
調査対象	全国の高校2年生、高校3年生（調査期間段階）
調査期間	2021/03/08～2021/03/18
調査手法	WEB調査
依頼数	33656
有効回答数	2610(高2(22卒):1292 高3(21卒):1319)
集計対象数	2118(高2(22卒):1053 高3(21卒):1065)
回収率	7.8%

調査数	調査数	調査数
21卒	21卒	22卒
北海道	711	一般選抜
東北	52	共通テスト利用入試
北関東・甲信越	108	総合型選抜
南関東	384	学校推薦型選抜(公募制)
北陸	21	学校推薦型選抜(指定校)
北海道	109	まだ決めていない
関西	226	
中国・四国	60	
九州・沖縄	77	
アーバン	720	
ローカル	346	
一般選抜/共通テスト利用入試	524	
総合型選抜	83	
学校推薦型選抜(公募制)	148	
学校推薦型選抜(指定校)	259	

実施総研：リクルート進学総研

昨年夏に高校2年生及び3年生を対象に「コロナウイルス感染拡大による進路選択影響調査」を実施し、感染拡大によるその混乱の渦中で、高校生達が何を考えどのように行動しているのかについて把握した(本誌225号「高校生の進路選択に『今』何が起きているのか」参照)。そして想定外の高校生活を余儀なくされた1年を、年度が終わる2021年3月に、改めて彼・彼女達に振り返ってもらい、進路選択行動を明らかにするための調査を実施した。新たな進路選択をし

た2021年卒の生徒(現大学1年生)達と、先輩達の様子を近くに見ながら自らの検討を進め、決定の年を迎えた2022年卒予定の高校生の意識について、その一部を紹介したい。

なお、例年との比較をするために、3年に1回、進路選択行動を把握するために実施している調査「進学センサス」^{※1}との比較を行っている。また、以降、調査当時高校3年生でこの春卒業した学生を「21卒」、現高校3年生を「22卒」と記述する。

1 進路検討のための情報収集

行動が制約され、十分に「知る」ことができていない

高校生が混沌としたコロナ禍の日々において、進路検討のための情報収集をどの程度行うことができていたのかを見てみたい。

進学先として検討した学校数について尋ねた結果、「興味関心を持った校数」「資料請求した校数」とともに2019年の調査と比較して減少している(図表1)。高校生が認知し情報を

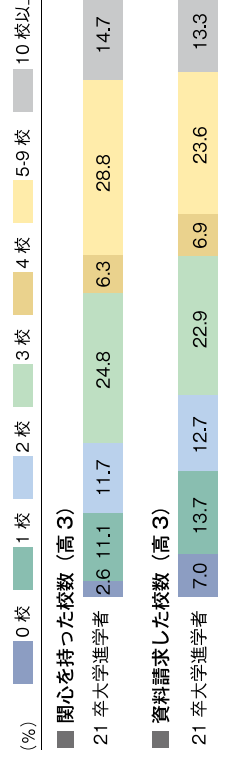
得た学校からしか選ばないとすれば、昨年末までの状況であれば高校生が志望校検討の組上に乗るはずだった大学が、その機会を失ったとも言えるだろう。

また、志望校決定における重要な情報源であるオープンキャンパス(以下OC)がリアルで開催されず、高校生が大事にしている「雰囲気を知

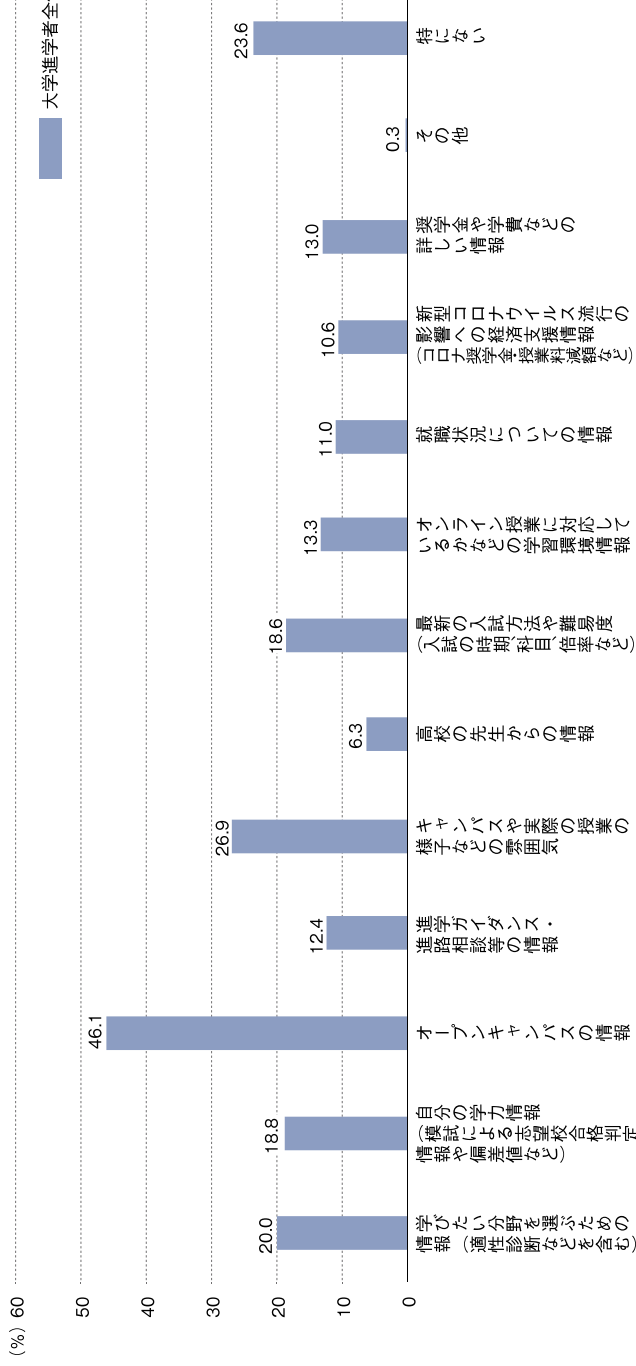
る」機会が失われたことの影響は、図表2の「コロナ影響を受けて進路検討に際し困ったことについて」の回答にも顕著に表れている。

また、同じ設問において「特でない」という回答をした高校生も2割以上存在しており、十分な進路選択検討ができていないがゆえの状況である可能性が高いとも考えられそうだ。

図表1 興味関心を持った校数と資料請求をした校数(単一回答)
情報を収集した学校がともに平均で1校ずつ減少している。

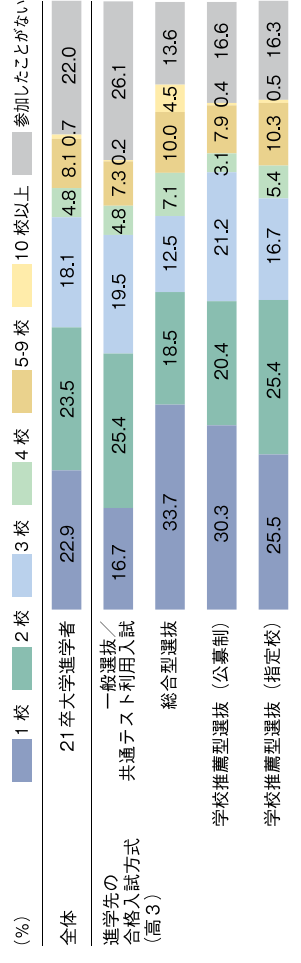


図表2 新型コロナウイルス流行の影響を受けて進路を検討するにあたり困ってしたこと/困っていること(複数回答)
OCに関わりのある項目がトップ2。「困ったことがない」という層も約2割。

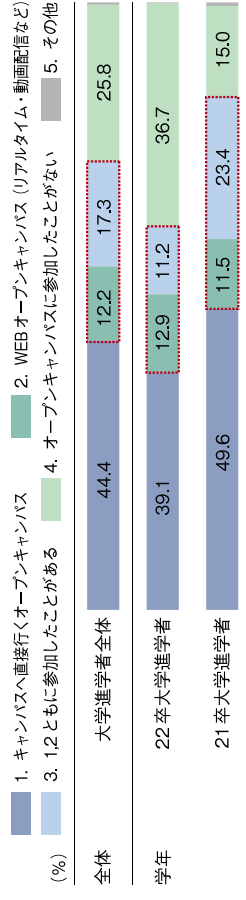


高校生の変化対応力

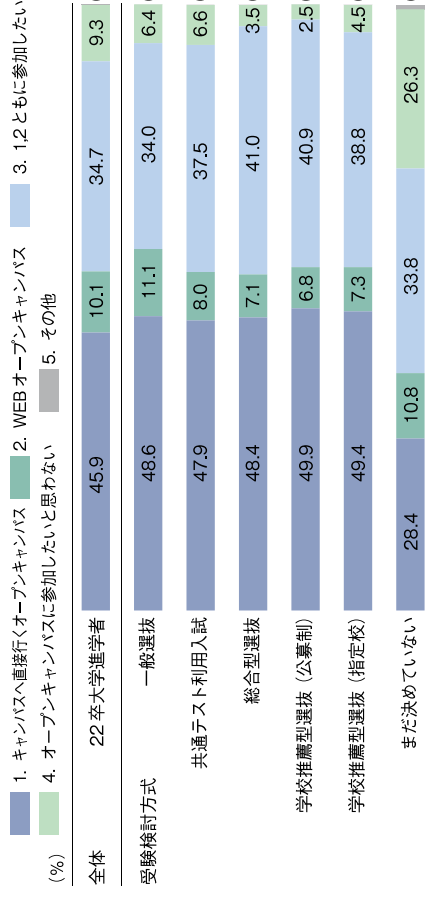
図表3 学校主催のOC参加校数(単一回答)
参加校数は1.4校減少。年内入試(総合型、学校推薦型)での減少が大きい。



図表4 参加したことのあるOC開催形式(単一回答)
WEB OCへの参加は3割程度。また高2のOC参加は約6割。



図表5 今後参加したいOC開催形式(単一回答)
参加意向が高いのはリアル開催のOC。WEB OCの約2倍。



受験生がどの程度OCへの機会を失っていたのか。図表3「学校主催のOC参加校数」にある通り、進学センサス2019が平均3.9校であったのに対し、昨年は2.5校に減少している。入試方式別で見ると、検討期間が短い総合型選抜や学校推薦型の減少幅が大きい。OC参加を十分に得られないまま入学を決めた学生が例年より増えていると考えられる。また、参加したことのあるOCの開催形式を聞いたところ(図表4)、WEB OCへの参加経験は3割にとどまっている。さらに、今後参加した

い開催形式についての設問に対する回答(図表5)でも、キャンパスへ行くOCへの参加意向は8割と高く、WEB OCと比べると約2倍の結果となった。別の設問において、WEB上でOCが開催されていることを9割近い高校生が認知していることが分かっ

21卒

平均参加校数	本調査	
	進学センサス2019	進学センサス2020
本調査	2.5	3.9
21卒大学進学者	2.6	3.6
進学先の合格入試方式(高3)	2.7	4.3
学校推薦型選抜(公募制)	2.4	4.2
学校推薦型選抜(指定校)	2.5	4.4

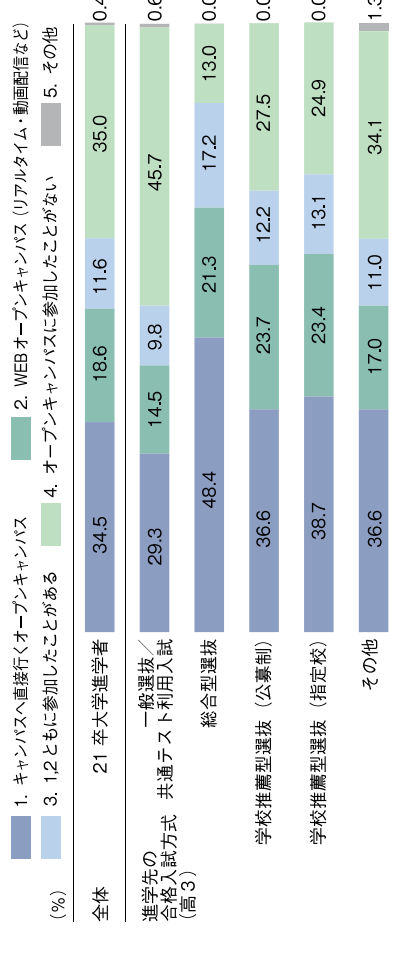
21卒

参加・計	うちリアル参加経験		うちWEB参加経験	
	参加経験	参加していない	参加経験	参加していない
73.9	61.7	29.5	25.8	
63.2	50.3	24.1	36.7	
84.5	73.0	34.9	15.0	

22卒

参加意向	うちリアル参加経験		うちWEB参加経験	
	参加経験	参加していない	参加経験	参加していない
90.7	80.6	44.8	45.1	
93.7	82.6	45.5	45.5	
96.5	89.4	48.1	47.7	
97.6	90.8	46.1	44.6	

図表6 進学先のOCへの参加経験(単一回答)
35%の学生はOCに参加しないまま入学している。



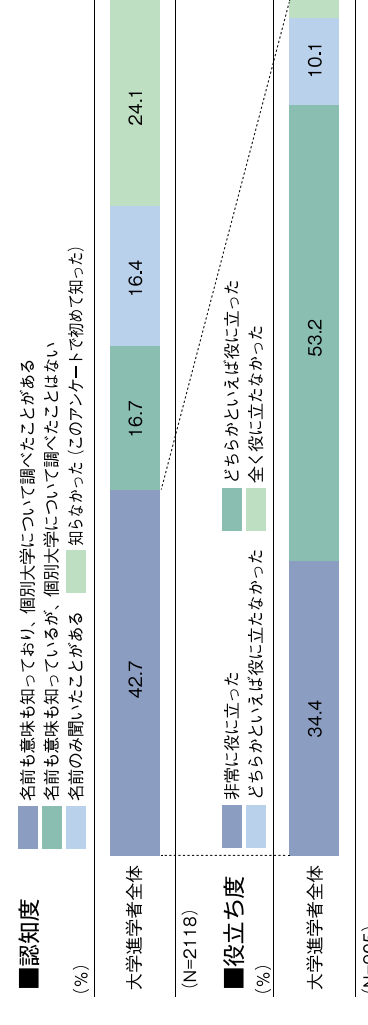
ている。しかし積極的に参加したいものとはなっていないかったようだ。このように多くのOCに参加することが叫ばなかった21卒の高校生だが、実際に進学した大学のOCには参加できているのだろうか。

図表6で進学先へのOC参加経験を聞いた結果を示しているが、35%の学生はOCに参加することなく入学を迎えている状況であることが分かる。これは、進学センサス2019よりも6.8ポイント増えたという結果だ。一般選抜においては、半数近い学生はOCに参加していない。OCでの体験・体感を通じて自分に合う

大学かどうかを決める学生が多いことを鑑みると、その経験を経ずに入学したことによってアンマッチ感を抱き、ひいては中退につながるリスクも懸念される。

一方、リアル開催・WEB開催いずれかの形でOCに参加したと回答している学生は6割以上だが、このうちリアル参加は46%であり、リアル参加できていない学生は、求めている「雰囲気・校風の体感」が得られないままに入学している可能性がある。ちなみに、大学がどのような学生を求めているかという情報は収集できていたのかを、図表7の「アドミッ

図表7 アドミッション・ポリシーの認知度と役立ち度(単一回答)
(役立ち度:アドミッション・ポリシー「名前も意味も認知しており、個別大学について調べたことがある」回答者/単一回答)
個別校のAPを調べた高校生が6割に及ぶ。役立ち度も高い。



名前も意味も知っており、個別大学について調べたことがある
名前も意味も知っているが、個別大学について調べたことはない
名前のみ聞いたことがある
知らなかった(このアンケートで初めて知った)

非常に役に立った
どちらかといえば役に立った
どちらかといえば役に立たなかった
全く役に立たなかった

21卒

参加・計	うちリアル参加経験	うちWEB参加経験	参加していない
64.7	46.1	30.2	35.0
53.6	39.1	24.3	45.7
86.9	65.6	38.5	13.0
72.5	48.8	35.9	27.5
75.2	51.8	36.5	24.9
64.6	47.6	28.0	34.1

ション・ポリシー(以下AP)の認知度と役立ち度」から推察してみる。APについては、高3だった21卒では60%が「名前も意味も知っており、個別校について調べてきたことがある」と回答していることから、一定浸透しているようだ。またAPを知っている高校生のうち、「役に立った」という回答は9割近くにもなった。高校現場でもAPの内容を活用して志望校検討をする進路指導が年々進んでおり、このコロナ禍においても少しずつではあるが情報収集段階において不可欠なものとなってきていることの流れかもしれない。

21卒

役に立った・計	役に立たなかった・計
87.6	12.4
2.3	10.1

2 志望校決定、出願や入試への影響

安全志向・地元志向 色濃く

情報収集段階においては少なからずコロナウイルス感染拡大が影響していたが、その後の志望校決定や出願や入試の段階においてはどのような影響したのかを見たところ、高校生がリスクを回避した安全志向が垣間見える結果となった。

図表8は「コロナの影響を受けて第一志望校を変更したか」を尋ねたものだが、9割近い学生はコロナによる影響は「ない」という回答をしている。しかし、第一志望を変更した理由についての問いに対しては、「学力に合わせた」が最も多く、次いで「興味のある分野が変わった」「取りたい資格が変わった」「経済的な事情」「地元に残るため」と続いており、第一志望校変更においてコロナウイルス蔓延が社会に与えた被害が遠因となっている可能性は否定できない。

特にアーバンとローカル^{*2}と比較すると、「地元を出るつもりだったが

残ることにした」「移動を伴う都市部での受験を避けるため」には10ポイント以上の差があり、コロナが影響し、地元への残留率が高まった理由となったと推察される。

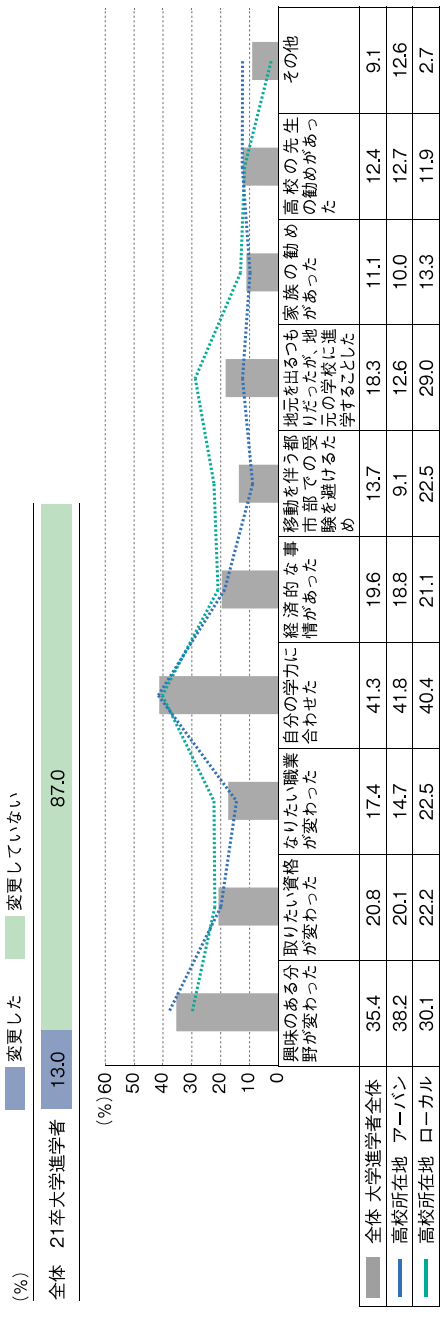
次に、出願の状況を見てみたい。高校生一人当たりの出願件数については、図表9にある通り進学センサス2019と比較して減少している。出願を1件に絞る学生が増加しており、エリア別では南関東で平均出願件数が約2件近くも減少している。これは、指定校推薦合格者が増加（後述）して専願合格者が増えたこと、総合型選抜も含め年内入試と一般入試との併願が減少した可能性が影響していると考えられる。出願校数については微減にとどまったという結果が出ているが、出願校が「地元の学校」「地元外の学校」かについて見てみると（図表10）、「地元の学校のみ」が進学センサス2019と比較すると、大学進学

者全体では1.5%微増にとどまるが、アーバン／ローカルで比較すると、ローカルの高校生は「地元の学校のみ」に出願したと回答した高校生が進学センサス2019（「家から通えるエリアの学校のみ」と比べて13.9ポイントも増加しており、エリアを越えた進学を控えた傾向があることにも、コロナ感染拡大の影響が推測される。

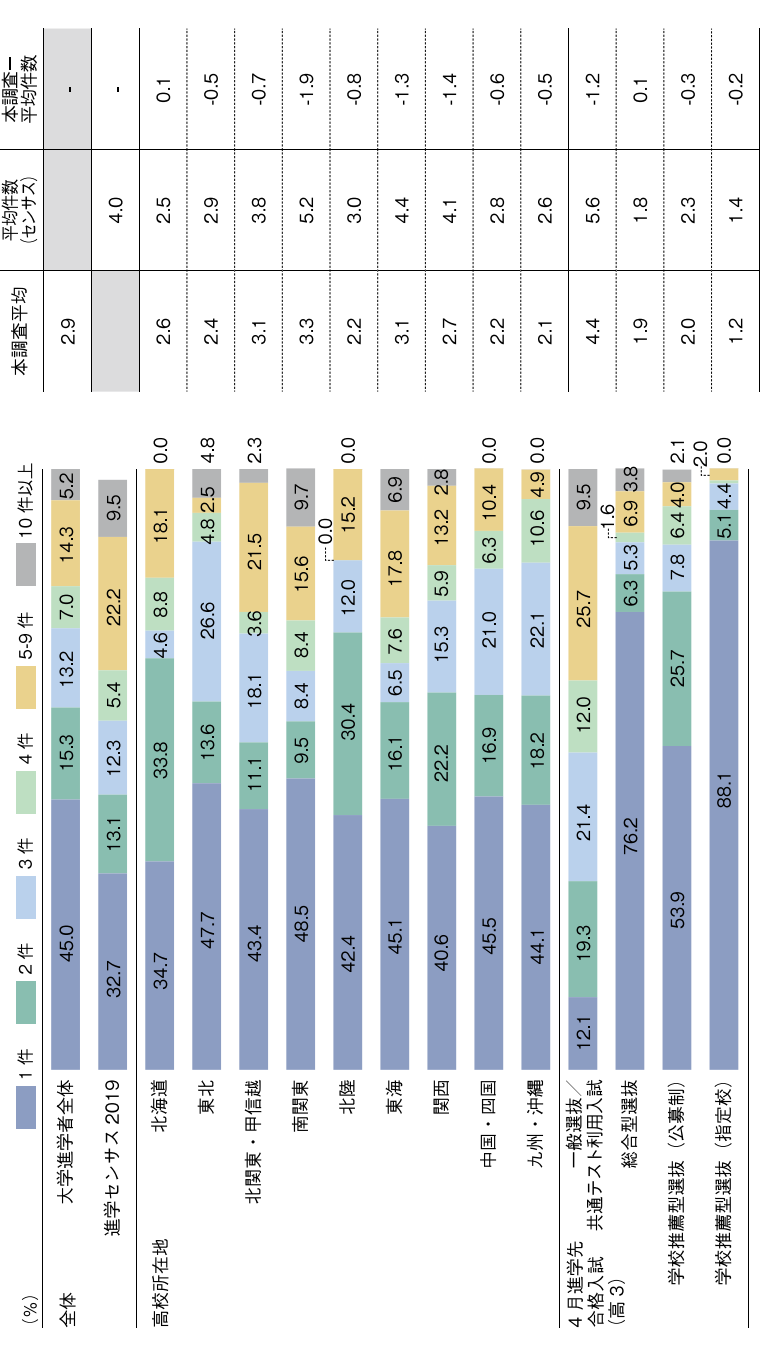
続いて、進学先への入試方法への影響を見てみると、進学センサス2019と比較して指定校推薦が7.2%プラスと大きく増えた一方、一般／共通テストで合格した学生は7.8%減少している。年内入試へのシフトはさらに強まっている。もちろんコロナの影響のみが理由ではないが、安定を志向して年明け入試を敬遠したことが窺える（図表11）。

出願や入試といった「進学先を決定する」段階でも、直接・間接にコロナによる影響があったと思われる。

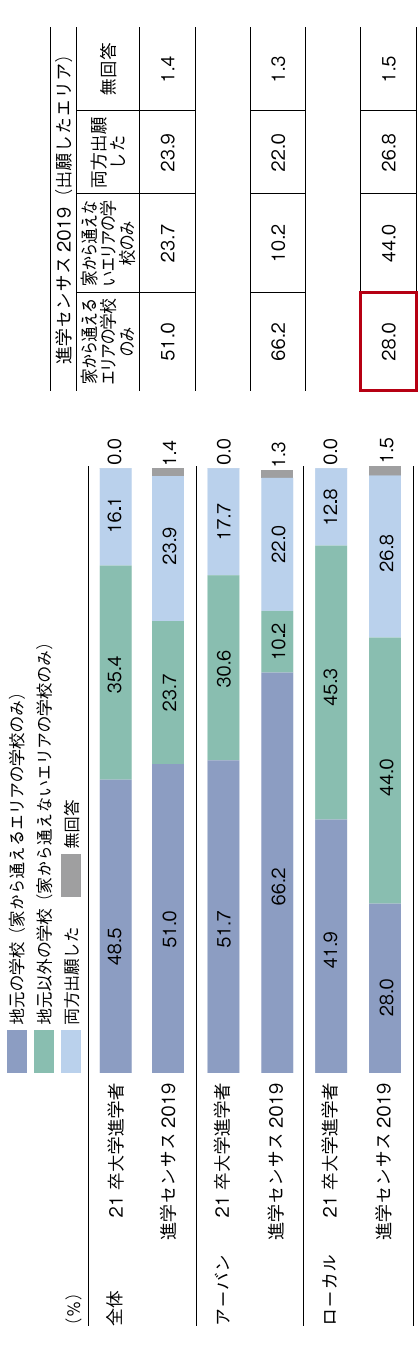
図表8 新型コロナウイルス流行の影響を受けて、第1志望校を変更したか(単一回答)/変更の理由(複数回答)
直接的なコロナ影響はないとしながらも、変更理由にコロナ影響が窺える。



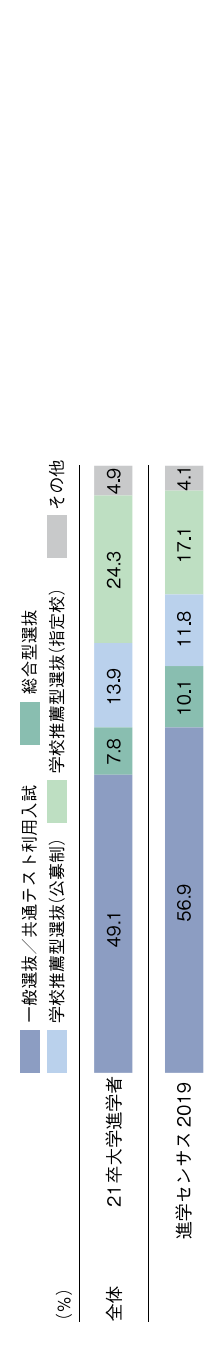
図表9 出願した件数(単一回答)
件数は減少。指定校推薦合格が増えたこと等が影響か。



図表10 進学先として「出願した学校」のエリア(単一回答)
ローカルの高校生の地元志向が強くなっている。



図表11 進学先へどのような入試方法で合格したか(単一回答)
指定校推薦が増え、一般選抜共通テストが減少。



3 自分らしい、納得のいく進路選択はできたのか

微妙な満足度 「学びたい分野を学ぶが叶う大学」を知る情報提供を

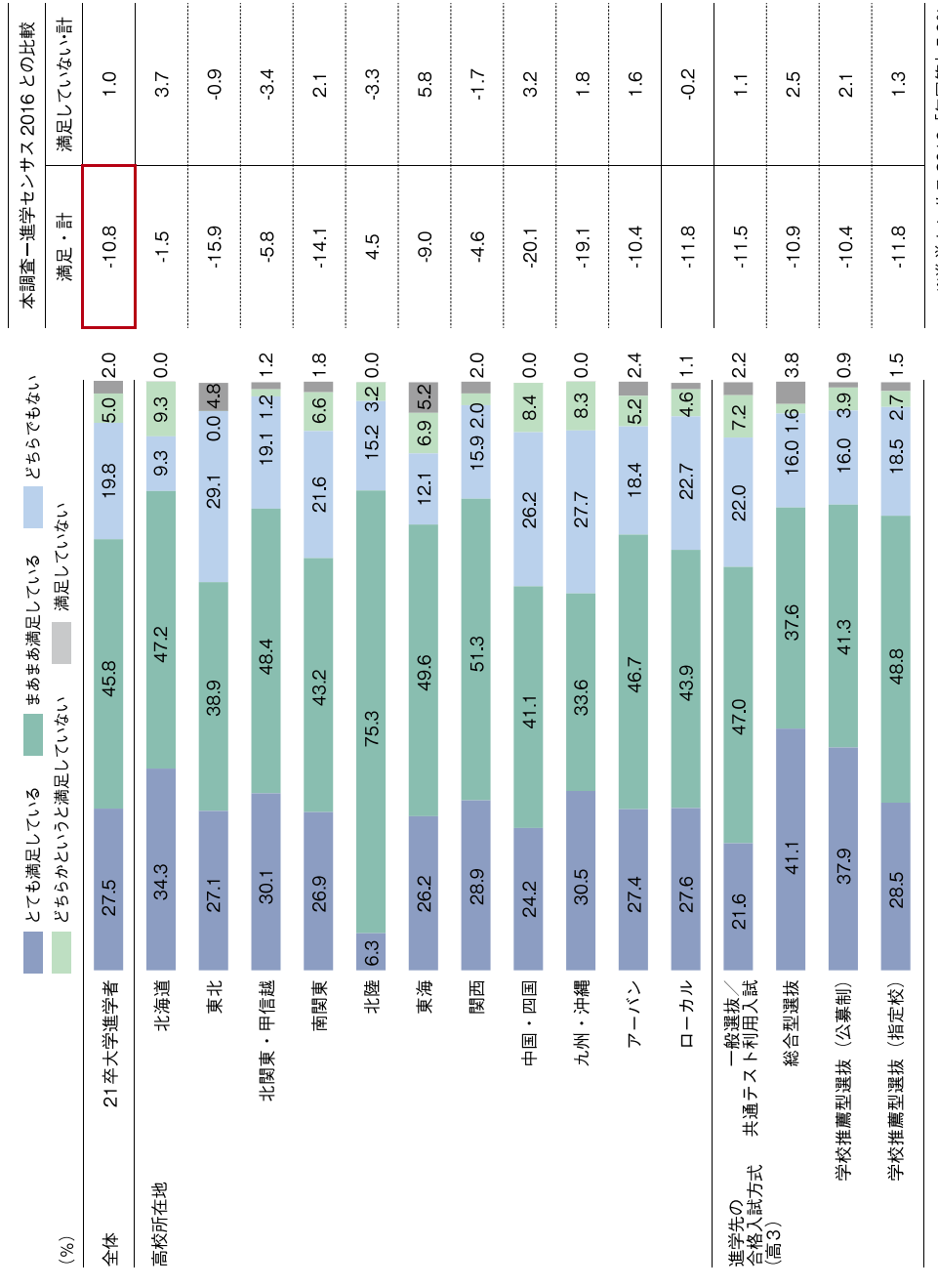
図表12はコロナ禍での進路選択活動を振り返っての満足度を21卒の高校生に尋ねたものである。今回「とても満足している」「まあまあ満足している」の合計は約7割。同様の設問を2016年の調査(「進学センサス」)で聞いており、その結果と比較すると、エリアにばらつきはあるものの、平均で10ポイント以上減少していることが分かった。選択肢の内訳を見てみると

「とても満足している」が17ポイント減少、「どちらでもない」が10ポイント増加、「満足していない」はほぼ変わらないことから、コロナによって進路検討が十分にできなかったことで、満足～どちらでもないという不完全燃焼な状態が感じ取れる。

図表13に示したのは、「キャンパスに行くOC」「WEB OC」に期待すること、とを尋ねた結果である。21卒・22卒と

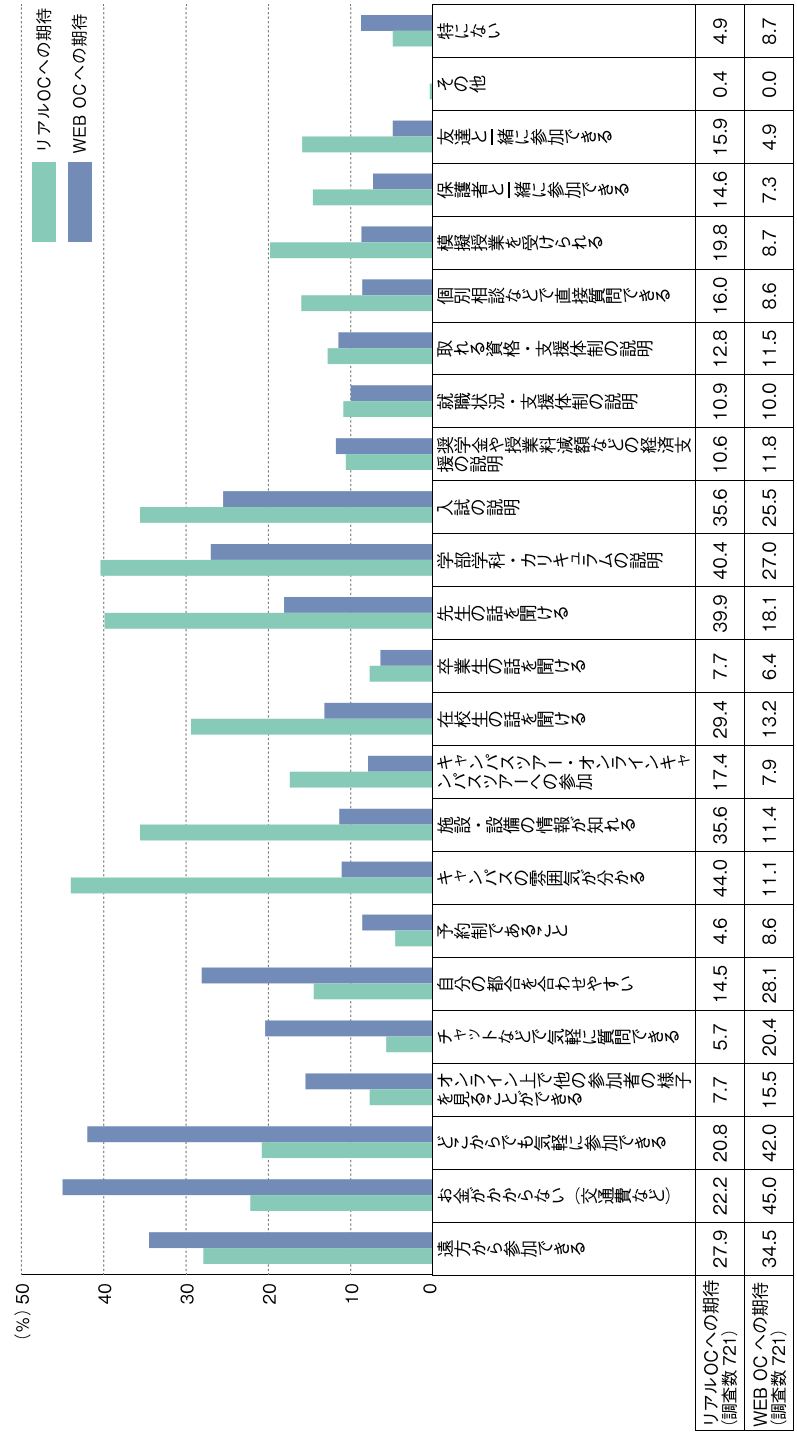
もに、リアルOCに対しては「キャンパスの雰囲気」「学部学科のカリキュラムの説明」「先生の話」に期待し、WEB開催においては「お金がかからない」「どこからでも参加可」「遠方からでも参加可」と、それぞれに良い点を認識しているようだ。WEB OCに対する参加意向が振るわないことについては前述したが、WEBならではのメリットも高校生は理解している。WEB OC経験者

図表12 新型コロナウイルス流行禍での進路選択となったが、最終的な進路選択活動を振り返って、どのくらい満足しているか (単一回答) 5年前と比較すると、満足度は大きく減少している。

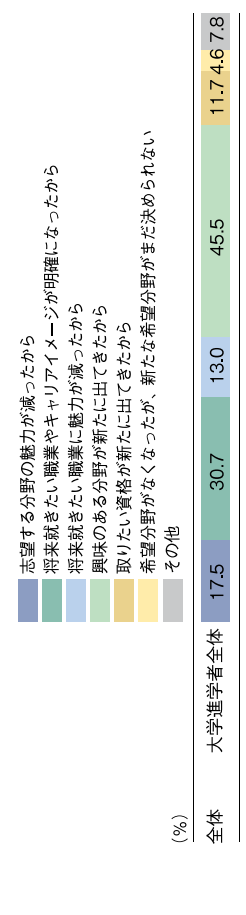


※進学センサス2016「無回答」50%

図表13 「キャンパスに直接行くOC」「WEB OC」それぞれに期待すること (複数回答) リアルOCとWEB OC、それぞれ期待することが異なる。



図表14 分野の変更理由 (複数回答/ 志望分野変更者のみ) 興味のあること、将来やりたいことを重視して変更した高校生が多い。



がまだ多くはないことは、情報伝達の伸びし余地とも捉えられる。ネットの利点を生かしたコミュニケーション設計次第でWEB OCが高校生に対する有効な情報提供の機会となる可能性はありそうだが、また、WEB OC上で大学の学びの一部を実感することは、オンラインコミュニケーションが教育のニューノーマルとなる今、大学入学後の満足度にもつながるかもしれない。

最後に、分野を変更した高校生に対してその理由を聞いた結果を紹介したい(図表14)。1位が「興味のある分野が新たにでてきたから」、次いで「将来就きたい職業やキャリアイメージが明確になったから」と前向きな理由が上位となった。このコロナ禍において、行動の制約や様々なリスクを感じながらも、未来のために自分らしい進学をしたいというこの思いを実現できる場

づくりをすることがポストコロナにおける高等教育機関の役割となるのではないだろうか。 (文/ 金剛寺 千鶴子)

※1 リクルート進学総研「進学センサス2019」
http://souken.shingakunet.com/research/2019/07/post-e63f.html
※2 以下の都道府県をアーバンとして定義し集計した。(その他をローカルと定義)
埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国提携大学からの編入学生の受入れ状況（過去3か年）

	長春師範大学	浙江農林大学	四川外国語大学 成都学院	華南理工大学	合 計	過去3年の平均
2019年度	3	1	6	—	10	11.3
2020年度	7	3	9	1	20	
2021年度	0	0	4	0	4	

- 長春師範大学（2007年9月締結）
- 浙江農林大学（2008年11月締結）
- 四川外国語大学成都学院（2011年7月締結）
- 華南理工大学（2018年12月締結）
- 長春財経学院（2021年5月締結）

相愛大学 音楽学部

学生募集中期計画

2020年3月 策定

目次

1. 「学生募集中期計画」の策定にあたって	2
I. はじめに	
II. 音楽学部の現状	
III. 音楽学部の将来構想	
2. 学生募集の目標人数.....	4
I. 入学者数推移	
II. 専攻・楽器別の目標人数	
3. 学生募集戦略.....	5
I. 学部全体の取り組み	5
II. 専攻・楽器別の取り組み	7

1. 「学生募集中期計画」の策定にあたって

I. はじめに

相愛大学音楽学部（以下、音楽学部という）は、1958年に前身である相愛女子短期大学音楽科を発展させ、4年制大学（相愛女子大学音楽学部）として設立された当初から、建学の精神とされる「當相敬愛」の精神に基づく教育・研究を展開して参りました。それは、現在の学則における目的及び使命にも継承され、第1条に「本学は大乗仏教特に浄土真宗の精神に基き、宗教的情操を涵養し広く知識を与えるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させることを目的とする。」と謳われています。

しかし、昨今の日本社会ではクラシック音楽を取り巻く環境が変化し、これまでのようなクラシック音楽文化を継続することが困難となってきています。こうした状況の中で、私どもの伝統ある音楽学部の目的及び使命を達成していくために、此の度、「相愛大学音楽学部学生募集中期計画」を策定することといたしました。

II. 音楽学部の現状

学則に記載された、この教授研究を推進するにあたっては、基本となる学部規模の維持、とりわけ学生の収容人数の確保が不可欠です。その検討には、学部構成の抜本的再考が先決であるといった意見もありますが、今回の中期計画においては現在の専攻を単位とする構成（1学科10専攻）の改組については検討せず、現状の学部構成の上での収容人数の確保について検討し、その目標を達成するための戦略を定めていくことといたしました。

その上で、近年の入学者数を振り返ったところ、音楽学部は過去5年以上に亘って定員を満たすことができず、収容定員を割り込んでいるのが現状です（2.-I.入学者数推移を参照）。この状況が続けば、音楽学部がめざす学部の教育研究上の目的の達成がおぼつかなくなるのは言うまでもありません。そこで、この「中期計画」では、専攻より小さな単位（＝楽器などによる区分）において学生募集に関する数値目標及び行動目標を定め、その実現によって窮屈な状態にある現状からの回避をめざす方策などを検討しています。

III. 音楽学部の将来構想

今回の「中期計画」は、音楽学部学生募集対策検討会議と音楽学部入試委員会とが協力して策定に当たっています。その前者は2017年11月に金児学長の指示の下に立ち上げられ、6回の検討を重ねて参りました。

そこでは今回の「中期計画」に同種の行動戦略が数多く提案され、もしそれらが実施されていたならば入学者数において現在のような状況とは異なったものになっていたと思われまゝ。しかしながら、その戦略は実行に移されず、目標の達成には到りませんでした。と申しますのは、具体的な行動戦略がいくつも挙げられたにもかかわらず、それらの殆どを行動に移すことができなかった、換言すれば立案するに留まったのでした。

今回はその轍を踏まないように、戦術に次に示す大幅な変更を加えました。まずは学生募集戦略を①学部全体の取り組みと②専攻・楽器別の取り組みとに分け、共に実行性のある取り組みが可能となるようにいたしました。例えば①学部全体の取り組みの一つとして掲げた「オープンキャンパスの内容の強化」では、オープンキャンパス各回で、学部全体で取り組む音楽学部の魅力を発信するテーマをプレゼンスし、加えて次年度から始まる総合型選抜入試とタイアップさせた展開を図ります。また②専攻・楽器別の取り組みでは、各専攻等がめざす学生確保数を掲げ(2.-II. 専攻・楽器別の学生募集目標人数を参照)、その目標を完遂させる取り組みを列挙いたしました。その取り組みの総数はおよそ60項目に上ります。

このような学部全体で取り組む、並びに目標とする学生確保数を明確にするといった戦術は、それぞれの事業の実施者に緊張感が生まれ、事業の実行性が高まるものと思われまゝ。加えてその事業それぞれの進捗状況を学科会等で公表することによって、教員間で学生募集に対する意識の共有を深めて参りたいと思います。また学生募集の取り組みを学部全体と専攻・楽器別とに明確に分類した戦略は、学部全体の取り組みに当たる担当者を明らかにし、先の音楽学部学生募集対策検討会議では曖昧であった状態を明瞭にいたします。ただ先の会議で取り上げられた「人手不足」につきましては今回も解消されているとは言えません。それに対しましては取り組む項目をより吟味し、学生募集の効果がより見込まれる項目に注力して対応していきたいと思ひます。

本学音楽学部は、学則第2条-2の一節に「音楽人的文化力を通じて、日本の情操社会の水準向上に貢献することを目的とする。」と明記されていますように、日本のクラシック音楽文化と深く関わっています。現代日本のクラシック音楽文化を取り巻く環境が変わっていかうとする中、本学音楽学部は入学定員の確保に向け一丸となって努力し、充実した環境の下でクラシック音楽の真髄を提供していきたいと考えています。

令和2年3月

相愛大学音楽学部長 黒坂俊昭

2. 学生募集の目標人数

近年の入学者数の推移を受けて、音楽学部学生募集の目標人数を102名とする。また、目標達成に向けて内訳を明確化し、各専攻・楽器別に目標人数を定める。

I. 入学者数推移 ※平成23年～（音マネ含む）

平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
119 定員数:120	109 定員数:120	82 定員数:120	106 定員数:170	106 定員数:170	105 定員数:170
平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和1年
74 定員数:150	86 定員数:150	70 定員数:150	92 定員数:120	69 定員数:100	59 定員数:100

II. 専攻・楽器別の学生募集目標人数

声楽	ピアノ	創作演奏	オルガン	フルート	クラリネット
8	15	5	1	5	5
オーボエ	サクソ	ファゴット	トランペット	トロンボーン	バス トロンボーン
1	5	1	4	3	1
ホルン	ユーフォ ニアム	チューバ	ヴァイオリン (ヴィオラ含)	チェロ	コントラバス
2	2	1	6	2	2
打楽器	古楽器	作曲	アート プロデュース	音楽学	音楽療法
5	1	3	15	3	6
				合計	102

3. 学生募集戦略

I. 学部全体の取り組み

(ア) オープンキャンパス内容の強化

- i. オープンキャンパスと各専攻のコンサート関係づける。名曲コンサートやポップスコンサート、教員と大学生によるミニコンサートなど、年間で多数行われている学内コンサートを広報ツールのひとつに位置づけ、オープンキャンパスでの高校生動員数を増やす。
- ii. 現行のオープンキャンパスではワンポイントレッスンのみであるが、次年度より総合型選抜入試が導入される。Web・SNSやチラシなどの広報媒体では、ワンポイント・アドバイスレッスン並びに総合型選抜入試の内容や位置付けを明確化し、目的の異なる高校生に分かりやすい入試への導線を引く。また、助手と教員が連携し、高校生の満足度が高いプログラムを構成するために、計画・実行・評価・改善を繰り返して質の向上に努める。

(イ) 指定校訪問・高校相談会の見直し

- i. 現行の指定校訪問は、入試課職員と同様に各専任教員が指定校である高等学校にアポイントを取り5月～7月初旬にかけて訪問、進路指導の教職員あるいは音楽担当の教員に挨拶をするという内容で実施している。しかし、改めてその効果を細分化して考えると、この実施方法は必ずしも効率的ではない。また管弦打楽器専攻では、指定校にある吹奏楽部との繋がりを独自に持っているため、高校生と直接コンタクトが取れないその場限りの指定校訪問では効果が期待できないという意見もある。「指定校との繋がり」を指定校訪問という単一的な営業システムのみではなく、そのシステムを導入しつつ、音楽学部専任教員・入試課それぞれが有効的なアプローチをするためにどのような取り組みを行うべきか、その内容を再検討し、実行する。
- ii. 高校相談会は、高校生と直接コンタクトがとれる最良の機会である。機会を逃さず訪問を行い、さらに各高校の基本情報をもとに適材適所を心がけ、訪問の有効化を図る。

(ウ) 高校および同窓会（沙羅の木会）等との連携

- i. 中学・高校・音楽教室が実施している行事に関連した催しを企画する。大学教員や大学生によるミニコンサートやデモンストレーションまたオルガン見学会などを企画し、相愛高校や音楽教室からの大学進学率向上を図る。

- ii. 沙羅の木会を通じた講習会を各所で開催し、沙羅の木会との連携を強化する。

(エ) 各種演奏会を広報媒体として位置づける

- i. オープンキャンパスに限らず、学内でおこなう各種演奏会やイベントを高校生募集のための広報ツールとして位置づける。イベントごとに作成するフライヤーの一部にオープンキャンパスやワンポイント・アドバイスレッスンへの案内を記載するなど、イベント自体を有効活用し、ひとりでも多くの高校生に足を運んでもらえるよう工夫をする。
- ii. 大学運営サイドと協力をして、宣伝・広報費の確保を目指す。

(オ) 非常勤の見直し

- i. 著名な非常勤講師の採用（枠）の検討。

(カ) 施設整備

- i. カーテンの洗濯或いは新調。
- ii. トイレの改修及びドレッシング・ルームの設置。
- iii. 練習室の環境改善或いは見直し。

(キ) その他

- i. カリキュラムの見直し。
- ii. 資格、ディプロマ・コース導入検討。

II. 専攻・楽器別の取り組み 【◎は実施計画がある項目】

(ア) 声楽専攻（目標人数：8名）

声楽専攻では入学者目標8名を実現するため、以下の通り学生募集活動を展開する。

- ◎ 現在行なっている連携の他に、中・高校・音楽教室が実施している行事（実技試験、オープンスクール、定期演奏会等）に関連させたプログラムを企画。（教員と大学生によるミニ・コンサートやデモンストレーションなど）。
- ◎ 教員と学生の合同コンサートを開催する。学生の活躍の場を増やし、まずは学生が生き生きとした演奏活動をしている様子を発信する。その場をプロである教員と共演ができる、このような教員がいるなど、声楽専攻の教員や学生の様子が一様に紹介できる場として活用することを目的とする。
- ◎ 管弦打楽器専攻に比べ、学生の外部への発信が少ない声楽専攻の活性化。音楽劇等の発表を南港、本町、または出張演奏にて実施。
- ◎ 高校生向けの無料声楽ワークショップを本町で実施する。最終的には非常勤を動員して3日間のワークショップを行う。
- ◎ オペラ公演のプレトークを様々なコンサートやイベントの前に実施する。声楽専攻では、年に1度の学内公演にてオペラ公演を開催している（2020年度は2021年3月を予定）。年間におこなう学内外のコンサート・イベントにてチラシを用いた挟み込みの広報に加え、オペラ公演に出演するキャスト（学生）が舞台上で役柄になりきって宣伝を行う。高校生や来場者に楽しんでもらい、オペラ公演の存在を印象付けることを目的とする。プレトークは、オペラの活きた宣伝となる。
- ◎ 4回生リサイタルのハーフプログラムを一般公開のコンサートとして位置付ける。
- 地域連携事業を行う。災害復興支援チャリティーコンサートを行う。可能であればピンポイントで全国展開する。マスメディアとコラボさせることも検討（関西ローカル放送やラジオ、youtube等）
- 地方有力高校（四国・中国地方、九州）への出張レッスン・コンサート（初年度は3か所からスタート）の積極的な広報。
- 高校生のためのコンクールを開催。資金調達面で困難を強いる内容のため、今後の課題として提唱する。

-本町の講堂を開催場所として使用

-優勝をすれば奨学生の権利を与える

-イタリアにおける提携校での夏期講習費を免除する

-相愛にゆかりのある作曲家で指揮者の山田耕筰をネーミングの対象にする

-レベル（質）の高いコンクールとしての位置付けが必要

など、アイデアの段階ではあるが、上記のような「相愛らしい特色を持った高校生対象の音楽コンクール」が開催できればと、検討している。

(イ) ピアノ専攻（目標人数：15名）

ピアノ専攻では入学者目標15名を実現するため、以下の通り学生募集活動を展開する。

- ◎ コンクール等のアドバイスレッスン。（和歌山で実施したような講習会を行い、そこでコンクールを受けたり本番を控えたりする生徒のアドバイスレッスンを行う。沙羅の木会と協力をして実施し、沙羅の木会との連携を深めていき生徒獲得につなげたい。）
- ◎ 沙羅の木会との連携強化を図り、アドバイスレッスンや講習会などを各所で開催することを計画する。（11月南港ホールで沙羅の木演奏会を予定）
- 学外での教員コンサート。（専任を含め、演奏活動を華々しくされている非常勤の先生方にもご協力いただき学外でコンサートを行い、相愛のピアノ専攻をアピールしていく。その際、宣伝などで沙羅の木会に協力をもとめ、こちらでもつながりを深めていき学生獲得につなげたい。）
- 関西圏で生徒数の多い（受験生を多く持っているであろう）教員のスカウト。
- 関西圏の楽器店を中心に専攻パンフレットを配り、オープンキャンパスの案内をする。（楽器店などにおいてもらうことによって、相愛のピアノ専攻を知っていただく。また、一人でも多くの方にまずはオープンキャンパスに来ていただく。そして受験生確保につなげる。）
- 学生からの発信も積極的に計画する。学生を連れてのコンサートと同時にアドバイスレッスン、専攻のコンサートなどを計画。

(ウ) 創作演奏専攻（目標人数：5名）

創作演奏専攻では入学者目標5名を実現するため、以下の通り学生募集活動を展開する。

- ◎ 関西を中心に講習会を実施する。場所は企業の楽器という特異性からヤマハ、特約店の協力を得て開催する。

- ◎ 卒業後のサポートおよび広報の一環も含め、成績優秀者は CD 制作の機会を得ることができるとなるような授業外プロジェクトを構築する。
- 創作演奏専攻は演奏学科であるが、現在、学生・教員の演奏会がない。中学生や保護者、一般の方々が興味のあるアーティストの演奏会を開催する。
- オープンキャンパスにて教員や在籍生でイベントを企画する。高校生が入試に向けて勉強ができる内容でワークショップなどを行う。

(エ) オルガン専攻 (目標人数：1名)

オルガン専攻では入学者目標 1 名を実現するため、以下の通り学生募集活動を展開する。

- ◎ オルガン見学会を開催する。オルガンの仕組み・構造などを説明し、オープンキャンパスに合わせて実際に演奏体験をしてもらう機会を設ける。
- オルガンコンサートを定期的に開催する。
- 相愛中学・高校生に向けて、パイプオルガンに触れる機会を作る。
- オルガン専攻のパンフレットを作成。

(オ) 管楽器専攻 木管楽器

(目標人数：フルート 5 名、クラリネット 5 名、オーボエ 1 名、ファゴット 1 名、サクソ 5 名)

木管楽器では、上記の入学者目標を実現するため、以下の通り学生募集活動を展開する。

- ◎ 相愛ウインドオーケストラ課題講習会の際に有名講師を招く。講習会の質の向上・内容の充実が期待され、講習会の参加校が増えることを目的とする。
- ◎ 例年、入学生が多い高円高校音楽科や滝井高校吹奏楽コースを中心に、他校においても本学卒業生や教え子たちとの連絡を密にし、音楽方面への希望動向を把握するよう務める。
- ◎ 毎日学生コンクールの大阪大会で相愛大学特別演奏コース奨学生推薦入試を宣伝する。(チラシなど)
- 非常勤講師の先生に師事している高校生を相愛大学へ呼び込んでもらうために学生募集の依頼をする (お声がけ、メール BOX に挨拶・依頼文を投函するなど)。
- 高校生が来場するイベントプログラムに相愛大学の情報をピックアップしてもらうなど、広告での広報を強化する。

- 在学生の出身校にアプローチをする。
- 本学に入学した自分の未来像を的確に伝えるために、優れたアンサンブルやソロを聞かせるべく高校に出向くようにする。（出張費や謝礼が必要となる。）

(カ) 管楽器専攻 金管楽器

(目標人数：トランペット 4 名、トロンボーン 3 名、バストロンボーン 1 名、ホルン 2 名、ユーフォニアム 2 名、テューバ 1 名)

金管楽器では、上記の入学者目標を実現するため、以下の通り学生募集活動を展開する。

- ◎ オープンキャンパスでのワンポイントレッスンで講師不在の場合、別日を設定し、学生の取りこぼしがないよう留意する。音大受験希望者であれば、出張レッスンも可能とする。
- ◎ 大学管弦打楽器指導教員が相愛高校吹奏楽部を指導し、大学教員との繋がりで相愛大学への進学者を増やす。
- 相愛高校において音楽科のみならず、普通科の吹奏楽部にアプローチをおこなう。
- 本学教員（専任のみならず非常勤講師含む）と志願者の接点を増やし、師弟関係を早期に構築するための講習会を実施する。出張レッスンを増やす。
- 相愛オーケストラ及びウインドオーケストラの公演や各種アンサンブルの演奏会に高校生を無料招待する。可能であれば、高校吹奏楽部全員の招待を希望する。

(キ) 弦楽器専攻 (目標人数：ヴァイオリン・ヴィオラ 6 名、チェロ 2 名、コントラバス 2 名)

弦楽器専攻では、上記の入学者目標を実現するため、以下の通り学生募集活動を展開する。

- ◎ コントラバス：各高校の吹奏楽団、高校オーケストラなどに学校案内などを送る。オープンキャンパスでコントラバスの先生のワンポイント・アドヴァイスレッスンを受けられるということを周知する。
- ◎ 毎日学生コンクールの大阪大会で相愛大学特別演奏コース奨学生推薦入試を宣伝する。(チラシなど)
- 教員、卒業生、在校生によるチェロアンサンブル演奏会を学内で開催してきたが、小規模なものでも引き続き開催の機会を模索する。
- 吹奏楽講習会などの機会に、コントラバスの募集をする。

(ク) 打楽器専攻 (目標人数: 5人)

打楽器専攻では、入学者目標5名を実現するため、以下の通り学生募集活動を展開する。

- ◎ 主に関西を中心に四国、九州、中国、中部圏、吹奏楽連盟やパール楽器、ヤマハ楽器など関連楽器メーカーと連携する。吹奏楽講習会や打楽器講習会に参加し、打楽器を学ぶ中高生に直接指導を行い、相愛大学音楽学部打楽器専攻との関係を深めるよう努める。
- ◎ 相愛大学打楽器専攻の卒業生(沙羅の木会)との連携。毎回の公演に相愛大学打楽器専攻専任中谷満として演奏会に独奏や指揮者として参加し、卒業生との連携を深めている。成果として沙羅の木推薦入試枠での打楽器入学者の増加につながっている。
- ◎ 現役生に対する日常での音楽的、人間的関係性を重要とし、在籍期間の学生生活の充実に努める。
- ◎ 相愛大学打楽器専攻打楽器アンサンブル公演の充実を図る。

打楽器アンサンブル公演…関西の吹奏楽部所属の中学生打楽器学生が、相愛大学打楽器専攻の充実した演奏を鑑賞し、相愛大学打楽器専攻の憧れに繋がるよう努めている。

フライブルグ音楽大学…相愛大学打楽器専攻とフライブルグ音楽大学打楽器専攻との合同打楽器アンサンブル公演に参加。その後フライブルグ音大とも交流が続き、現役生や卒業生の留学に対する夢にも繋がっている。

- ◎ 相愛オーケストラの充実を図る。

毎年の相愛オーケストラ定期公演や、相愛ウインドオーケストラ、相愛ジュニアオーケストラ、相愛フィルハーモニアの公演の充実を図り、広くオーケストラや吹奏楽、弦楽アンサンブルに興味を持つ子どもたちの発掘や教育に努める。

- ◎ 関西地区の音楽高校や音楽コース及び吹奏楽コースや相愛高校音楽科との連携。

堀川高校(京都)・石山高校(滋賀)・高円高校(奈良)・県立西宮高校(兵庫)・夕陽丘高校(大阪)の学校訪問を行い直接打楽器専攻生との接点を持ち相愛大学打楽器専攻の特徴や学びの内容を伝え、入学に繋げるよう努める。

- ◎ SNSなどの情報発信で相愛打楽器専攻の今を発信。

相愛大学打楽器専攻のFacebookでの発信、「中谷満打楽器講座」をYoutubeで発信など既に実施している。

(ケ) 古楽器専攻 (目標人数: 1名)

古楽器専攻では入学者目標 1 名を実現するため、以下の通り学生募集活動を展開する。

- ◎ 古楽器フェスティバルや古楽器の演奏会などのプログラムなどに相愛大学古楽器専攻の宣伝を載せるなどし、相愛大学に古楽器専攻があるということをアピールすることから始める。

(コ) 作曲専攻 (目標人数: 3名)

作曲専攻では入学者目標 3 名を実現するため、以下の通り学生募集活動を展開する。

- ◎ 高校生対象の「音楽理論講座」…録画して YouTube で配信する。テキストを本学ホームページよりダウンロードできるようにする。諸経費 (10 万円)。
- ◎ 高校 3 年生向けの「受験作曲講座」…受験講習会後のフォローとする。
- ◎ 高校 1 年生、初心者対象の (6 人が限度)「作曲講習会」…本町のコンピュータを使用して夏に 3 日ほどの講習会 (担当は松本、コンピュータ音楽を専門とする檜垣先生を予定) を実施する。ピアノが弾けなければならない、楽譜が書けなければいけない、などの先入観を排除することが目的である。
- ◎ 「相愛作曲コンクール」を開催したい。作曲における大学知名度を上げるため。審査員謝礼、諸経費 (50 万円)。

(サ) 音楽学専攻 (目標人数: 3人)

音楽学専攻では入学者目標 3 名を実現するため、以下の通り学生募集活動を展開する。

- ◎ オープンキャンパスの際、専攻 (専門楽器) を持っていない来訪者に的を絞って、音楽学専攻の魅力を伝え、音楽学に興味を持っていただく努力をする。
- ◎ 分野別説明会に積極的に参加し、音楽学に興味をもつ高校生を発掘する。
- ◎ 上記の方法で知り得た受験生に対し、音楽学への理解を深めてもらうように説明する。
- ◎ 総合型選抜入試の利便性をアピールする。特に直接接触する受験生には、その方法による受験を強く勧める。
- 総合型選抜講義の内容を詳細に検討し直し、より興味ある講座に改定をする。

(シ) アートプロデュース専攻（目標人数：15名）

アートプロデュース専攻では入学者目標 15 名を実現するため、以下の通り学生募集活動を展開する。

- ◎ アートプロデュース専攻では総合型選抜入試の出願数を上げることに主眼を置き、総合型選抜入試への出願に繋げるために、以下の内容を踏まえた導線設計を行う。
- ◎ 分野別説明会に積極的に参加する。高校の教員や生徒にアートプロデュース専攻や総合型選抜制度に興味を持っていただき、オープンキャンパスの学生動員数増加に繋げる。
- ◎ オープンキャンパスでのコンテンツを充実させる。魅力発信プログラムの実施や学生の授業での成果物を展示するなど、オープンキャンパスに参加した高校生にアートプロデュース専攻の魅力を伝える展示物やプログラムを用意する。
- ◎ Twitter や Instagram など SNS の活用を行う。学生のアウトリーチ活動や、スタッフ運営の様子など、SNS を通じて学外に発信する。
- ITB (In the box) つまり「ポータブル」や「生活スペースでの制作」というビジュアルイメージを軸に、高校生が興味を引く広報媒体を作成する。また、実際に南港への持ち運びが可能なパソコンや機材を揃えることも視野に入れるなど、アートプロデュース専攻の授業運営の見直しを図る。

(ス) 音楽療法専攻（目標人数：6名）

音楽療法専攻では、次年度より教員の異動・新規採用があるため学生募集の目標人数と具体的な活動内容の策定を保留とする。

アンケート集計結果参照

アンケート実施期間：2021/04/05（月）11:10～2021/04/09（金）23:59

対象人数：111人 回答人数：105人 回答率 94.6%

新入生アンケート2021（人文学科）

※ 留学生の方は、このアンケートへの回答は 必要ありません。 ※

1 高校生の時に、よく利用していたターミナル駅はどこですか？
（乗換え、習い事などで途中下車、プライベートの移動も含む）

駅名	人数
・ J R 大阪駅	16人
・ 阪急 大阪梅田駅	10人
・ 大阪メトロ・御堂筋線 梅田駅	19人
・ 阪神 大阪梅田駅	3人
・ J R 天王寺駅	22人
・ 近鉄 大阪阿部野橋駅	6人
・ 南海 なんば駅	10人
・ 大阪メトロ・御堂筋線 なんば駅	16人
・ 近鉄 大阪難波駅	4人
・ この中には特に無い	41人

2 相愛大学の受験を決めたとき、同時に比較・検討していた大学を教えてください。（複数回答可）
選択肢に大学名がない場合は、下の記入欄に大学名を入力してください。
※五十音の順になっています。

大学名	人数
・ 愛知県立芸術大学	0人
・ 藍野大学	1人
・ 追手門学院大学	13人
・ 大阪青山大学	1人
・ 大阪大谷大学	20人
・ 大阪音楽大学	0人
・ 大阪学院大学	4人
・ 大阪教育大学	0人
・ 大阪芸術大学	5人
・ 大阪国際大学	3人
・ 大阪樟蔭女子大学	3人
・ 大阪城南女子短大	0人
・ 大阪女学院大学	1人
・ 大阪成蹊大学	3人
・ 大阪総合保育大学	0人
・ 大阪人間科学大学	5人
・ 大手前大学	7人
・ 関西外国語大学	0人
・ 関西福祉科学大学	4人
・ 関西学院大学	0人
・ 畿央大学	0人
・ 京都大谷大学	2人
・ 京都産業大学	0人
・ 京都女子大学	1人
・ 京都市立芸術大学	0人
・ 京都精華大学	1人
・ 京都橘大学	1人
・ 近畿大学	1人
・ 甲子園大学	1人
・ 甲南女子大学	0人
・ 甲南大学	4人
・ 神戸松蔭女子学院大学	0人
・ 神戸女学院大学	1人
・ 四條畷学園大学	0人
・ 四條畷学園短期大学	0人
・ 四天王寺大学	12人
・ 摂南大学	3人
・ 千里金蘭大学	0人
・ 園田学園女子大学	0人
・ 太成学院大学	1人
・ 帝塚山学院大学	10人
・ 帝塚山大学	3人
・ 東京芸術大学	0人
・ 同志社女子大学	0人
・ 同志社大学	0人
・ 常磐会学園大学	0人
・ 常磐会短期大学	0人
・ 梅花女子大学	5人
・ 羽衣国際大学	13人
・ 阪南大学	4人
・ 佛敎大学	5人
・ 武庫川女子大学	0人
・ 桃山学院教育大学	1人

- ・立命館大学 0人
- ・龍谷大学 9人

選択肢に大学名がない場合は、下の記入欄にお書きください。 [表示](#)

3 あなたが大学を選択する際、重視する項目は何ですか？（複数選択可）

項目	人数
・オープンキャンパスでの印象	44人
・知名度	2人
・交通の便の良さ	31人
・偏差値	6人
・資格取得	41人
・就職実績	10人
・教員	10人
・学部・学科の教育内容	53人
・クラブ・サークル活動	7人
・教室や図書館等の教育施設	18人
・食堂や売店、トイレ等の施設	16人
・大学周辺の環境	16人
・在学生の雰囲気	23人
・入試制度	17人
・学費	25人
・奨学金	12人
・学生数	4人
・歴史・伝統	3人

4 あなたが志望大学を具体的に考え始めたのはいつ頃ですか？

時期	比率	人数
・1年生	8%	8人
・2年生1学期	10%	10人
・2年生2学期	11%	11人
・2年生3学期	16%	16人
・3年生1学期	39%	40人
・3年生2学期	13%	13人
・3年生3学期	5%	5人

5 あなたが相愛大学を受験しようと思ったのはいつですか？

時期	比率	人数
・1年生	4%	4人
・2年生1学期	6%	6人
・2年生2学期	1%	1人
・2年生3学期	7%	7人
・3年生前の春休み	6%	6人
・3年生1学期	13%	13人
・3年生夏休み	24%	25人
・3年生2学期・推薦入試前	27%	28人
・3年生2学期・推薦入試後	4%	4人
・3年生3学期1月	4%	4人
・3年生3学期2月	3%	3人
・3年生3学期3月	2%	2人

6 あなたが相愛大学を初めて知ったきっかけは何ですか？以下から一つ選んでください。

きっかけ	比率	人数
・高校の先生から	29%	30人
・師事する先生から	3%	3人
・高校にある資料で	26%	27人
・校内ガイダンスで	3%	3人
・塾・予備校で	0%	0人
・両親や家族から	9%	9人
・友人や知人から	12%	12人
・インターネットHPで	5%	5人
・LINE	0%	0人
・Facebook	0%	0人
・Twitter	0%	0人
・YouTube	0%	0人
・Instagram	0%	0人
・進学相談会で	1%	1人
・進学情報サイトで	4%	4人
・進学情報誌で	5%	5人
・駅などで広告を見て	0%	0人
・雑誌などの広告を見て	0%	0人
・催しものに参加して	1%	1人
・その他	3%	3人
・SNSなどで	0%	0人

※その他と答えた人は下に記述してください。 [表示](#)

7 あなたの親・兄弟姉妹や親類の方に相愛（大学又は中高）出身の方はいますか？（複数回答可）

回答	人数
・親が相愛（大学または中高）卒業生	1人
・兄弟姉妹が相愛（大学または中高）卒業生または在学生	2人
・親類（祖母を含む）が相愛（大学または中高）卒業生	0人
・いない	101人

8 相愛大学の広告を見たことがありますか？（複数回答可）

広告の場所	人数
・駅または駅周辺で	6人
・雑誌や冊子の中で	4人
・インターネット上で	23人

・見たことはあるがどこかは覚えていない		12人
・見たことがない		61人

9 上の【8】で、相愛大学の広告を見たことのある方にお聞きします。これらは参考になりましたか？

	人数
・オープンキャンパス等イベント参加につながった	10人
・魅力的で、立ち止まって見た	2人
・見て内容を確認した	14人
・見かけたことがあるが内容は詳しく見ていない	7人
・見たことはあるが覚えていない	8人

10 インターネット上の進学情報サイトで利用したものを教えてください（複数回答可）

	人数
・スタディサプリ（リクルート）	32人
・マナビジョン（Benesse）	20人
・パスナビ（旺文社）	9人
・マイナビ進学	23人
・LINE進学（キャリアス進学）	4人
・エイビ進学ナビ	1人
・さんぼう進学ネット	1人
・上記以外のサイト	3人
・進学サイトを利用したことがない	38人

11 相愛大学のオープンキャンパスへは参加しましたか。また「はい」と答えた人は【12】でその印象を教えてください。

	比率	人数
・はい	80%	82人
・いいえ	20%	21人

12 オープンキャンパスに参加してどう感じましたか。以下のそれぞれについて、あなたにどの程度あてはまるかを教えてください。

12-1. 知りたい情報を得ることができた	比率	人数
・まったくあてはまらない	1%	1人
・あまりあてはまらない	3%	3人
・少しあてはまる	37%	32人
・あてはまる	58%	50人

12-2. 大学の雰囲気がいよと感じた	比率	人数
・まったくあてはまらない	1%	1人
・あまりあてはまらない	2%	2人
・少しあてはまる	31%	27人
・あてはまる	65%	56人

12-3. 大学の教室や図書館などの教育施設がいよと感じた	比率	人数
・まったくあてはまらない	4%	3人
・あまりあてはまらない	5%	4人
・少しあてはまる	44%	37人
・あてはまる	48%	41人

12-4. 大学の食堂や売店、トイレなどの施設がいよと感じた	比率	人数
・まったくあてはまらない	7%	6人
・あまりあてはまらない	19%	16人
・少しあてはまる	47%	40人
・あてはまる	27%	23人

13 入学以前に相愛大学のホームページを見たことはありますか？ また「ある」と答えた人は【14-1~4.】でその印象を教えてください。

	比率	人数
・ある	94%	96人
・ない	6%	6人

14. ホームページは「見やすかった」と感じましたか

	比率	人数
・まったくあてはまらない	1%	1人
・あまりあてはまらない	9%	9人
・少しあてはまる	43%	43人
・あてはまる	44%	44人
・ホームページは見たことがない	3%	3人

14-1. ホームページに「親近感」を持ちましたか？

	比率	人数
・まったくあてはまらない	4%	4人
・あまりあてはまらない	28%	28人
・少しあてはまる	44%	44人
・あてはまる	23%	23人

14-2. ホームページから知りたい情報を得ることができましたか？

	比率	人数
・まったくあてはまらない	0%	0人
・あまりあてはまらない	9%	9人
・少しあてはまる	55%	53人
・あてはまる	36%	35人

14-3. 相愛大学のホームページをどのようなきっかけで訪問・閲覧しましたか。（複数回答可）

	人数
・新聞の広告を見て	2人
・進学情報サイトのリンクから	24人
・進学情報誌を見て	14人
・駅周辺や電車内またはインタ	0人

インターネット上の広告を見て			
・学校や塾、予備校の先生に相			27人
愛大学の話を聞いて			
・親や家族との話の中で相愛大			16人
学が話題になって			
・その他			28人
15 あなたが所有しているデジタルツールについてお聞きします。			
スマートフォンをお持ちの方で、毎月契約している通信容量を教えてください (必須)	比率	人数	
・1GB~3GB	21%	22人	
・5GB~10GB	36%	38人	
・20GB~30GB	23%	24人	
・40GB以上	20%	21人	
・持っていない	0%	0人	
15-1. スマートフォン以外に、あなたが持っているデジタルツールを教えてください (複数回答可)			
		人数	
・自分専用のデスクトップPC		11人	
・自分専用のノートPC		50人	
・家族と兼用PC		17人	
・iPad等のタブレット端末		30人	
・いずれも持っていない		24人	
15-2. 自宅のパソコンはインターネットにつながりますか？			
	比率	人数	
・つながる	79%	82人	
・つながらない	1%	1人	
・パソコンを持っていない	20%	21人	
15-3. 自宅はWi-Fi環境ですか？ (必須)			
	比率	人数	
・はい	97%	102人	
・いいえ	3%	3人	
15-4. あなたが利用しているSNS (ソーシャルネットワークサービス) を教えてください (複数選択可)			
		人数	
・LINE		102人	
・Facebook		17人	
・Twitter		75人	
・Instagram		65人	
・YouTube		87人	
・TikTok		32人	
・その他		5人	
・利用していない		0人	
15-5. あなたが普段もっともよく使っているSNSはどれですか？			
	比率	人数	
・LINE	40%	42人	
・Facebook	3%	3人	
・Twitter	23%	24人	
・Instagram	15%	16人	
・YouTube	16%	17人	
・TikTok	0%	0人	
・その他	2%	2人	

質問は以上です。「回答」ボタンを押してください。
ご協力ありがとうございました。

オープンキャンパス実施状況および参加者数
(2019年度～2021年度)

開催日	参加者合計	高校3年生 (内数)	備 考
2019年3月28日	160	92	
2019年5月26日	209	120	
2019年7月7日	155	97	
2019年7月21日	217	103	
2019年8月4日	232	63	
2019年8月5日	157	50	
2019年8月17日	359	77	
2019年9月8日	225	91	
2019年11月17日	166	46	
2019年度 合計	1,880	739	
2020年3月28日	33	18	※縮小開催（原則、要事前予約）
2020年5月24日	79	39	※縮小開催（原則、要事前予約）
2020年6月21日	183	108	※縮小開催（原則、要事前予約）
2020年7月19日	191	111	※縮小開催（原則、要事前予約）
2020年8月2日	186	93	※縮小開催（原則、要事前予約）
2020年8月3日	48	27	※縮小開催（原則、要事前予約）
2020年8月22日	240	118	※縮小開催（原則、要事前予約）
2020年9月13日	166	88	※縮小開催（原則、要事前予約）
2020年11月15日	132	42	※縮小開催（原則、要事前予約）
2020年12月6日	16	8	※オープンキャンパスは中止。 「総合型選抜特別プログラム」の受講のみ受付。
2020年度 合計	1,274	652	（対前年度比：0.68）
2021年3月28日	102	59	※縮小開催（原則、要事前予約）
2021年5月30日	160	86	※縮小開催（原則、要事前予約）
2021年6月20日	153	100	※縮小開催（原則、要事前予約）
2021年7月18日			
2021年8月1日			
2021年8月7日			
2021年8月21日			
2021年9月5日			
2021年11月7日			
2021年12月5日			
2021年度 合計	415	245	
同時期での対前年度比 (2021年度/2020年度)	1.41	1.48	

校内ガイダンス、会場ガイダンス参加状況

		校内ガイダンス	会場ガイダンス	計
2020	4月	0	0	0
	5月	0	1	1
	6月	6	2	8
	7月	19	22	41
	8月	10	10	20
	9月	27	11	38
	10月	42	23	65
	11月	29	8	37
	12月	23	4	27
2021	1月	18	5	23
	2月	21	3	24
	3月	34	7	41
計		229	96	325

2021	4月	12	19	31
	5月	21	13	34
	6月	33	22	55
計		66	54	120

同時期での対前年度比 (2021年度/2020年度)	11.00	18.00	
-------------------------------	-------	-------	--

高校訪問実施状況

		訪問	電話	オンライン	メール	計	訪問(大阪府) (内数)
2020	4月	28	29	0	0	57	0
	5月	10	2	0	0	12	10
	6月	145	28	1	0	174	78
	7月	164	8	1	1	174	70
	8月	24	18	0	0	42	8
	9月	39	8	0	0	47	6
	10月	9	2	0	0	11	9
	11月	40	2	1	0	43	35
	12月	35	5	0	0	40	31
2021	1月	0	1	0	0	1	0
	2月	30	38	0	0	68	2
	3月	1	1	0	0	2	1
	計	525	142	3	1	671	250
2021	4月	59	0	0	0	59	5
	5月	1	0	0	0	1	0
	6月	77	10	0	0	87	60
	計	137	10	0	0	147	65

相愛オフィシャルWeb相談会

オープンキャンパス・サポート

パソコン、タブレット、スマートフォンなどを利用し、ビデオ会議用アプリ「Zoom」を活用したWeb相談会を開始いたします。

「入試の不安を解消したい」「授業や資格について知りたい！」等、皆さまの疑問や相談に入試課スタッフが個別に対応いたします。些細な事でも、お気軽にご相談ください。



対象

- 高校生（既卒生含む） ●留学生
- 保護者 ●教育関係者

開催日時	月曜日～金曜日 10:00~19:00（1人30分～50分）
申し込み期間	希望日の3日前まで

申し込みの流れ

STEP1

LINEもしくはお電話から事前予約



06-6612-5905

STEP2

zoom
アプリをインストール

Web相談会には無料アプリの「Zoom」が必要です。事前に使用するデバイスにダウンロードをお願い致します。

- [iPhone向けアプリ](#)
- [Android向けアプリ](#)
- [PC向けアプリ](#)

STEP3

参加用URLにアクセス

LINEから参加用のURLをお送りします。クリックすると相談が開始されます。
※ビデオをOFFにして、音声だけの参加も可能です。

資料請求・お問い合わせ

相談の際、お手元に資料がございますとスムーズにお話いただけます。

[資料請求フォームへ](#)

その他ご不明な点がございましたら、本学入試課までお問い合わせください。

06-6612-5905

nyuushi@soai.ac.jp
学生確保(資料)-31

進学サイト・進学情報誌等への掲載状況（2021年度）

会社名	主な掲載媒体
リクルート	スタディサプリ進路
マイナビ	マイナビ進学
栄美通信	大学受験パスナビ（旺文社）
ハンスコム	Shingakuzukan
ディスコ	キャリアタス進学／LINE進学
SAN-EI	吹メモ
日本ドリコム	Anybot for College
さんぽう	大学・短大・まるわかり辞典（近畿・中国・九州版）
進路サポートセンター	進路サポートブック（高校教員版）
キッズ・コーポレーション	西日本版 春のオープンキャンパスブック／進学ナビ
ライセンスアカデミー	進学ナビ
進研アド	ベネッセマナビジョン 大学パッケージ（特例）
アクセスリード	アクセス日本留学

2019(令和元)年度 地域連携・社会貢献事業実施一覧

音楽学部(音楽専攻科、音楽研究科を含む)

	事業名	代表者名(所属) 実施主体・連携機関等	事業の概要	対象者・参加人数	実施日	会場
1	北御堂相愛コンサート —クラシックへの誘い—	主催:浄土真宗本願寺派 本願寺津村別院 共催:相愛大学 主幹:堺筋まちづくりネットワーク	津村別院が主催するコンサートで、1ヶ月に1回の年12回開催。相愛大学から音楽学部生・大学院生・卒業生を派遣。	100名程度	月1回	津村別院 (北御堂)
2	相愛大学 南御堂コンサート	主催:難波別院南御堂 共催:相愛大学	難波別院と相愛大学は、包括連携協定を締結している。具体的な取り組みとして、2ヶ月に1回「相愛大学南御堂コンサート」を開催。	150名程度	隔月1回	難波別院 (南御堂)
3	大阪市立大学 医学部附属病院 相愛大学連携 院内コンサート	主催:大阪市立大学医学部附属病院、相愛大学	大阪市立大学医学部附属病院と相愛大学は、連携協定を締結している。取り組みの一環として、年に4回の「相愛大学連携 院内コンサート」を開催。	50名程度	年4回	大阪市立大学 医学部附属病院
4	大阪急性期・ 総合医療センター 相愛大学 連携コンサート	共催:大阪急性期・総合医療センター、相愛大学	大阪急性期・総合医療センターと相愛大学は、連携協定を締結している。取り組みの一環として、年に7回の「相愛大学連携コンサート」を開催。	150名程度	年7回	大阪急性期・総合医療センター
5	相愛大学 ATCコンサート	主催:アジア太平洋トレードセンター株式会社、相愛大学	ATC内ITM棟2階セントラルアトリウム等で、本学の音楽学部生、音楽専攻科生、大学院生、卒業生によるコンサートを開催。	100名程度	年3回	ATC
6	南港ポートタウン ショッピングセンター 相愛大学コンサート	主催:大阪港振興株式会社、相愛大学	南港ポートタウンショッピングセンター出店者協議会と相愛大学は、連携協定を締結している。その取り組みの一環として、年に4回のコンサートを開催。	60名程度	年4回	南港ポートタウン ショッピング センター
7	街角コンサート	主催:堺筋アムニティ・ソサエティ 協力:相愛大学 音楽学部	「アムニティあふれる堺筋のまちづくり」を目指す沿道企業・団体の自主連合組織である「堺筋アムニティ・ソサエティ」が主催するコンサートに協力。	府民多数	年2回	五感・ 北浜本館 他
8	森ノ宮医療大学 入学式	主催:森ノ宮医療大学	森ノ宮医療大学の入学式式典において、本学音楽学部生、大学院生による弦楽四重奏が祝奏を披露。	森ノ宮医療大学 学生、保護者、教職員など	4月2日	ハイアット リージェンシー 大阪
9	ATC サンセットファミリー コンサート	主催:アジア太平洋トレードセンター株式会社、相愛大学	ATC海辺のステージにおいてサンセットファミリーコンサートを開催。サクソフォンアンサンブルと弦楽五重奏、打楽器、声楽が出演。	200名程度	5月12日	ATC 海辺のステージ
10	寝屋川市立 南小学校 音楽鑑賞会	寝屋川市立 南小学校	本学音楽学部生、大学院生の企画による音楽鑑賞会を開催。サクソファンアンサンブルと弦楽五重奏、打楽器、声楽が出演。	生徒405名など	5月15日	寝屋川市立 南小学校 体育館
11	2019年度 課題曲講習会	主催:相愛大学	相愛ウィンドオーケストラをモデルバンドに、全日本吹奏楽コンクールの課題曲講習会を開催。講師は本学の教授陣に加え、作曲家の井淵昌樹氏をお迎えした。	500名程度	6月2日	相愛大学 南港ホール
12	大阪弁護士会館 ランチタイムコンサート	主催:大阪弁護士会	大阪弁護士会館特設ステージにおいて、本学卒業生の企画によるコンサートを開催。サクソファン四重奏が出演。	70名程度	6月11日	大阪弁護士会館 1Fロビー
13	大阪「NOREN」百年会 総会	主催:大阪「NOREN」百年会	本学園が加入している「大阪「NOREN」百年会」の総会において、本学大学院生、卒業生による弦楽四重奏の演奏を披露した。	大阪NOREN百年会 会員	6月24日	シティプラザ大阪
14	住之江会館コンサート	主催:住之江会館	住之江会館において、本学音楽学部生、卒業生の企画によるサマーコンサートを開催。弦楽四重奏と声楽による演奏を行った。	60名程度	7月7日	大阪市立 住之江会館
15	たそがれコンサート 2019	主催:大阪市教育委員会、大阪市音楽団	7～8月の毎週金曜日に大阪城音楽堂で開催される吹奏楽コンサート。相愛ウィンドオーケストラが出演。	府民多数	7月26日	大阪城音楽堂
16	戦争犠牲者追悼式 平和コンサート	主催:ピースおおさか 大阪国際平和センター 協力:相愛学園	例年、終戦記念日に開催されるピースおおさか平和コンサートに協力。本学大学院生、卒業生による弦楽四重奏が出演の予定であった。	180名程度	8月15日 ※台風10号接近のため中止	ピースおおさか
17	フレンドリーコンサート	主催:八尾市文化振興事業団	八尾市文化振興事業団との連携協定の一環として、大学院生等の企画・出演による、障がいのある方や、子育てファミリーを対象にしたコンサートを実施。	90名程度	8月28日	八尾 ブリズムホール
18	大阪市立 平尾小学校 音楽鑑賞会	大阪市立 平尾小学校	本学音楽学部生、大学院生の企画による音楽鑑賞会を開催。サクソファンアンサンブルと弦楽五重奏、打楽器、声楽が出演。	生徒312名など	9月13日	大阪市立 平尾小学校 体育館
19	泉大津市立 条東小学校 音楽鑑賞会	泉大津市立 条東小学校	本学音楽学部生、大学院生の企画による音楽鑑賞会を開催。サクソファンアンサンブルと弦楽五重奏、打楽器、声楽が出演。	生徒430名など	10月1日	泉大津市立 条東小学校 体育館
20	住之江の第九	主催:住之江第九合唱団inOSAKA 協力:相愛大学	住之江第九合唱団inOSAKAが主催する演奏会。(管弦楽)相愛フィルハーモニア(独唱/本学教員)泉貴子、児玉祐子、松原友、米田哲二が出演した。	420名程度	10月6日	相愛大学 南港ホール
21	鷺森別院 岡崎支坊 特別演奏会	相愛会	浄土真宗本願寺派鷺森別院岡崎支坊において、本学音楽学部生による弦楽四重奏を披露。	相愛会ほか	10月6日	鷺森別院 岡崎支坊

22	すみのえ ミュージック フェスティバル	主催:住之江区役所	住之江区主催による楽器演奏未経験の子どもたち向けのイベント。本学大学院生、学生による管楽器、打楽器のワークショップと合奏を行う予定であった。	住之江区全域の小学校から公募された60名など	10月12日 ※台風19号接近のため中止	相愛大学 南港ホール
23	奈良市立 東市小学校 音楽鑑賞会	奈良市立 東市小学校	本学音楽学部生、大学院生、卒業生の企画による音楽鑑賞会を開催。金管五重奏、打楽器アンサンブルでの演奏。	生徒194名など	11月1日	奈良市立 東市小学校 体育館
24	御堂会館 グランドセレモニー	主催:難波別院 南御堂	新しい南御堂山門の完成を祝うセレモニー。本学創作演奏専攻生の企画による、ライトアップに合わせた電子オルガンとヴァイオリンによる演奏を行った。	200名程度	11月1日	難波別院 南御堂本堂
25	ATC サンセット ファミリーコンサート ～海辺のオペラ～	主催:アジア太平洋ト レードセンター株式会 社、相愛大学	夕陽を背景としたATC海辺のステージにおいて、本学教員と音楽学部生、音楽専攻科生、大学院生によるオペラ《魔笛》ハイライト、ガラコンサートを開催。	200名程度	11月3日	ATC
26	南港ファミリーフェスタ	主催:住之江区役所	南港ファミリーフェスタの一環として協力。本学音楽学部生によるクラリネットアンサンブルの演奏を披露した。	50名程度	11月3日	南港ポートタウン ショッピング センター
27	住之江区老人クラブ 演芸発表会	主催:大阪市住之江区 老人クラブ連合会	住之江区老人クラブ連合会主催の演芸発表会において、本学音楽学部生の企画によるサクソフォンアンサンブルの演奏でゲスト出演を行った。	150名程度	11月9日	すみのえ 舞昆ホール
28	大阪市立 大和川中学校 音楽鑑賞会	大阪市立 大和川中学校	本学創作演奏専攻生の企画による音楽鑑賞会を実施。電子オルガン、ヴァイオリンの演奏を披露。大和川中学校の吹奏楽部との合同演奏を行った。	生徒230名など	11月16日	相愛大学 南港ホール
29	大阪市立 田島小学校 音楽鑑賞会	大阪市立 田島小学校	本学音楽学部生、大学院生の企画による音楽鑑賞会を開催。サクソファンアンサンブルと弦楽五重奏、打楽器、声楽が出演。	生徒200名など	11月20日	大阪市立 田島小学校 体育館
30	大阪市立 南港桜小学校 音楽鑑賞会	大阪市立 南港桜小学校	本学音楽学部生、大学院生の企画による音楽鑑賞会を開催。サクソファンアンサンブルと弦楽五重奏、打楽器、声楽が出演。	生徒600名など	11月26日	大阪市立 南港桜小学校 体育館
31	大阪市立 天王寺中学校 音楽鑑賞会	大阪市立 天王寺中学校	音楽学部の企画によるオーケストラ鑑賞会を開催。相愛フィルハーモニア、声楽専攻大学院生が出演。中学生の楽器体験なども実施。	生徒400名など	11月30日	大阪市立 天王寺中学校 体育館
32	堺市立 八下西小学校 音楽鑑賞会	堺市立 八下西小学校	本学音楽学部生、大学院生の企画による音楽鑑賞会を開催。サクソファンアンサンブルと弦楽五重奏、打楽器、声楽が出演。	生徒360名など	12月2日	堺市立 八下西小学校 体育館
33	大阪弁護士会館 ランチタイムコンサート	主催:大阪弁護士会	大阪弁護士会館特設ステージにおいて、本学音楽学部生、大学院生、卒業生の企画によるコンサートを開催。弦楽四重奏が出演。	70名程度	12月4日	大阪弁護士会館 1Fロビー
34	大阪市立 清江小学校 音楽鑑賞会	大阪市立 清江小学校	音楽鑑賞会を開催。本学大学院生の企画による音楽鑑賞会を開催。声楽(大学院生、講師)、ピアノ(演奏助手)が出演。	生徒約310名など	12月7日	大阪市立 清江小学校 体育館
35	御堂筋天国 三菱UFJ銀行大阪ビル 本館前コンサート	主催:御堂筋まちづくり ネットワーク	本学が加入している御堂筋まちづくりネットワークの事業の一環として、本学卒業生によるサクソフォン四重奏の演奏を披露。	府民多数	12月13日	三菱UFJ銀行 大阪ビル前
36	御堂筋天国 YogiboStore 御堂筋 本町店コンサート	主催:御堂筋まちづくり ネットワーク	本学が加入している御堂筋まちづくりネットワークの事業の一環として、本学音楽学部生による弦楽四重奏の演奏を披露。	府民多数	12月13日	YogiboStore 御堂筋本町店
37	住之江会館 コンサート	主催:住之江会館	住之江会館において、本学音楽学部生、大学院生、卒業生の企画によるコンサートを開催。弦楽四重奏と声楽の演奏を披露した。	60名程度	12月14日	大阪市立 住之江会館
38	APAホテル御堂筋 本町駅タワー 開業記念セレモニー	主催:APAホテル	APAホテル御堂筋本町駅タワーの開業記念セレモニーにおいて、本学音楽学部生、卒業生の企画によるミニコンサートを実施。弦楽四重奏の演奏を披露。	70名程度	12月17日	APAホテル 御堂筋本町駅 タワー
39	第7回 「吹・相・楽への誘い」 特別演奏会	共演:大阪市立南港南中学校、 大阪市立南港北中学校、大阪 市立阿倍野中学校、大阪市立 新北島中学校、阪南市立鳥取 東中学校、相愛高等学校・中 学 校	地域の中学校吹奏楽部との音楽交流プログラムを実施。教員、音楽学部生、音楽専攻科生、大学院生が協力。計4回の練習を重ね、合同演奏会を開催。	350名程度	1月13日	相愛大学 南港ホール
40	住之江区園児 対象音楽会	住之江区内保育園	保育園児を対象とした本学音楽学部生の企画による音楽鑑賞会を開催。サクソファンアンサンブル、打楽器の演奏。運営に子ども発達学科生、教員も協力。	住之江区の約20か園から 5歳児(約300名)など	1月15日	相愛大学 南港ホール
41	株式会社佐渡島 役員交流会	株式会社佐渡島	株式会社佐渡島役員交流会において、本学大学院生、卒業生の企画によるミニコンサートを実施。弦楽四重奏の演奏を披露した。	23名	2月25日	コンラッド大阪
42	大阪弁護士会館 ランチタイムコンサート	主催:大阪弁護士会	大阪弁護士会館において、本学大学院生、卒業生の企画によるコンサートを開催し、木管五重奏が出演予定であった。		2月27日 ※新型コロナウイルス 感染症感染拡大防止 のため中止	大阪弁護士会館 1Fロビー
43	第35回 第2組同朋大会	真宗大谷派 第2組	真宗大谷派大阪教区第2組の同朋大会において、本学卒業生の企画によるコンサートを開催し、木管五重奏が出演予定であった。		3月7日 ※新型コロナウイルス 感染症感染拡大防止 のため中止	南御堂 同朋会館 講堂

44	森ノ宮医療大学 卒業式・修了式	主催: 森ノ宮医療大学	森ノ宮医療大学の卒業式・修了式式典において、本学音楽学部生、音楽専攻科生、大学院生、卒業生による弦楽四重奏の演奏を行う予定であった。		3月12日 ※新型コロナウイルス 感染症感染拡大防止 のため中止	ハイアット リージェンシー 大阪
45	大阪「NOREN」百年会 30周年記念総会	主催: 大阪「NOREN」 百年会	『大阪「NOREN」百年会』30周年記念総会において、音楽学部生、音楽専攻科生、大学院生による弦楽四重奏の演奏を行う予定であった。		3月12日 ※新型コロナウイルス 感染症感染拡大防止 のため中止	コンラッド大阪
46	「道頓堀・船場いまむかし にぎわいパネル展」 オープニングセレモニー	主催: 中央区役所	中央区の新事業「パネル展」のオープニングセレモニーにおいて、本学音楽学部生の企画によるミニコンサートを開催し、サクソ五重奏が出演予定であった。		3月15日 ※新型コロナウイルス 感染症感染拡大防止 のため中止	大阪市 中央区役所 1Fロビー

音楽学部音楽学科、人文学部人文学科 就職状況

	年度	卒業者数 (a)	就職希望者数 (b)	求職率 (就職希望率) (b)/(a)	求職率 (就職希望率) (5年平均)	就職決定者数 (c)	就職率 (c)/(b)	就職率 (5年平均)	就職率 (全国平均)
音楽学科	2016(平成28)	71	41	57.7%	57.7%	40	97.6%	95.6%	/
	2017(平成29)	53	30	56.6%		29	96.7%		
	2018(平成30)	61	34	55.7%		33	97.1%		
	2019(令和元)	56	33	58.9%		31	93.9%		
	2020(令和2)	72	43	59.7%		40	93.0%		
人文学科	2016(平成28)	68	45	66.2%	60.8%	38	84.4%	88.9%	/
	2017(平成29)	72	43	59.7%		39	90.7%		
	2018(平成30)	52	35	67.3%		33	94.3%		
	2019(令和元)	87	45	51.7%		40	88.9%		
	2020(令和2)	73	43	58.9%		37	86.0%		
大学全体	2016(平成28)	276	209	75.7%	73.7%	200	95.7%	96.4%	97.6%
	2017(平成29)	263	197	74.9%		192	97.5%		98.0%
	2018(平成30)	264	198	75.0%		194	98.0%		98.0%
	2019(令和元)	280	195	69.6%		188	96.4%		97.6%
	2020(令和2)	263	193	73.4%		182	94.3%		96.0%

人文学部人文学科(留学生を除く)就職状況

	年度	卒業者数 (a)	就職希望者数 (b)	求職率 (就職希望率) (b)/(a)	求職率 (就職希望率) (5年平均)	就職決定者数 (c)	就職率 (c)/(b)	就職率 (5年平均)
人文学科 (留学生)	2016(平成28)	33	26	78.8%	76.4%	25	96.2%	94.7%
	2017(平成29)	29	25	86.2%		23	92.0%	
	2018(平成30)	25	19	76.0%		18	94.7%	
	2019(令和元)	28	20	71.4%		19	95.0%	
	2020(令和2)	33	23	69.7%		22	95.7%	

人文学部人文学科(留学生)就職状況

	年度	卒業者数 (a)	就職希望者数 (b)	求職率 (就職希望率) (b)/(a)	求職率 (就職希望率) (5年平均)	就職決定者数 (c)	就職率 (c)/(b)	就職率 (5年平均)
人文学科 (留学生)	2016(平成28)	35	19	54.3%	49.6%	13	68.4%	82.0%
	2017(平成29)	43	18	41.9%		16	88.9%	
	2018(平成30)	27	16	59.3%		15	93.8%	
	2019(令和元)	59	25	42.4%		21	84.0%	
	2020(令和2)	40	20	50.0%		15	75.0%	

教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
---	学長	カネコ サトル 金児 暁嗣 <平成22年4月>		博士 (文学)		相愛学園 理事長 (平成24年1月) 相愛大学 学長 (平成22年4月～令和4年3月)

(注) 高等専門学校にあっては校長について記入すること。